

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語版の間に差異、不一致、矛盾が存在する場合、(特に翻訳による遅れもあり)英語版が優先します。

AWS のサービス条件

最終更新:2023 年 2 月 27 日

1. 汎用サービス条件(すべてのサービスに適用されます)

以下のサービス条件は、貴社による本サービスの利用に適用されます。本サービス条件(英語版)において大文字で記載される文言で、以下で定義されていないものは、AWS カスタマー契約または貴社による本サービスの利用に適用されるその他の契約(「契約」と呼ぶ)に定義されています。本サービス条件において「貴社コンテンツ」には、「会社コンテンツ」と「カスタマーコンテンツ」が含まれ、「AWS コンテンツ」には「Amazon プロパティ」が含まれます。

1.1. 本サービスに関連して当社からまたはサードパーティーライセンサーから取得したソフトウェア(関連するドキュメントを含む)は、明確な承認なしに、本サービスの外部へ転送することはできません。

1.2. 貴社は、AWS サイト(<https://docs.aws.amazon.com/index.html>)、および当社が指定する何らかの後継のまたは関連する URL)に掲載される、本サービスに適用される現行の技術ドキュメントを(適用されるユーザー、管理者、および開発者ガイドを含め)順守する必要があります。

1.3. 貴社は、貴社による本契約の順守を確認するため当社が合理的に要請することのある、貴社のコンテンツに関する情報その他の資料を(クライアント側のアプリケーションのコピーを含め)提出します。当社が貴社のコンテンツまたは貴社が管理するエンドユーザーの資料に起因するであろうと合理的に考える、本サービスの障害の原因を特定する作業にあたって、貴社は当社に合理的に協力します。

1.4. 貴社の本サービスの利用に関し、貴社は実行するソフトウェアのライセンスを保持し、ライセンス規約に従う責任があります。当社が、貴社のコンテンツが法律に違反している、第三者の権利を侵害または不正流用している、またはそれ以外の形で本契約(サービス規約、または利用規定を含む)の重要な条件に違反していると合理的に考える場合(「禁止コンテンツ」と呼ぶ)、当社は貴社に禁止コンテンツについて通知し、かかるコンテンツを本サービスから削除するよう、あるいはそのコンテンツへのアクセスを無効化するよう要請する場合があります。当社の通知から 2 営業日以内に貴社が禁止コンテンツの削除またはアクセス無効化を行わない場合、当社は禁止コンテンツの削除またはアクセス無効化を行うか、または当社が禁止コンテンツの削除またはアクセス無効化を実行できない場合に本サービスを停止する場合があります。前項の規定にもかかわらず、当社は、違法コンテンツに関連して、コンテンツが本サービスを中断または脅かす場合に、適用法または司法上、規制上、その他の政府の命令または要請に従って、禁止コンテンツの削除またはアクセス無効化を事前の通知なく行う場合があります。当社が貴社コンテンツを事前の通知なく削除する場合、当社は法により禁止されない限り、貴社に速やかに通知を行います。当社は、適切な状況下で、繰り返し侵害者のアカウントを終了します。

1.5. 貴社は AWS サイト経由で貴社が提供したすべての情報(貴社が本サービスの登録時や利用枠増加要請時に提供した情報など)が正確で、完全で、誤解を招かないものであることを確認します。

1.6. 当社はその時々において、本サービスおよび AWS コンテンツに対し、アップグレード、パッチ、バグ修正、その他のメンテナンス(「メンテナンス」と呼ぶ)を行う場合があります。当社は、貴社に予定メンテナンス(緊急メンテナンスを除く)について事前の通知を提供するための合理的な努力を行うことに同意し、貴社は当社が貴社に通知したメンテナンス要件を順守する合理的な努力を払うことに同意します。

1.7. 貴社の契約に、AWS 機密情報についての規定が含まれておらず、かつ、貴社と AWS の間で有効な非開示契約が締結されていない場合は、貴社は、法に要請されない限り、AWS 機密情報(AWS カスタマーアグリーメントの定義による)を開示しないことに同意します。

1.8. 貴社は本サービスのベンチマークテストや比較テスト、評価(それぞれ「ベンチマークテスト」と呼ぶ)を行うことができます。本サービスのベンチマークテストを貴社が実施もしくは開示する場合、または実施もしくは開示を第三者に指示もしくは許可する場合、貴社は(i)かかるベンチマークテストの再現に必要な情報をすべての開示情報に含め、かつ当社にも開示し、また、(ii)ベンチマークテストに貴社の製品またはサービスに適用される条件についてどのような制限があってもそれにもかかわらず、貴社の製品またはサービスのベンチマークテストを当社が実施しその結果を開示することに同意します。

1.9. 適用される AWS 契約当事者(AWS カスタマーアグリーメントの定義による)のみが、各 AWS カスタマーアグリーメントに関し義務を負い、他の AWS 契約当事者は、かかるアカウントに関する義務を負いません。1つのアカウントの AWS 契約当事者は、本契約に記載されるように変更となる場合があります。各アカウントへの請求書は、適用される請求期間についてそのアカウントに責任を負う AWS 契約当事者に宛てて発行されます。

貴社のアカウントに責任を負う AWS 契約当事者の変更の時点で、貴社がかかるアカウントに基づく本サービスについて前払いを行った場合、貴社がかかる前払いを行った AWS 契約当事者は、かかる前払いに関する本サービスに関してのみ該当のアカウントについて AWS 契約当事者であり続けることができます。

1.10. 貴社は、本サービスを使用する際、1つ以上の他の本サービス(それぞれ「関連サービス」と呼ぶ)を利用することができる、または利用する必要がある場合があります。関連サービスを利用する際、貴社はその関連サービスに適用される条件および料金の対象となります。

1.11. 貴社が本サービス利用の際に、エンドユーザーまたはその他の特定可能な個人の個人データを処理する場合、貴社はかかるデータの処理について法的に適切なプライバシー通知を提供し、必要な同意を得る責任があります。貴社は、必要なすべてのプライバシー通知を提供し、必要なすべての同意を得たことを当社に表明します。貴社は適用法に従ってかかるデータを処理する責任があります。

1.12. 本サービスが利用できない期間(各サービスに適用されるサービスレベルアグリーメント(SLA)の定義による)について、貴社が本サービスの料金を請求された場合、貴社はかかる期間について請求された金額と同等のサービスクレジットを要求することができます。

1.13. 貴社がフランスの健康情報システムに関する一般的セキュリティ方針(PGSSI-S: French Politique générale de sécurité des systems d'information de santé)の対象となる顧客の場合、貴社は本サービスの利用において PGSSI-S を順守することに同意します。

1.14. データ保護

1.14.1 貴社が AWS のサービスを利用して顧客データの処理(DPA の定義による)を行う場合、本サービス条件には、AWS GDPR データ処理補遺条項(「DPA」と呼ぶ)が組み込まれます。

1.14.2 貴社が顧客データ(DPA の定義による)の処理に AWS サービスを利用する場合、本サービス条件には、DPA への AWS サプリメンタリー補遺条項が組み込まれます。

1.14.3 本サービス条件には、2021 年 6 月 4 日の欧州委員会実施決定(EU)2021/914 によって承認された、管理者と処理者の間の標準契約条項(「管理者・処理者間条項」)および処理者間の標準契約条項(「処理者間条項」)(これらを「SCC」といいます)が組み込まれています。SCC は以下の場合にのみ適用されます。(i) 貴社が AWS サービスを使用して顧客データを処理する際に GDPR が適用され、かつ (ii) 顧客データが直接または転送により、欧州経済地域外の国に移転される場合であって、GDPR の対象となる個人データについてその国が提供する保護が、欧州委員会によって適切なレベルであると認められていない場合(これらを合わせて「データ移転」といいます)。貴社が管理者(GDPR での定義による)である場合、データ移転には管理者・処理者間条項が適用されます。貴社が処理者(GDPR での定義による)である場合、処理者間条項がデータ移転に適用されます。

1.14.4 貴社による英国の顧客データ(AWS 英国の GDPR 補遺条項の定義による)の処理における AWS サービスの利用に英国の GDPR が適用される場合、本サービス条件には、DPA への AWS 英国の GDPR 補遺条項が組み込まれます。

1.14.5 貴社による個人情報の処理(CCPA 条件の定義による)における AWS のサービスの利用に CCPA(カリフォルニア州消費者プライバシー法)が適用される場合、本サービス条件には、AWS CCPA 条件(「CCPA 条件」と呼ぶ)が組み込まれます。

1.15. 貴社の AWS アカウントの閉鎖後、当社は貴社コンテンツを本サービスに適用されるテクニカルドキュメントに従って削除します。

1.16. 貴社による販促クレジットの受領および使用には、AWS 販促クレジット条件が適用されます。

1.17. 支払い通貨

1.17.1. AWS は、AWS から一定のサービスを購入した際に、米国ドル以外の一定の通貨(「支払い通貨」)による支払を可能にするサービス(「通貨サービス」)を提供します。米国以外の一定の国で本サービスを購入すると、当社は通貨管理その他の要因から通貨サービスを使用するよう貴社に要請する場合があります。通貨サービスを利用する際はある通貨で支払いを申し込み別の通貨で払い戻しを受けることはできません。

1.17.2. 通貨サービスを使用する際、サービス手数料と料金は自動的に支払い通貨で請求されます。貴社は各請求書に指定された通貨で請求書の支払いを行う必要がありますが、クレジットカードまたはデビットカードによる購入の場合、貴社はそのカードの発行者が対応している通貨のみで支払いを行うことができます。貴社のクレジットカードまたはデビットカードの発行者が必要な支払い通貨に対応していない場合は、支払い通貨による支払いに対応している他の支払い方法を使用する必要があります。

1.17.3. 貴社による通貨サービスの利用についての当社の料金および手数料は、該当する場合は、請求書に適用される為替レート(「適用為替レート」)に含まれています。銀行、クレジットカード発行会社、デビットカード発行会社、またはカードネットワークなどの第三者が追加料金を請求する場合があります。適用為替レートは貴社の請求書が生成された時点で決定され、一定期間のサービスの利用に対応する請求書については、その為替レートが請求書に記載されるすべての利用とサービス料金に適用されます。

1.17.4. 請求書に対し処理されるすべての返金は、請求書が生成された通貨で行われ、支払い通貨による貸方伝票(クレジットメモ)または支払いとして反映されます。

1.17.5. 通貨サービスを使用することにより貴社は、貴社の名称および住所を含めた支払いに関連する情報が、米国外の法域における貴社の支払いを処理するために当社の銀行業務パートナーによって使用されることに同意したことになります。

1.18. AWS コンテンツまたは本サービスを承諾し利用することにより、貴社は知的財産ライセンスの条件に同意したことになります。

1.19. 当社は、貴社の製品およびサービスと競合する目的で、個別の使用データまたは貴社のコンテンツを使用しません。「個別の使用データ」とは、貴社の AWS アカウントにより明確に識別される貴社による本サービスの利用に関するデータを意味します。

1.20. 当社は、本サービスを改善する目的で、貴社による本サービスの利用方法および本サービスとの対話方法に関する情報を利用する場合があります。

1.21. リソース識別子、メタデータタグ、アクセス制御、ルール、利用ポリシー、権限、および AWS リソースの管理に関連する類似の項目に含まれる情報は、貴社コンテンツを構成するものではありません。AWS は、個人を特定する情報、機密情報、または機微性の高い情報をこれらの項目に含めないよう推奨しています。

1.22. 非課税ステータス

1.22.1 AWS アカウントの非課税ステータスをリクエストするには、該当する法域の有効な非課税証明書またはその他の相当する文書を当社に提供する必要があります。貴社には当該文書を更新し、常に正確なものにする責任があります。

1.22.2 特定の法域では([アマゾン ウェブ サービス 税務ヘルプページ](#)に記載のとおり)、非課税アカウントを使用しなければ、非課税対象のサービスを購入することはできません。非課税の適用の対象となる目的でサービスを使用しない場合、貴社には、法律が要求する範囲で、関係税務当局に対し直接、その使用に対する売上税および使用税を報告し、支払う責任があります。

1.22.3 非課税対象になるために貴社の資金から当社に支払うことを法律が要求している場合、貴社は、貴社のアカウントによる購入が非課税の組織の資金をもって行われることを保証するものとします。

1.22.4 当社は、その単独の裁量により、非課税ステータスの貴社リクエストを拒否するか、貴社アカウントの非課税ステータスをいつでも取り消すことができるものとします。

2. ベータ版とプレビュー

2.1. 本条では、貴社が以下を行うための追加の契約条件を説明します。(a)「ベータ版」、「プレビュー」、「事前リリース」、「試験提供」と表示された製品、サービスまたは機能、および関連する AWS コンテンツ(それぞれ「ベータサービス」と呼ぶ)を含むがそれに限らない、一般にはまだ提供されていないが、AWS によって貴社に提供された一定の機能、テクノロジー、およびサービスへのアクセスと利用、または(b)AWS が「ベータ版」、「プレビュー」、「事前リリース」、「試験提供」と特定した AWS リージョン(それぞれ「ベータリージョン」と呼ぶ)を含むがそれに限らない、一般にはまだ提供されていないが AWS リージョンにおいて利用可能となる、本サービスおよび関連する AWS コンテンツへのアクセスと利用。

2.2. 貴社は、AWS サイトへの掲載またはその他の方法で貴社が利用できるようになるベータサービスまたはベータリージョンに関し、関連するすべての条件を順守する必要があります。AWS は、利用上限の引き下げや引き上げを含め、ベータサービスやベータリージョンへのアクセスや利用に関する条件に、いつでも、追加またはかかる条件を変更する場合があります。ベータサービスやベータリージョンにはサービスレベルアグリーメント(SLA)は適用されません。

2.3. 貴社は、ベータサービスやベータリージョンのアクセス、利用、試用、評価に関する情報を AWS に提供することができます。これにはベータサービスやベータリージョンの性能や特徴、機能についての観察事項や情報が含まれます(「テスト観察事項」と呼ぶ)。AWS はすべてのテスト観察事項を所有し、その目的のために利用、評価することができます。貴社はベータサービスやベータリージョンの社内的評価目的以外でテスト観察事項を使用しません。

2.4. AWS は、いつでもベータサービスやベータリージョンへのアクセスまたは利用を停止または終了させることができます。ベータサービスやベータリージョンの一般公開バージョンが発表された場合、またはベータサービスやベータリージョンが通知の上 AWS によって終了された場合、貴社のベータサービスやベータリージョンへのアクセスと利用は自動的に終了します。本契約にこれに反する内容があってもそれにもかかわらず、ベータサービスやベータリージョンへのアクセスまたは利用の停止または終了後、どのような理由であれ、(a) 貴社は該当するベータサービスまたはベータリージョンへのアクセスまたは利用するさらなる権限を持たず、(b) 該当するベータサービスまたはベータリージョンにおいて使用されていた貴社のコンテンツは削除されたりアクセス不可能となったりする場合があります。

2.5. ベータサービスやベータリージョンに関するテスト観察事項や提案、およびベータサービスやベータリージョンに関する(その存在についてのものを含む)その他の情報は AWS の機密情報とみなされます。

2.6. 本契約またはサービス条件における免責条項を制限することなく、ベータサービスやベータリージョンは、商業的な一般公開の準備が整っておらず、バグ、エラー、欠陥、有害なコンポーネントを含む場合があります。したがって、本契約または本サービス条件に反する規定があってもそれにもかかわらず、AWS はベータサービスおよびベータリージョンを「現状有姿のまま」で提供します。AWS とその関連会社およびライセンサーは、明示的であるか黙示的であるか、法定であるかそれ以外かにかかわらず、ベータサービスおよびベータリージョンに関し、ベータサービスおよびベータリージョンは、今後一般公開される、中断されることのない、エラーや有害なコンポーネントが含まれない、または貴社のコンテンツを含め、任意のコンテンツ

が安全に保護される、もしくは紛失や損傷されないという保証を含め、いかなる種類の表明も保証も行いません。法により禁止される範囲を除き、AWS とその関連会社およびライセンサーは、商品性、十分な品質、特定目的への適合性、権利の非侵害、平穩享有に関する黙示保証、および取引過程もしくは商習慣に起因する保証を含む、すべての保証を否定します。ベータサービスやベータリリースに関する AWS およびその関連会社とライセンサーの賠償責任総額は、本契約に基づき、クレームの原因となったサービスに対し、クレームに先立つ 12 か月間に実際に支払われた金額を超えないこととします。

3. Amazon CloudFront

貴社は、Amazon CloudFront に関連して、貴社が使用するドメイン名または SSL 証明書を使用するために必要なすべての権利を所有または有している必要があります。貴社は、その SSL 証明書の第三者への開示を含め、Amazon CloudFront において使用するため提出した SSL 証明書の更新、セキュリティ、正しい構成に単独で責任を負います。

4. AWS Outposts

4.1. 「AWS Outposts」には、AWS Outposts ラックおよび AWS Outposts サーバーが含まれます。

4.2. Outposts 装置 AWS は、AWS Outposts サービスを貴社が使用する際のサポートを行うための装置を利用可能にします（「Outposts 装置」と呼ぶ）。AWS またはその関連会社は Outposts 装置におけるすべての権利を管理し、Outposts 装置に関する所有権、知的財産権その他の権利を、貴社に売却、貸出、リース、譲渡するものではありません。貴社は、Outposts 装置または Outposts 装置の所有権のいずれについても、個人または組織に譲渡、付与、権利移転を行わず、また、その主張をしないこととし、そのように主張された譲渡、付与、または権利移転は無効となります。

4.3. 施設評価 貴社は、Outposts 装置が置かれている施設（「指定施設」と呼ぶ）が、[こちら](#)に記載されており、また別途 Outposts テクニカルドキュメントに記載される、または注文および設置過程で貴社に示されるとおり、Outposts 装置の設置、整備、利用、撤去を支援するために必要な最低条件を常に満たしていることを確実にします。

4.4. 納品と利用 貴社は、指定施設に Outposts 装置を配送、設置、整備、利用、撤去するために必要なすべての権限と認定や許可を得ていることを確実にします。貴社は、AWS に起因するものを除き、Outposts 装置が指定施設にある間の損傷に対し責任を負います。貴社が AWS Outposts に関する本サービス条件または本契約の契約条件に違反した場合、AWS は、貴社による AWS Outposts の使用を終了し、Outposts 装置を撤去する場合があります。

4.5. Outposts 装置へのアクセス 貴社は、Outposts 装置の配送、設置、検査、整備、および撤去を行うために必要となる指定設備への合理的なアクセスを速やかに AWS が指定した従業員へ提供します。貴社は、指定施設に立ち入る条件として AWS の従業員に対し、ドキュメントへの署名、承認、その他の同意を求めず、もし AWS 従業員が署名したとしてもかかるドキュメントの契約条件は無効であることに貴社は同意します。貴社は (i) AWS が指定した従業員、(ii) Outposts 装置の整備に関連し AWS により書面で許可されている人員、または (iii) 人身傷害、器物損壊、または作動中の火災報知システムに関連する差し迫った状況により必要な場合以外は、誰も Outposts 装置にアクセスしたり、移動または修理しないことを確認します。貴社は誰にも、Outposts 装置を変更、改ざん、リバースエンジニアリング、または改造させないことを確実にします。貴社は、Outposts 装置には改ざん監視装置が搭載されている場合があることを認めます。

4.6. AWS サポートオプション 貴社は、AWS Outposts 装置を使用する全期間について、[エンタープライズ ON-Ramp サポート](#) または [エンタープライズサポート](#) のいずれかに登録していることとします。

4.7. サービス/SLA/セキュリティ AWS Outposts 上でローカルに実行される本サービスについての本サービス条件もまた、貴社による AWS Outposts 上の本サービスの利用に適用されます。AWS Outposts 上でローカルに実行されるサービス、および AWS が運営する施設で実行される本サービスの間には本質的な違いがあります。Outposts 装置は物理的に貴社が管理する指定施設に置かれ、物理的セキュリティ、アクセス制御、すべての電源、ネットワーク、環境条件は貴社の責任となるためです。これらの違いのために

- a. AWS Outposts 上でローカルに実行される本サービスについてのサービスレベルアグリーメント (SLA) は、貴社による AWS Outposts 上の本サービスの利用に適用されません。
- b. AWS によるかかる物理的セキュリティやアクセス制御、または電源、ネットワーク、環境条件などの運営に依存する、本契約における AWS の約束は、AWS Outposts や AWS Outposts 上でローカルに実行される本サービスには適用されません。
- c. AWS Outposts が対象となる特定のコンプライアンスおよび保証プログラムは、[こちら](#)に記載されています。[こちら](#)に記載されている他の本サービスについては、AWS Outposts 上でローカルに実行される場合、これらのサービスは対象にはなりません。ただし、AWS Outposts が特定のコンプライアンスまたは保証プログラムに個別に記載されている場合を除きます。

4.8. AWS Outposts サーバー

4.8.1. 設置、利用、撤去 貴社は、Outposts テクニカルドキュメントに記載する、または注文プロセス中に貴社に別途指示される、指定施設での AWS Outposts サーバーの設置、利用、撤去、および AWS Outposts 装置の返却について、責任を負います。本契約に基づき AWS が有するその他の権利および救済に加え、AWS は、貴社が装置を最初に所有した時から当社に返送する運送会社を受け取るまでの間に装置を紛失した場合には、紛失した装置について貴社に請求する場合があります。貴社は、指定施設から Outposts 装置を移動する前に、AWS に通知して同意を得る必要があります。

5. Amazon Elastic Compute Cloud

5.1. 貴社は、本サービスに関連し、Microsoft 社またはそのライセンサーが開発し所有する一定のソフトウェア (関連ドキュメントを含む) (「Microsoft ソフトウェア」と総称) を利用できる場合があります。

5.1.1. Microsoft ソフトウェアを使用する場合、Microsoft とそのライセンサーは、貴社に追加の契約条件に同意することを要求します。

- Microsoft ソフトウェアは、貴社に販売または配布されるわけではなく、貴社は本サービスに関連してのみそれを使用することができます。
- 貴社は、Microsoft ソフトウェアを本サービス外へ移転することや本サービス外で利用することはできません。
- 貴社は、Microsoft ソフトウェア上またはその中に表示されている著作権、商標権、その他の所有権通知を、削除、変更、不明瞭化することはできません。
- 貴社は、適用法により明示的に許可される範囲を除き、Microsoft ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすることはできません。

- Microsoft は、適用法により許容される範囲において、Microsoft によるすべての保証を否定し、また、本サービスに起因する、直接的、間接的、または結果的な損害に対する Microsoft またはそのサプライヤーの責任を否定します。
- Microsoft は、本サービスに関連するいずれのサポートも提供する責任を負いません。サポートを求めて Microsoft へ連絡しないようにしてください。
- 貴社は、航空機またはその他の人の大量輸送、核施設および化学施設、生命維持装置、インプラントの可能な医療機器、自動車、モニター車両、兵器システム、または類似の状況（「ハイリスクな利用法」と総称）を制御するアプリケーションで、Microsoft ソフトウェアを使用する権利を付与されません。Microsoft とそのサプライヤーは、ハイリスクな利用法への適合性について明示的または黙示的な保証を否定します。ハイリスクな使用法には、設定データの保存、ツールの設計や設定など、その故障が、人身傷害や死亡、重大な物理的または環境的損害を招かない制御以外のアプリケーションにおける、管理目的での Microsoft ソフトウェアの利用は含まれません。これらの制御以外のアプリケーションは、制御を実行するアプリケーションと通信することはできますが、制御機能には直接的にも間接的にも責任を負うことはできません。
- Microsoft は、本第 5.1.1 条の規定を執行する権利を持つ本条項の第三者受益者となることが想定されています。

5.1.2. 貴社は、Microsoft ソフトウェアを動作させるインスタンス（それぞれ「Microsoft インスタンス」と呼ぶ）に関し、Microsoft インスタンス内で実行される複数のインスタンス、インスタンスの部分、またはコンテナを販売または再販するために、ネスティング、コンテナ、または同様の技術を使用することはできません。ただし(a) 貴社が Microsoft インスタンスの究極的なエンドユーザーである場合、(b) 貴社が Microsoft インスタンスを自社のアプリケーションによって補足する場合、または(c) 貴社が Microsoft インスタンスに主要なまたは重要な機能を提供している場合を除きます。

5.2. 貴社は、本サービスに関連し、サードパーティーまたはそのライセンサーが開発、所有、または提供する一定のソフトウェア（関連サポート、メンテナンス、およびドキュメントを含む）の利用を許可される場合があります。サードパーティーソフトウェアの利用は追加の契約条件の対象となります。

- 貴社は、NVIDIA Corporation の GRID ソフトウェアを使用することにより、NVIDIA GRID クラウドエンドユーザーライセンス契約の条件に拘束されることに同意したことになります。
- 貴社は、NVIDIA Corporation の Tesla Driver、CUDA ツールキット、cuDNN、NVENC、NVCUVID、NVM、nvidia-smi および NCCL ライブラリソフトウェア、ツールキット、ドライバを使用することにより、NVIDIA クラウドエンドユーザーライセンス契約および NVIDIA サードパーティマテリアル通知の条件に拘束されることに同意したことになります。
- 貴社は、Red Hat, Inc.のソフトウェアを使用することにより、Red Hat クラウドソフトウェアサブスクリプション契約の条件に拘束されることに同意したことになります。Red Hat はまた、(i) Red Hat, Inc. ソフトウェアに関する保証を否定し、また、(ii) Red Hat Inc.のソフトウェアの使用に起因する、直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、結果的損害、および遺失利益、遺失収益、データまたはデータ利用の喪失についての責任を否定します。
- 貴社は、SUSE LLC のソフトウェアを使用することにより、SUSE エンドユーザーライセンス契約の条件および SUSE 利用条件に拘束されることに同意したことになります。
- Apple Inc.のソフトウェアを使用することにより、貴社は適用される Apple ソフトウェアライセンス契約の条件に拘束されることに同意したことになります。

5.3. 貴社が終了日を指定しない限り、貴社のスポットインスタンス要請は、(1)7日間が経過した場合、(2)当社が要請に応えた場合、または(3)貴社が要請をキャンセルした場合の最も早い日付まで継続します。当社は、該当するスポットインスタンスの現在の価格(スポット料金)が、貴社のスポットインスタンスへ指定した希望価格(「貴社上限価格」と呼ぶ)以上となった場合は、いつでも、貴社に通知することなくスポットインスタンスを終了、停止、または休止する場合があります。一定期間購入されたスポットインスタンス(「スポットブロック」と呼ぶ)は、スポット料金が貴社上限価格(指定されている場合)以上となった場合にも終了しませんが、指定された一定期間の経過後に終了します。スポットインスタンスとスポットブロックはまた、AWSのキャパシティ要件のために終了する場合があります。スポットブロックが、AWSキャパシティ要件のために終了した場合、貴社はそのスポットブロックについての料金を請求されません。スポットインスタンスは、IBMソフトウェアパッケージやMicrosoft SQL サーバーを含む当社指定の一定のサービス、機能、およびサードパーティーソフトウェアには使用することができません。貴社は、直接的または間接的に、単独またはサードパーティーと協力して、スポットインスタンスの料金を制御する、料金に影響を与える、料金を操作する試みをしてはいけません。貴社は、サードパーティーを通じてスポットインスタンスの要請を提出したり(「代理入札」など)、貴社がスポットインスタンス要請で指定した貴社上限価格に関する情報をサードパーティーと共有したりすることはできません。

5.4. EC2 リザーブドインスタンスと Dedicated Hosts

5.4.1. 当社はセービングプラン、EC2 リザーブドインスタンス、EC2 Dedicated Hosts 予約料金をいつでも変更する場合がありますが、本第 5.4 条に記載されるものを除き、料金変更は、以前に指定されたセービングプラン、EC2 リザーブドインスタンス、EC2 Dedicated Hosts 予約料金には適用されません。Microsoft が Windows の料金を値上げした場合、または Red Hat が Red Hat Enterprise Linux(「RHEL」と呼ぶ)の料金を値上げした場合、当社もまた該当する Windows または RHEL のセービングプランや EC2 リザーブドインスタンスの時間あたりの利用料金を値上げする(または対応する時間当たりの料金を導入する)場合があります。Windows のセービングプランまたは EC2 リザーブドインスタンスの時間利用料金の値上げ(または導入)は 12 月 1 日から 1 月 31 日の間に行われ、当社では 30 日前の通知を行います。RHEL のセービングプランまたは EC2 リザーブドインスタンスの時間利用料金の値上げ(または導入)については、当社は 30 日前の通知を行います。これが実施される場合、貴社は(a)新しい時間利用料金で Windows または RHEL の EC2 リザーブドインスタンスを利用し続ける、または(b)Windows または RHEL の EC2 リザーブドインスタンスを、同等の Linux EC2 リザーブドインスタンスへ切り替える、または(c)Windows または RHEL の EC2 リザーブドインスタンスを終了し、終了した Windows または RHEL の EC2 リザーブドインスタンスのために貴社が前払いした料金の日割り計算による返金を受け取ることができます。

5.4.2. 当社は、いつでも、セービングプラン、EC2 リザーブドインスタンス、または EC2 Dedicated Hosts 予約料金プログラムを終了する場合があります。セービングプランおよび EC2 Dedicated Hosts は譲渡不可能であり、EC2 リザーブドインスタンスは、AWS サイト上で提供される RI マーケットプレイスの要件に従ってのみ譲渡可能です。スケジュールドインスタンスおよびコンバーティブルリザーブドインスタンスは、RI マーケットプレイスの資格を与えられません。セービングプラン、EC2 リザーブドインスタンス、および EC2 Dedicated Hosts 予約はキャンセル不可で、アクティブな EC2 Dedicated Hosts 予約に関連付けられた EC2 Dedicated Hosts は、貴社のアカウントから削除することはできず、貴社は本契約終了後であってもなお、選択した期間についての料金を請求されます。セービングプラン、EC2 リザーブドインスタンスおよび EC2 Dedicated Hosts 予約に関連して支払われた金額は返金不能です。ただし、当社が正当な理由以外で本契約を解約した場合、個別の EC2 リザーブドインスタンスもしくは EC2 Dedicated Hosts 料金タイプを終了した場合、またはセービングプラン、EC2 リザーブドインスタンスもしくは EC2 Dedicated Hosts 料金プログラムを終了した場合は、当社は以前に指定されたセービングプラン、EC2 リザーブドインスタンスまたは EC2 Dedicated Hosts に関連して前払いされた金額の日割り計算部分を返金します。貴社は、EC2 リザーブドインスタンスを、RI マーケットプレイスで再販する目的で購入することはできません。当社が貴社による再販について疑いを掛ける場合、当社は貴社の購入を拒否またはキャンセルする権利を留保します。

セービングプラン、EC2 リザーブドインスタンス、または EC2 Dedicated Hosts 予約の期間が失効または終了した場合は、予約料金設定は失効し、標準的なオンデマンド形式の利用料金が適用されます。セービングプラン、EC2 リザーブドインスタンス、または EC2 Dedicated Hosts 予約の購入に起因する制限の対象となるか否かは、貴社の責任において判断してください。たとえば、貴社は、物品やサービスの前払金に適用される会計法や経費計上に関する法律またはその他のポリシーや制限を含め、前払金や予約リソースの失効に適用される法律、ポリシー、諸条件の順守に責任を負います。

5.5. EC2 リザーブドインスタンス (RI) マーケットプレイス

5.5.1. アクティブな EC2 リザーブドインスタンスの権限は、RI マーケットプレイスにおける販売のため提供することができます。ただし (1) リザーブドインスタンスの残りの期間が 1 か月以上あること、かつ (2) 一括前払金を受領され処理されていること (クレジットカード購入の場合、貴社が一括払いで支払ってから 30 日後、請求書支払いの場合、該当する請求書へ貴社が支払った後) (「販売可能な EC2 リザーブドインスタンス」と呼ぶ) が条件となります。貴社は、現在 AWS の優良顧客であり、貴社の AWS アカウントに関連付けられた販売可能な EC2 リザーブドインスタンスを所有しており、かつ、AWS アカウントを通じて登録プロセスを完了している場合に、「売主」となることができます。貴社は現在 AWS の優良顧客である場合に、「買主」となることができます。米国外に本拠を置くエンティティは、米国外の人であることを証明するために W-8BEN フォーム (米国税の源泉徴収および報告に関する受益者のステータス証明書) を提出するまで、売主となることはできません。貴社は、RI マーケットプレイスで以前購入した EC2 リザーブドインスタンスを再販売することができます。貴社が、ディスカウントプログラム (リザーブドインスタンスボリュームディスカウント等) を通じて購入した EC2 リザーブドインスタンスを再販売するときは、当社の事前の承認が必要となります。

5.5.2. 貴社は、売主として、販売可能な EC2 リザーブドインスタンスへの貴社の権限の記録上の売主となります。当社は、本サービス条件に明示的な規定がない限り、貴社と買主との間の基本となる取引には関与しません。当社または当社の関連会社もまた、RI マーケットプレイスに売主または買主として参加することができます。当社は、いつでも、RI マーケットプレイスから販売可能な EC2 リザーブドインスタンスを削除する場合があります。売主は、販売され買主に移転された後は、販売可能な EC2 リザーブドインスタンスに対し何の権限も持ちません。

5.5.3. 当社は、売主に代わり、取引に関するすべての支払いを処理し、該当する取引収益金を集金します。「取引」とは、RI マーケットプレイスを通じた販売可能な EC2 リザーブドインスタンスの販売を意味します。「取引収益金」とは、取引により私たちが受け取る総売上高を意味します。貴社は、販売可能な EC2 リザーブドインスタンスに対し買主が支払うべきすべての手数料と料金が、当社によって請求され回収されること、貴社が代替的な支払手段を提供または設定をしないことを確実にします。当社は、取引または支出の額、一定期間におけるすべての取引または支出の累積額、または一定期間に当社が処理する取引数に関し、一部または全部の売主および買主に取引制限を課す場合があります。当社は、当社が不正、違法である、またはそれ以外の形で本サービス条件、本契約、もしくは利用規定に違反していると疑う場合、調査のため保留したり、処理を拒否したりする場合があります。各取引について、当社が買主から支払い処理を成功裏に終えるまで、当社は取引収益金を売主に送金せず、また買主は販売可能な EC2 リザーブドインスタンスを利用することはできません。

5.5.4. 貴社は、貴社の販売可能な EC2 リザーブドインスタンスの時間料金に関係する支払いから集金した資金を受け取りません。当社は、各営業日の終了時に、その日より 2 営業日前の時点で当社が集金した、取引収益の買掛金を貴社に支払います。当社は、販売可能な EC2 リザーブドインスタンスに関し、適用される当社の手数料と料金を各支払いから控除します。当社は、貴社が当社または当社の関係会社に支払うべき何らかの金額を取引収益から控除、差引、清算することができます。支払いは、米国に所在し、貴社が当社に登録している、ACH 対応の銀行口座に対してのみ行われます。取引の処理においてエラーが発

生した場合は、貴社は、かかるエラーを修正するため、当社に、貴社指定の銀行口座に対する入金または引落を実行することを承認します。ただし、かかる修正は、適用される法または規則に従って行うものとし、何らかの理由で貴社指定の銀行口座から引き落としができなかった場合、貴社は適用される手数料を加えた再引落を他の銀行口座にかけること、または、貴社が当社に登録しているその他の方法により支払うこと、または、将来の取引収益からかかる引落金と手数料を差し引くことを当社に認めます。

5.5.5. 売主は、取引および販売可能な EC2 リザーブドインスタンスに関連する何らかの理由により賦課、発生、徴集または支払いを求められる、すべての売上税、使用税、物品税、輸入税、輸出税、付加価値税、源泉徴収税、その他の税および関税(「税」と呼ぶ)を計算、検証、支払いを行う責任があります。当社は取引に税が適用されるか否かを判断したり、取引に関する税を税務署に振り込んだり、取引に関する情報(税の支払いを含む)を報告する責任を負いません。各売主は、取引に関する税の支払い、また、売主が取引に関する税を回収、送金、または報告しなかった結果として課せられる罰金、罰則その他の手数料に関するクレームまたは要求に対し、当社および当社の関連会社に対し賠償します。

5.5.6. 当社は、各売主について、適用される税法の順守を可能にするために必要なデータおよび税務書類を収集します。たとえば、当社は、米国に本拠を置く売主について、売主の名前と住所を収集、保管し、1099K 税務報告要件を順守するために必要な納税者番号およびその他のデータを収集する場合があります。当社は、米国に本拠を置かない売主について、貴社が 1099K 税務報告を免除される証明として、W-8BEN 税務報告書(名称、住所、署名を含む)の収集と保管を行います。当社は、各買主について、買主の名称および住所を収集し保管します。買主および売主は、取引が完了するまで取引相手の名称を知ることはありません。当社は、取引が完了すると、該当する買主の都市名、州名、および郵便番号を売主に共有し、売主が該当する政府組織へ送金する該当する税金(該当の場合)を計算できるようにします。当社は売主の正式名称を買主の請求書上で共有します。買主および売主は、取引に関する情報、または取引に関係するその他の当事者についての情報(「取引情報」と呼ぶ)を取引に関係しない目的で使用することはできません。たとえば、貴社は直接的にも間接的にも(1)貴社が納税義務または本サービス条件に基づくその他の義務を遂行するために必要な場合、またすべての受取人がこれらの目的のためにのみ、かつこれらの制限を順守して、情報を使用することを確実にする場合を除き、取引情報を第三者に開示することはできず、(2)取引情報をマーケティングまたは販促目的で使用することはできず、(3)取引情報を適用法に何らかの形で反する形で利用することはできず、(4)当事者に別の方法で販売や購入をするよう感化するため連絡することはできず、(5)目的の受取人が、RI マーケットプレイスの買主または売主であるという根拠に基づくコミュニケーションを行うことはできません。

5.6. Amazon EC2 は、貴社の Microsoft ソフトウェアと Microsoft ライセンスを用いる Amazon EC2 インスタンスの提供を可能にします(「BYOL プログラム」と呼ぶ)。貴社の Microsoft との契約に別段の規定がない限り、貴社はこちらの要件を順守する場合のみ、BYOL プログラムに参加することができ、貴社は(a) ハードウェア専用インスタンスまたは Dedicated Hosts を使用し、かつ(b) 貴社が提供するソフトウェアバイナリをソースとする仮想マシン(VM)から起動します。

貴社は、Microsoft と貴社の契約に基づき該当する Microsoft ソフトウェアについて BYOL プログラムを使用する権利を得る必要があります。貴社は、必要なすべてのライセンスを取得し、製品を使用する権限および製品規約を含め、適用されるすべての Microsoft のライセンス要件を順守する責任を単独で負います。貴社は、BYOL プログラムに基づき Microsoft ソフトウェアを使用することにより、Microsoft エンドユーザーライセンス契約に同意したことになります。

貴社は、貴社の BYOL プログラムの利用により適用される Microsoft ライセンス要件の順守を決定していることに同意します。Microsoft と貴社との契約に違反した状態における本サービスの利用は認められず、許可させません。

5.7. 貴社は、Amazon EC2 の使用の一部として、貴社の Amazon EC2 リソースは、故障、除却、その他の AWS 要件により、終了または置き換えられる場合があることに同意します。Amazon EC2 の利用は、貴社に、AWS サーバー、機器、不動産または動産、またはその他の資産への物理的アクセスまたは物理的所持の権限を付与するものではなく、貴社はここにてその権限を放棄します。

6. Alexa ウェブサービス

貴社は、ウェブサイトのトラフィックデータなど、Alexa サービスのウェブ情報サービスおよび Alexa トップサイト(「Alexa ウェブサービス」と総称)から貴社が、貴社のアプリケーションやウェブサイトを向上させるために受け取るデータを使用することができますが、その主な用途が、www.alexa.com と同じまたは関連データを表示するアプリケーションや www.alexa.com と競合するアプリケーションでは使用することはできません。貴社は、キャッシュした Alexa ウェブサービス経由で受け取るデータを 24 時間以上にわたり表示することはできません。貴社は Alexa ウェブサービスや、Alexa ウェブサービス経由でアクセスしたデータを再販したり再配布することはできません。

7. Amazon SimpleDB サービス (Amazon SimpleDB)

過去 6 か月間に Amazon SimpleDB の料金が貴社に発生しておらず、かつ、Amazon SimpleDB に保存している貴社のコンテンツの利用が登録されていない場合、当社は、貴社に 30 日前の事前の通知を行った上で SimpleDB に保存されているコンテンツを削除することができます。

8. Amazon CloudWatch および自動スケール

8.1. Amazon CloudWatch は、CPU 利用状況、データ転送、ディスク利用率、アクティビティを含む、貴社が監視する本サービスの一定情報(「CloudWatch メトリクスデータ」と総称)を収集し保存します。AWS は、本サービスを保持し提供するために(本サービスの開発と向上を含む)CloudWatch メトリクスデータを使用することができます。

8.2. Amazon CloudWatch インターネットモニター

8.2.1. 貴社は、Amazon CloudWatch インターネットモニター、または Amazon CloudWatch インターネットモニターを通じて利用可能となるデータまたは情報を、直接的または間接的に、類似または競合する製品またはサービスを開発、改善、または提供するために使用してはならず、また第三者にも使用させてはならないものとします。貴社は、貴社が AWS リセラーとして認可され、再販または再配布の一部として貴社が重要な価値を付加し、貴社が受領者からさらに別の事業体への再販または再配布を制限し、および、各モニターについて、そのモニターが提供するメトリクスを複数の事業体に再販または再配布しない場合を除き、Amazon CloudWatch インターネットモニターまたは Amazon CloudWatch インターネットモニターが提供するいかなるメトリクスも再販または再配布してはならないものとします。

9. AWS Import/Export ディスク、AWS Snowball、AWS Snowcone、および AWS Snowmobile

9.1. 「AWS Import/Export」には、AWS Import/Export ディスク、AWS Snowball、AWS Snowcone、および AWS Snowmobile が含まれます。

9.2. 当社は、貴社による AWS Import/Export ディスク(「インポートエクスポートメディア」と呼ぶ)の利用に関し、貴社が当社に送付した物理的ストレージを、何らかの理由により貴社に返送する場合があります。欧州(アイルランド)リージョン内で対応する AWS のサービスへインポートするため、またはそこからエクスポートするため、当社に送付されたインポートエクスポートメディアは、欧州連合または欧州経済地域内の住所から発送されそこへ返送される必要があります。当社は、損傷した、欠陥のある、読み取り不可能なメ

メディアや、テクニカルドキュメントに従った Amazon 承認の方法により送付されていないインポートエクスポートメディア（「不備のあるメディア」と総称）は、拒否、返却、または処分する場合があります。当社はかかる不備のあるメディア上のデータを消去する場合があります。貴社の要請により当社が不備のあるメディアを貴社に返送する場合、かかる不備のあるメディアの返送に関する運送会社と取り扱い基準は当社が選択し、その運送会社と基準は、当社が通常 AWS Import/Export ディスクに関し利用する運送媒体と同じではない場合がある（より高い経費がかかる場合がある）ことに貴社は同意します。貴社は不備のあるメディアに関連して当社に発生した費用を賠償します。貴社の住所またはインポートエクスポートメディアに問題があるため、当社がインポートエクスポートメディアを返送できない場合、当社は貴社へ通知を行うよう試み、貴社は、当社が通知を行った日から 30 日の間に問題を解決します。問題が解決しない場合、そのインポートエクスポートメディアは不備のあるメディアとみなされます。

9.3. AWS Snowball および AWS Snowcone の一部で、当社は合意された数の「Snowball」または「Snowcone」ハードウェア装置（それぞれ「本装置」と呼ぶ）を貴社に送付し、貴社に該当する AWS Snowball クライアントまたは AWS Snowcone クライアントソフトウェアへのアクセスを提供します（本装置に含まれるソフトウェア、およびそれに対するアップデートまたはアップグレードをあわせて「本装置ソフトウェア」と呼ぶ）。貴社は、当社へ再出荷する運送会社に本装置を（同じ国内で）渡すまでの間、かかる装置の出荷先であった国にかかる装置が離れることを許可しないことに同意します。その理由にかかわらず当社から要請があった場合、貴社はいずれの装置も当社へ速やかに返送します。本装置は、かかる装置の使用に関するメトリクスを収集し当社に提供します。これには起動回数、転送ファイルのサイズ、転送、エラー、タイムアウトの期間が含まれます。これらのメトリクスは貴社のアカウント ID に関連付けることができ、当社はこれらのメトリクスを使用して、本サービスを管理し提供することができます（本サービスの開発および向上を含む）。

9.4. 当社は、AWS Snowmobile の一部で、コンテナ化されたデータセンターとネットワーク装置（「Snowmobile」と総称）およびその他の資料、装置、および Snowmobile のオペレーションに必要なソフトウェア（「Snowmobile マテリアル」と総称）を移送します。貴社は、常に、AWS サイトに記載され、またそれ以外でも Snowmobile テクニカルドキュメントに記載される、または発注配送過程で規定されるように、Snowmobile マテリアルの指定移送場所（「移送場所」と呼ぶ）が、Snowmobile マテリアルの納品、設定、管理、利用、撤去に必要な最低要件を確実に満たすようにします。貴社は、移送場所に Snowmobile マテリアルを納品、設定、整備、利用、撤去するために必要なすべての権限、証明書、ライセンスを所有していることを確実にします。貴社は、AWS に起因しない限り、移送場所にある間の Snowmobile マテリアルの損傷に責任を負います。貴社は、AWS が指定した担当者が監督しているとき以外は、移送場所から Snowmobile マテリアルを移動させる許可を行ってはいけません。貴社は、AWS により指定された担当者が、必要に応じて、Snowmobile マテリアルの納品、設定、検査、整備、撤去ができるよう、移送場所へ速やかにかつ合理的にアクセスできるようにします。貴社は、指定施設に立ち入る条件として AWS の従業員に対し、ドキュメントへの署名、承認、その他の同意を求めず、万が一 AWS 従業員が署名した場合もかかるドキュメントの契約条件は無効であることに同意します。貴社は (i) AWS が指定した従業員、(ii) Snowmobile マテリアルの整備に関連し AWS により書面で許可されている人、または (iii) 人身傷害、器物損壊、または作動中の火災報知システムに関連する差し迫った状況により必要な場合以外は、Snowmobile マテリアルにアクセスしたり、かかるマテリアルを移動または修理したりしないことを確認します。貴社が Snowmobile マテリアルに関するこれらの条件または本契約の契約条件に違反した場合、AWS は、貴社による Snowmobile マテリアルの利用を終了し、Snowmobile マテリアルを撤去することができます。

9.5. 当社は、AWS Import/Export サービスが完了した時点で、インポートエクスポートメディアを貴社へ返送し、該当する本装置または Snowmobile からデータを削除します。

9.6. 貴社は、当社へ送付され、当社から返送されるインポートエクスポートメディアおよび本装置に関するすべての関税、通関手数料、税、その他の料金を負担します。

9.7. 貴社は、AWS Import/Export ディスクに関し、運送中のインポートエクスポートメディアの紛失または損傷に関するすべてのリスクを負います。貴社は、AWS Snowball および AWS Snowcone に関し、本装置が貴社に納品されてから、当社への返送のために運送会社が受け取るまでの間の本装置の損傷または紛失について責任を負います。(a) 貴社が本装置を最初に所有した時から当社に返送する運送会社が受け取るまでの間に紛失または修復不可能な形で損傷した場合、または(b)テクニカルドキュメントまたは当社による同意により別段の規定がない限り、本装置が貴社に納品されてから 90 日以内に、貴社がかかる装置を当社へ返送する運送会社へ引き渡さない場合、当社は、本契約に基づき保持する当社のその他の権利と救済に加え、AWS Snowball または AWS Snowcone の価格設定ページに指定されている該当する紛失装置料金を貴社に請求することができます。

9.8. 貴社は、機微性の高いデータを暗号化することや、インポートエクスポートメディア、本装置、および Snowmobile マテリアルへの不正アクセスを許可しないことを含め、貴社のデータおよびインポートエクスポートメディア、本装置、および Snowmobile マテリアルに適切なセキュリティ手段を適用することに単独で責任を負います。

9.9. AWS またはその関連会社は、本装置、本装置ソフトウェアおよび Snowmobile マテリアルにおけるすべての権利を保持し、本装置、本装置ソフトウェアおよび Snowmobile マテリアルの所有権またはそれらにおける知的財産権またはその他の権利を貴社に売却、貸出、リースしません。貴社は、どのような個人または組織に対しても、本装置、本装置ソフトウェアおよび Snowmobile マテリアルまたは、本装置、本装置ソフトウェアおよび Snowmobile マテリアルにおけるいかなる権利も譲渡、付与、権利移転せず、またそれらを行う意図を示さず、かかる譲渡、付与、権利移転の意図は無効となります。貴社は、前項の規定を制限することなく、(a) 本装置または Snowmobile マテリアルをスキャン、X 線撮影、開封、変更、改ざん、逆アセンブルしたり、それ以外の方法で内部を見たり、改ざんしようとする試み、または(b) 本装置または本装置ソフトウェア、Snowmobile マテリアルの機能または手段の回避または無効化を行わず(または試みず)、それらを第三者が行うこと(または試みることを)許可または承認しません。貴社は、本装置および Snowmobile マテリアルには改ざん監視機能が搭載されている場合があることを認めます。

9.10. 貴社は、本装置の外見上の状態にかかわらず、また、本装置が損傷し機能しないと貴社が考える場合もなお、すべての本装置を評価のため当社に返却し、当社が、その再使用方法について、および環境上問題とならない方法でリサイクルする必要のあるコンポーネントについて検討できるようにします。貴社は、どのような状況においても、本装置(または内蔵バッテリーを含むそのコンポーネント)を廃棄物として扱ったり処分したりしません。使用済の本装置の出荷は、適用されるバーゼル条約の使用済電気および電子機器の越境移動に関する技術ガイドラインを含め、使用済の電子機器に関し適用される法律に一致する方法で行う必要があります。

9.11. 貴社は、適用されるライセンス要件および国別の制裁プログラムを含め、すべての適用される、データ保護、輸入、再輸入、輸出、および再輸出管理法を順守する責任があります。貴社は、インポートエクスポートメディア、データ、ソフトウェア、技術に関し(該当する)記録上の輸出者および輸入者としての業務を行う責任があり、AWS は輸出または輸入手続きに関与しないことに同意します。貴社が欧州連合内において、本装置、インポートエクスポートメディア、本装置ソフトウェア、または Snowmobile マテリアルを軍民両用品として使用する場合、貴社は、貴社または貴社が代表する法人が、欧州連合内で「設立されている」ことを表明します。貴社が欧州連合内で「設立されていない」場合は、貴社は、かかる軍民両用品をアップロードせず、軍民両用品のダウンロードや欧州連合外への輸出を当社に要請しません。貴社が、欧州連合内において、本装置、インポートエクスポートメディア、本装置ソフトウェア、または Snowmobile マテリアルを軍用品として使用する場合、貴社または貴社が代表する法人が、軍用品をアップロードすることを貴社の設立した加盟国によって許可されており、加盟国からかかる軍用品をダウンロード、または加盟国外へ輸出するよう当社に要請することを貴社は表明します。また、貴社が有するこのような許可は、本契約の契約条件であり、AWS Import/Export を貴社が使用する条件でもあります。

10. Amazon Relational Database Service (Amazon RDS)

10.1. 貴社は、貴社の Amazon RDS コンテンツのスナップショットを、後に Amazon RDS で使用するために保存することができますが、スナップショットは本サービス外へダウンロードすることはできません。

10.2. 貴社は、予約 DB インスタンスプログラムにより、AWS サイト上の Amazon RDS 詳細ページに指定されている予約料金および支払条件に従って、Amazon RDS データベースインスタンスを指定することができます（各指定されたインスタンスを「予約 DB インスタンス」と呼ぶ）。当社は、いつでも、予約 DB インスタンスプログラムを終了する場合があります。当社は、いつでも、予約 DB インスタンスプログラムの料金を変更する場合がありますが、以前に指定した予約 DB インスタンスには、料金変更は適用されません。予約 DB インスタンスはキャンセル不可であり、本契約が終了した場合もなお、貴社は選択した期間について予約 DB インスタンスの料金を請求されます。予約 DB インスタンスは譲渡不可であり、予約 DB インスタンスに関連して支払われたすべての金額は返金不可です。ただし、当社が正当な理由なしに本契約を修了した場合、個別の予約 DB インスタンスタイプを終了した場合、または予約 DB インスタンスプログラムを終了した場合、当社は、以前に指定された予約 DB インスタンスに関連する前払金を日割り計算で貴社に返します。予約 DB インスタンスの期間が満了または終了した場合、予約 DB インスタンス料金は有効期限切れとなり、そのデータベースインスタンスには標準のオンデマンド利用料金が適用されます。

10.3. Oracle ソフトウェアの利用

10.3.1. 「ライセンス込み」 貴社は、本サービスの一部として、Oracle America, Inc. またはその関連会社（「Oracle」と呼ぶ）および Oracle のライセンサーが開発し所有する AWS サイト上に記載されている一定のソフトウェア（「Oracle ソフトウェア」と総称）（関連するドキュメントを含む）の利用を許可される場合があります。貴社が Oracle ソフトウェアの使用を選択し、Oracle から Oracle ソフトウェアのライセンスをまだ取得していない場合、Oracle およびそのライセンサーは、貴社が以下の追加契約条件に同意することを要請します。

- Oracle またはそのライセンサーは、Oracle ソフトウェアにおけるすべての所有権と知的財産権を保有し、Oracle ソフトウェアの所有権は本契約により貴社または第三者に移転することはありません。
- Oracle ソフトウェアは、制限付きライセンスの対象であり、本サービスに関連してのみ、かつ、本契約を締結した個人または法人のみが使用することができます。
- 貴社は、本契約に従って社内の業務運営にのみ Oracle ソフトウェアを使用することができます。貴社は、エージェントまたは契約業者（外注先を含む）に対し、貴社のために本書記載の目的で Oracle ソフトウェアの使用を許可することができます。ただし、貴社はかかるエージェント、契約業者、外注先が、その利用にあたって本契約を順守することに責任を負います。
- 貴社は以下を行うことはできません。
 - Oracle ソフトウェアまたは Oracle ソフトウェアにおける所有権の他の個人または法人への譲渡、付与、または権利移転。貴社が Oracle ソフトウェアにおける担保権を付与しようとした場合も、担保を得た当事者は Oracle ソフトウェアを使用または移転する権利を有しません。
 - Oracle ソフトウェアを、レンタル、タイムシェア、サブスクリプション サービス、ホスティング、外注に使用すること。
 - Oracle またはそのライセンサーの所有権通知を除去または変更すること。
 - Oracle ソフトウェアを、何らかの形で第三者の事業運営のために第三者に利用可能にすること。

- Oracle ソフトウェアの複製、リバースエンジニアリング（相互運用性のために法に求められる場合を除く）、逆アセンブル、逆コンパイルを行うこと（Oracle ソフトウェアが生成したデータ構造や同様の資料を検討することを含む）。
- Oracle ソフトウェア上で実行したベンチマークテスト結果を公開すること。
- 一部の Oracle ソフトウェアと組み合わせて使用することが適切なまたは必要なサードパーティー技術は、関連ドキュメントに指定されています。このようなサードパーティー技術は、本サービスにおいて使用するためにのみ、本契約ではなくドキュメントに指定されているサードパーティーライセンス契約の契約条件に基づいて、貴社にライセンスが与えられます。
- Oracle は、適用法により許容される限りにおいて、Oracle ソフトウェアの利用に起因する、直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、または結果的損害、遺失利益、遺失収益、またはデータもしくはデータ利用の喪失に関する損害についての責任を否定します。
- 本契約に反することが記載されていてもそれにもかかわらず、Oracle は、本契約の第三者受益者となることが想定されていますが、本サービス条件についての本第 10.3.1 条に関する場合のみとします。
- 統一コンピュータ情報取引法は貴社による Oracle ソフトウェアの利用には適用されません。
- 貴社は、本契約の終了後、Oracle ソフトウェアおよび関連ドキュメントの利用を中止する必要があります。

10.3.2. 「Bring-Your-Own-License」(BYOL) Amazon RDS は、BYOL オプションに基づき、貴社に Oracle ソフトウェアを Amazon EC2 インスタンスへセットアップし、Amazon RDS の管理機能を Oracle ソフトウェアに利用することができます。以下の条件を満たした場合、貴社は Amazon RDS と組み合わせて Oracle ソフトウェアを使用することができます。

- 実行を希望する Oracle ソフトウェアの「ソフトウェアアップデートライセンス&サポート」の有効なライセンスを持っている必要があります。貴社による Oracle ソフトウェアの利用には、貴社の Oracle 間との既存のライセンス・サポート契約の契約条件が引き続き適用されます。
- 貴社は、クラウドコンピューティング環境においても Oracle データベースソフトウェアのライセンスに関する Oracle の現行ポリシーに従う必要があります。Oracle ソフトウェアを Amazon RDS と組み合わせて使用するデータベースインスタンスは、Amazon EC2 環境に常駐します。

10.4. Microsoft ソフトウェアの利用 「ライセンス込み」 Amazon RDS 上での Microsoft ソフトウェアの利用には、上記の第 5.1 条およびこれらの追加契約条件が適用されます。

- ウェブ版 SQL Server は、公のインターネットでアクセス可能なウェブページ、ウェブサイト、ウェブアプリケーション、ウェブサービスのサポートのためにのみ使用できます。それは、ビジネスアプリケーション（顧客関係管理、エンタープライズリソース管理、その他同様のアプリケーション）のサポートラインには利用できません。
- Microsoft は、本第 10.4 条の規定を執行する権利を持つ本条項の第三者受益者となることが想定されています。

10.5. Amazon RDS Custom

10.5.1. RDS Custom では、Amazon EC2 インスタンス上で実行されるデータベースエンジンおよびオペレーティングシステムを供給し管理することができます。貴社は、RDS Custom と併用して、第三者またはそのライセンサーが開発、所有または提供する特定のバイナリー、ソフトウェアまたは類似のメディア（関連するサポート、メンテナンス、ドキュメントを含む）を使用することができます。貴社は、RDS Custom の利用が適用されるライセンス供与要件およびサポート要件を順守していると判断し、かつ今後も順守し続けることに同意します。第三者との契約に反する RDS Custom の利用は許可されず、認められません。

貴社がサポート境界（ドキュメントで明記）内でデータベースのインスタンスを維持できない場合は本サービスの不具合が生じる可能性があります。AWS はこの点について責任を負いません。RDS Custom の別のソフトウェアとの利用、カスタム化、コピーは貴社の責任において行われるものであり、RDS Custom がサポート境界の範囲外となり、本サービスの不具合を引き起こす原因となる場合があります。AWS はこの点について責任を負いません。

10.5.2. RDS Custom と利用するために貴社が利用できる特定のデータベースエンジンまたはオペレーティングシステム（OS）ソフトウェア（関連するドキュメントを含む）の貴社による利用は、以下に定める第三者のライセンス供与要件の対象となります。

- RDS Custom での Linux OS バージョン（Red Hat, Inc.、SUSE LLC、NVIDIA Corporation などからのもの）の利用は、上記第 5.2 条の対象となります。
- RDS Custom 上での「ライセンス込み」Microsoft Software の利用は、上記第 5.1 条および第 10.4 条の対象となります。

10.6. PostgreSQL 向け Trusted Language Extensions (Trusted Language Extensions) は、貴社、第三者、またはそのライセンサーが開発、所有、または提供する拡張機能を、Amazon RDS で PostgreSQL の Trusted Language Extensions を用いて使用、構築、および実行できるようにするものです。貴社が Trusted Language Extensions で使用する拡張コードは本契約における貴社コンテンツです。AWS は、拡張機能に起因するサービスの不具合について責任を負うものではありません。貴社は、AWS がセキュリティおよび性能を目的として拡張コードをスキャンすることに同意するものとします。

11. Amazon Simple Notification Service (Amazon SNS)

11.1. アジアパシフィック（東京）リージョンの Amazon SNS は、AWS ではなく AWS の関連会社である AMCS LLC が販売し提供していますが、これには本契約の契約条件が適用されます。

11.2. アジアパシフィック（シンガポール）リージョンの Amazon SNS は、AWS ではなく AWS の関連会社である AMCS SG PRIVATE LIMITED（「AMCS SG」）が販売し提供していますが、これには別途本契約の契約条件が適用されます。

11.3 Amazon SNS の料金は、当社の管理の範囲外となる理由により、貴社の通知の配信が阻害、遅延、またはブロックされたか否かにかかわらず適用されます。

11.4. 貴社は、未承諾または不要なコミュニケーションに関連する法的要件（電話利用者保護法（TCPA）、FTC のテレマーケティング販売規則、EU の e プライバシー指令、その他類似のテレマーケティング法を含むがこれらに限定されない）を順守する責任を負います。

11.5. 当社は、いつでも、サードパーティープッシュ通知プラットフォームのサポートを変更、終了、または廃止する場合があります。

11.6. 貴社は、Amazon SNS の利用を通じて、以下を行わないこととします。

- ウイルス、トロイの木馬、ワーム、その他の悪意あるまたは有害なプログラムの送信
- 緊急通報サービスの提供または提供できると称すること。「緊急通報サービス」とは、ユーザーを 110 番や 119 番などの緊急サービス先または緊急応答機関へ接続するサービスを意味します。
- 該当する AWS 契約当事者が AWS インドである場合、「緊急通報サービス」とは、ユーザーを 100 番や 112 番などの緊急サービス先または緊急応答機関へ接続するサービスを意味します。
- データやソフトウェアの送信に関する法律を含めた、地域または外国の法律、規則、規制、命令への重大な違反または重大な違反の手助け
- 性的にあからさまな資料を送信すること、「アダルトサービス」に関係すること、または機微性の高い金銭的または個人を特定する情報(社会保障番号など)を含めること
- 本サービスを再販、サブライセンス、タイムシェアすること、または本サービスを匿名の人もしくはその他の第三者のために使用すること
- 本サービスを危険な環境で利用すること(核施設の操作、航空機の航行、またはその他の予見できない人身傷害や死亡または器物損壊リスクに帰結し得る利用、など)

11.7. 通信事業者は、随時、自らの規則、要件、およびポリシー(「通信事業者ポリシー」と総称)を変更または修正する場合があります。当社は、通信事業者ポリシーの変更について、電子メール、Personal Health Dashboard による通知、またはテクニカルドキュメントなどを通じて貴社に通知するよう、合理的な努力をします。貴社は、貴社による本サービスの利用に適用されるすべての通信事業者ポリシーの順守に責任を負います。

11.8. 該当する AWS 契約当事者が AWS インドである場合、貴社は、Amazon SNS を用いて以下のいずれかのために SMS メッセージを送信する場合は、事前に、当社から書面による合意を取得しなければならないものとします。

- 金融取引または決済サービス(例えば、モバイルバンキング、請求書送付、請求書への支払い、送金、ピアツーピア決済もしくは貸出クレジット、デビットカードまたはプリペイド決済サービスなど)
- 懸賞またはコンテスト
- 商用の製品、商品またはサービスの広告または販売促進

12. AWS Identity and Access Management(IAM)

12.1. 当社が合理的な裁量により貴社の AWS アカウントとリソースを保護するために変更が必要であると判断した場合、当社は貴社が IAM を使用して作成したユーザーログイン情報を変更し、かかる変更について貴社に速やかに通知します。

12.2. 当社は、いつでも、事前の通知なく、サードパーティーアイデンティティプロバイダのサポートを変更、終了、または廃止する場合があります。

13. Amazon Route 53

13.1. 貴社は、所有していないドメインまたは権限のないドメインについて、ホストゾーンを作成することはできません。

13.2. Amazon Route 53 と関連して使用されるすべてのドメインネームシステム (DNS) レコードは (プライベート DNS レコードを除く) 公に利用可能になり、AWS はこれらの DNS レコードの開示について責任を負いません。

13.3. ドメインネーム登録サービスは Amazon Route 53 ドメインネーム登録契約に基づいて提供されません。

14. AWS Elastic Beanstalk

14.1. AWS は、第三者の知的財産権を侵害する、または利用規定に違反する、AWS Elastic Beanstalk 環境に関連して使用される URL を拒否または変更することができます。

14.2. 貴社がどの時点でも AWS Elastic Beanstalk 環境の実行を停止した場合、その環境に関連付けて使用されていた URL の [myapp] 部分は、貴社では利用できなくなり、AWS の他の顧客がそれを利用できるようになります。

15. Amazon Simple Email Service (SES)

15.1. アジアパシフィック (シンガポール) リージョンの Amazon SES は、AWS ではなく AWS の関連会社である AMCS SG PRIVATE LIMITED (「AMCS SG」と呼ぶ) が販売し提供していますが、これには本契約の契約条件が適用されます。

15.2. アジアパシフィック (東京) リージョンの Amazon SES は、AWS ではなく AWS の関連会社である AMCS LLC (「AMCS」と呼ぶ) が販売し提供していますが、これには本契約の契約条件が適用されます。

15.3. 多くの E メールサービスプロバイダと同じように、貴社が SES を使用して送信、送信を試みる、または受信する E メール (「SES E メール」と呼ぶ) のセキュリティと信頼性を高めるため、当社 (またはサードパーティープロバイダ) は、「スパム」メール、ウイルスおよびスパイウェアおよびその他の有害または迷惑メールが、SES 経由で送受信されるのを防止しブロックすることで、貴社および SES を保護するため、貴社の SES E メールと SES E メール内に含まれる貴社のコンテンツを保存しスキャンする場合があります。

15.4. 当社が以下の判断を行った場合、当社は、貴社の SES へのアクセスを停止または終了したり、任意の SES Eメールの送受信をブロックまたは拒否する場合があります。

- SES E メールまたは SES E メールに含まれる貴社コンテンツの当社によるスキャンにより、不正使用されたまたは品質の低い E メール (「スパム」など) であることが判明した場合、
- SES E メールが未達となり当社に返送されてきた場合、または貴社の SES E メールに関連して当社が不正使用の苦情 (第三者からの苦情を含む) を受け取った場合、
- 「宛先不明のための返送」または苦情に対して貴社が当社に提出した送信元または ReturnPath メールアドレスが、正常に E メールを受信しない場合

15.5. 当社の管理範囲外の理由により、貴社の SES メールがブロックされたり、遅れたり、配信されたりしない場合も、貴社の支払義務は継続します。

15.6. AWS は、スパム対策法または類似の適用法の定義における「送信者」ではありません。

16. AWS Direct Connect

16.1. 貴社は、物理的セキュリティ、ファイアウォール、およびその他の該当するネットワークセキュリティツールの使用を含め、貴社の AWS Direct Connect 接続を保護する責任があります。

16.2. AWS は、データセンター運営会社またはその他のサービスプロバイダに、貴社が選択した AWS Direct Connect の設置場所で AWS のハードウェアに貴社のハードウェアを接続することを許可します。AWS は、貴社の名称、メールアドレス、ネットワーク構成、アクティビティ情報、AWS アカウント番号を含め、データセンター運営会社またはその他のサービスプロバイダがこの接続を確立し監視できるようにするために必要な情報を提供します。

16.3. 貴社は、データセンター運営会社またはその他のサービスプロバイダと、別途、関係を維持する責任があります。これにはデータセンター運営会社やその他のサービスプロバイダとの契約、ポリシー、手続きを順守し、また、データセンター運営会社やその他のサービスプロバイダへ該当する料金を支払うことが含まれます。貴社は、この専用接続を確立するために必要となる装置や配線を提供または調達する責任があります (AWS はそれらを所有しておらず、責任を負いません)。

16.4. AWS Direct Connect の一部として貴社が確立した接続が一時的に利用できなくなったり、終了した場合、AWS は、公共インターネット経由で貴社の AWS リソースへのトラフィックをルーティングします。これには、AWS の標準的なデータ転送料金が適用されます。しかし、貴社が Amazon Virtual Private Cloud (VPC) を利用している場合、貴社の Amazon VPC リソースへのトラフィックは、IPsec VPN 接続を通じてルーティングされます。IPsec VPN 接続が利用できない場合は、貴社の Amazon VPC リソースへのトラフィックは配信されません。

17. Amazon ElastiCache

17.1. 貴社は、Amazon ElastiCache の一部で、当社がキャッシュノード上にインストールしたソフトウェアにアクセスしたり改造したりすることはできません。

17.2. 貴社は、予約キャッシュノードプログラムにより、AWS サイトの Amazon ElastiCache 詳細ページに記載される予約料金と支払条件に基づき、予約 Amazon ElastiCache キャッシュノードを購入することができます (指定された各インスタンスを「予約キャッシュノード」と呼ぶ)。当社は、いつでも、予約キャッシュノードプログラムを終了する場合があります。当社は、いつでも、予約キャッシュノードプログラムの料金を変更する場合がありますが、以前に指定した予約キャッシュノードには、料金変更は適用されません。予約キャッシュノードは譲渡不可であり、予約キャッシュノードに関連して支払われたすべての金額は返金不可です。ただし、当社が正当な理由なしに本契約を終了した場合、個別の予約キャッシュノードタイプを終了した場合、または予約キャッシュノードプログラムを終了した場合、当社は、以前に指定された予約キャッシュノードに関連する前払金の比例配分の部分を貴社に返金します。予約キャッシュノードの期間の満了または終了後は、貴社が利用するキャッシュノードには、標準的なオンデマンド利用料金が適用されます。

18. AWS GovCloud (米国) サービス条件

18.1. AWS GovCloud (米国) リージョンにおける本サービスの利用には、AWS GovCloud (米国) 契約条件が適用されます。この契約条件は AWS GovCloud (米国) 管理コンソールの AWS アーティファクト経由で入手できます。

18.2. 貴社には、正確かつ最新の登録情報を提供することを含め、AWS GovCloud (米国) リージョンの使用に適用される資格要件を満たす責任があります。当社は、当社が検証の必要があると考える、貴社が当社に提供した情報について、商業的および政府のデータベースのチェックを含め、問い合わせを直接にまたは第三者を通じて行う場合があります。当社は当社の顧客のアイデンティティを検証するために必要な措置を講じますが、当社は顧客のアイデンティティを保証することはできず、保証しません。

18.3. AWS は、AWS GovCloud(米国)リージョンへのアクセスを付与されることのある顧客またはエンドユーザーの米国人としてのステータスに関して、どのような表明も保証も行いません。

18.4. 貴社は、貴社のコンテンツの処理および保存を行う上での AWS GovCloud(米国)リージョンの適切性を検証する責任があり、貴社による AWS のサービスの利用は、貴社のコンテンツに適用されることのある法律および規則を順守することとします。

19. Amazon DynamoDB

貴社は Amazon DynamoDB リザーブドキャパシティープログラムを使用して、予約スルーブットキャパシティー(読み取りと書き込み)を購入することができます。このプログラムには、AWS サイト上の Amazon DynamoDB 詳細ページ(「Amazon DynamoDB リザーブドキャパシティー」と呼ぶ)に記載された料金および支払条件が適用されます。当社は、いつでも、Amazon DynamoDB リザーブドキャパシティープログラムを終了する場合があります。当社は、いつでも Amazon DynamoDB リザーブドキャパシティーの料金を変更する場合がありますが、料金変更は以前に購入された Amazon DynamoDB リザーブドキャパシティーには適用されません。Amazon DynamoDB リザーブドキャパシティーは譲渡不能であり、Amazon DynamoDB リザーブドキャパシティーに関して支払われたすべての金額は返金不可となります。ただし、当社が本契約または Amazon DynamoDB リザーブドキャパシティープログラムを終了した場合(正当な理由以外で)は以前に購入された Amazon DynamoDB リザーブドキャパシティーに関し支払い済の前払金の日割り計算相当額を返金します。Amazon DynamoDB リザーブドキャパシティーの期間の満了または終了後、貴社による Amazon DynamoDB の利用へは標準的なオンデマンド利用料金が適用されます。

20. AWS Marketplace

20.1. AWS Marketplace 経由で利用可能となるコンテンツにより、別途明示的に記載される別のライセンスに基づき貴社に提供される範囲を除き、貴社もエンドユーザーも、以下を行ったり、試みたりしてはいけません。(a) コンテンツを変更、修正、改ざん、修理すること、または、それ以外の形でコンテンツの二次著作物を作成すること。(b) コンテンツのリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルを行うこと、またはコンテンツに含まれるソフトウェアのソースコードを引き出すためのその他のプロセスまたはプロシージャーを適用すること。(c) コンテンツを再販売またはサブライセンスを許諾すること。(d) 個別の承認を得ることなくコンテンツを本サービスの外部へ転送すること。および(e) 制御手段を改ざんまたは回避すること、またはコンテンツの不正コピーを作成すること。

20.2. AWS は、貴社に事前の通知なしに、AWS Marketplace(または AWS Marketplace 内の機能またはリスティング)の提供を停止する場合があります。また、そのコンテンツが本ポリシーまたはその他の規制、ポリシー、または法律に違反していると AWS が判断した場合、AWS は、貴社が AWS Marketplace 上で購入したコンテンツを無効化または削除する場合があります。

20.3. 支払期限の過ぎた未回収の支払いがある場合に、AWS Marketplace 上のそれぞれのサードパーティープロバイダが承認した範囲において、AWS は、30 日以上前の書面による通知を貴社に行った上で、貴社が AWS Marketplace 上で購入したまたは申し込みしたサードパーティーコンテンツへのアクセスを無効化したり、かかるコンテンツを削除する場合があります。

20.4. AWS Marketplace 上で第三者が提供するプロフェッショナルサービスには、各第三者が指定する別の契約条件が適用されます。AWS はかかるサービスに関する管理も保証も行うことができません。

20.5. AWS Marketplace の買主は、AWS Marketplace の取引について、税務書類を収集し、必要に応じて源泉徴収し、関係税務当局に税務フォームを提出する責任があります。米国に本拠を置くサービスの支

払いまたはロイヤリティ収入の支払いを米国以外の国に本拠を置くサードパーティープロバイダに行った買主は、当該収集、源泉徴収、提出義務のすべてを負い、当社が米国財務省規則 1.1441-7(a)に定義される源泉徴収義務者として行動することはありません。

20.6. AWS Marketplace における貴社の第三者からの購入を促進する目的のため、本契約に基づく該当する AWS 契約当事者は、以下の表に記載されています。上記にもかかわらず、Amazon Web Services, Inc. が AWS Marketplace で再販するサードパーティー製品についての請求者は、引き続き Amazon Web Services, Inc. となります。

アカウント国	AWS 契約当事者	ファックス	郵送先住所
オーストラリア (2022 年 10 月 1 日以降有効)	Amazon Web Services Australia Pty Ltd (ABN: 63 605 345 891)	該当なし	Level 37, 2-26 Park Street, Sydney, NSW, 2000, Australia
日本 (2022 年 10 月 1 日以降有効)	アマゾンウェブサービスジャパン合同会社	該当なし	〒141-0021 東京都品川区上大崎 3 丁目 1 番 1 号
欧州、中東、アフリカ(南アフリカ、トルコを除く)のうちかかに記載されている国 ¹ https://aws.amazon.com/legal/aws-emea-countries/ (2022 年 1 月 1 日以降有効)	Amazon Web Services EMEA SARL	352 2789 0057	38 Avenue John F. Kennedy, L-1855, Luxembourg
本表の上記に記載されていないその他の国(中国を除く)	Amazon Web Services, Inc.	206-266-7010	410 Terry Avenue North, Seattle, WA 98109-5210 U.S.A.

¹ プロフェッショナルサービス(これについて該当する AWS 契約当事者は Amazon Web Services, Inc. となります)を除きます。また、AWS Marketplace での貴社の購入が、Amazon Web Services EMEA SARL に登録された第三者からのものである場合にのみ適用されます。それ以外の場合は、Amazon Web Services, Inc. が、該当する AWS 契約当事者となります。

20.7. 貴社がインドに所在する AWS の顧客である場合、両当事者は、本第 20.7 条が適用されることに同意します：

20.7.1. 貴社が、貴社の購入に適用できるよう物品サービス税(GST)登録番号を当社に提供した場合、貴社が登録時に提供した情報(貴社の GST 登録番号ならびに GST 登録に関連する名前および住所を含む)は、貴社が AWS Marketplace で購入したソフトウェアの売主たる第三者との間で、当該第三者が GST 請求の規制および要件を遵守するのに必要な範囲において共有されるものとします。

20.7.2. 貴社が支払うべき購入料金および料金は、適用されるあらゆる税金を除外するものとし、かつ、法により要求される控除または源泉徴収を行わないものとします。明確性のため付言すると、支払いに対して控除または源泉徴収(国境を越えた源泉徴収を含む)が要求される場合、かかる追加金額は必要に応じて貴社が支払うものとし、AWS またはその関連会社が受領する正味金額が AWS Marketplace での貴社の

購入に対して貴社が支払うべき金額と等しくなるものとします。AWS またはその関連会社は、AWS Marketplace での貴社の購入に対する支払いに関して、源泉徴収または税額控除の金額を削減または取り除くために、合理的要求に応じて貴社に税務書類を提供します。AWS またはその関連会社は、AWS またはその関連会社が貴社から徴収する法的義務または権限を有するすべての適用税額を請求し、貴社はこれを支払うものとします。AWS またはその関連会社は、貴社が適切な記載のある免税証明書または直接支払許可証明書を提供し、AWS またはその関連会社が免税を主張できる税金については徴収せず、貴社はこれを支払わないものとします。

21. AWS Ground Station

21.1. Licensing Accelerator または AWS Ground Station を通じて提供されるガイダンスは、貴社の便宜のために提供されるものであり、法律上またはコンプライアンス上のアドバイスに相当するものではなく、また弁護士秘匿特権の対象でもありません。貴社は、AWS Ground Station の利用が適用される法律および規制の要件を満たしているかどうかについて、必要に応じて法律専門家に依頼することを含め、ご自身の責任で評価するものとします。

21.2. 貴社は、Licensing Accelerator および AWS Ground Station を、直接的または間接的の別を問わず、類似または競合する製品およびサービスを開発または改善するために使用しないものとし、また第三者にこれを許可しないものとします。

21.3. 貴社は、自らの責任において、貴社のスペース資産、およびスペース資産間で送受信されるデータに適切なセキュリティ対策を適用し(暗号化、ファイアウォール、およびその他のネットワークセキュリティツールを適宜使用することを含みます)、貴社のデータへの不正アクセスを許容しないものとします。

21.4. 貴社は、貴社の AWS アカウントに関連するスペース資産のすべての権利、権原、および権益を所有していること、またはその使用を許可するために必要なすべての権限を有していることを表明および保証すると共に、要求に応じてそのような所有権または権限を示す文書を AWS に提供することに同意するものとします。本サービス、貴社のコンテンツ、または貴社のアカウントに関連するスペース資産にアクセスまたは使用する他の個人または法人との間で貴社が締結している、または今後締結する可能性のある契約については、AWS はその当事者ではありません。貴社は、そのような個人または法人との個別の関係について単独で責任を負います。

21.5. 貴社の AWS 契約当事者が AWS Serviços Brasil Ltda.である場合、AWS Ground Station は、Amazon Web Services, Inc. (または該当するものとして指定される他の法人)によって引き続き貴社に販売および提供されますが、AWS Serviços Brasil Ltda.は、本契約に基づく貴社の AWS 契約当事者であり続けます。

22. Amazon Elastic Transcoder

Amazon Elastic Transcoder により作成されたファイルの配信には、一定のサードパーティー音声およびビデオ形式の所有者またはライセンサーを含む、サードパーティーからのライセンス権を取得しなければならない場合があります。これらのライセンス取得および必要となるロイヤリティや料金の支払いには、貴社が単独でその責任を負います。

23. AWS OpsWorks

23.1. 貴社による AWS OpsWorks エージェントの利用には、[AWS OpsWorks クライアントライセンス契約](#)が適用されます。貴社による AWS OpsWorks for Chef Automate の利用には [Chef Software Inc.のエン](#)

[ドユーザーライセンス契約](#)が適用されます。貴社による AWS OpsWorks for Puppet Enterprise の利用には、Puppet, Inc.の [Puppet Enterprise ライセンス契約](#)が適用されます。

23.2. Chef Infra Client ソフトウェアを活用した AWS OpsWorks for Chef Automate および AWS-ApplyChefRecipes を貴社が利用する場合には、Progress Software Corporation の [Chef オンラインマスターライセンスおよびサービス契約](#) (以下「Progress エンドユーザーライセンス契約」という) が適用されます。ただし、第 1.9.2 条 (製品のドキュメンテーション準拠)、および第 1.10.1 条 (当社の補償義務) を除くものとし、製品、ドキュメンテーション、およびテクノロジー (すべて Progress エンドユーザーライセンス契約で定義されたとおり) は、欠陥をともなつた「現状有姿」で引き渡されるものとします。また、Progress Software Corporation は、明示または黙示を問わず、商品性、特定目的適合性、権原、非侵害、利用可能性、エラーのないまたは中断のない動作、および取引過程、履行過程または取引の利用から生じるあらゆる保証を含むあらゆる保証を否認します。適用法令の問題により Progress Software Corporation が黙示的保証を否認できない範囲においては、当該保証の範囲および期間は、適用法により許される最小限のものとなります。

24. AWS CloudHSM

貴社は、貴社による AWS CloudHSM の利用に関連し、SafeNet, Inc. またはそのライセンサーが開発し所有する一定のソフトウェア (関連ドキュメントを含む) (「SafeNet ソフトウェア」と総称) を利用できる場合があります。SafeNet ソフトウェアを使用する場合、貴社は [こちら](#) に記載される追加の契約条件に同意したことになります。

25. Amazon AppStream 2.0

25.1. NVIDIA ソフトウェア 貴社のアプリケーションが Amazon AppStream 2.0 インスタンス上で NVIDIA グラフィックス処理装置 (GPU) を使用する場合、貴社は NVIDIA クラウドエンドユーザーライセンス契約の条件に拘束されることに同意したことになります。

25.2. エンドユーザーがアプリケーションにアクセスできるようにするために貴社が Amazon AppStream 2.0 ユーザープール機能を使用する場合、貴社は、貴社が Amazon AppStream 2.0 を使用している AWS リージョンの外にある AWS リージョンに、当社がそれらのエンドユーザーのメールアドレスを保存し処理できることに同意したことになります。当社は、エンドユーザーが Amazon AppStream 2.0 へアクセスできるようにするため、E メール通知をエンドユーザーに送信するためにのみこれらのメールアドレスを使用します。

26. Amazon WorkSpaces

26.1. 貴社またはエンドユーザーが貴社の WorkSpace 上で実行する、またはインターフェイスする、またはアップロードするコンテンツは、貴社のコンテンツです。貴社は、貴社の WorkSpace 上の貴社のコンテンツのライセンスを保持し、ライセンス条件を守る責任があります。

26.2. Amazon WorkSpaces 上での Microsoft ソフトウェアの利用には上記の第 5.1 条が適用されます。Microsoft は、本第 26.2 条の規定を執行する権利を持つ本条項の第三者受益者であることが想定されています。

26.3. Amazon WorkSpaces はクラウドデスクトップサービスとして機能するよう設計されています。WorkSpaces は、サーバーインスタンスとして着信ネットワーク接続を受信するために使用することはできず、ウェブトラフィックまたは貴社のネットワークトラフィックを処理するために使用することもできず、貴社は貴社の着信ネットワーク接続を再構成することはできません。

26.4. 貴社とエンドユーザーは、貴社または貴社のエンドユーザーが所有または支配するコンピュータ装置上でのみ WorkSpaces クライアントソフトウェアを使用することができます。貴社による WorkSpaces クライアントソフトウェアの利用には、Amazon WorkSpaces アプリケーションライセンス契約が適用されます。

26.5. Amazon WorkSpaces 上で構成、健全性チェックおよび診断を実行するため、当社は、本サービスのオペレーションと管理に関係する性能およびログ情報を収集し使用することがあります。

26.6. 当社が貴社の WorkSpaces 上にインストールしたソフトウェアは、AWS がホストするライセンスアクティベーションサーバーに接続することができます。貴社は、ライセンスアクティベーション機能を阻止しようとしてはいけません。

26.7. Amazon WorkSpaces の定期的オペレーションの一部として、WorkSpaces のオペレーティングシステムのアップデートやソフトウェアのアップグレード、パッチやバグ修正が行われる場合があります。これらのアップデートの間では、Workspace で使用されているオペレーティングシステムイメージの一部である、または、ユーザープロフィールの一部である、ソフトウェア、ドキュメント、および設定(の Dドライブ)のみが保持されます。

26.8. Microsoft BYOL ライセンス このオプションでは、Amazon WorkSpaces は、貴社の Microsoft ソフトウェアおよび Microsoft ライセンスを使用する WorkSpaces のプロビジョニングを可能にします(「WorkSpaces BYOL プログラム」と呼ぶ)。貴社は、Microsoft と貴社の契約に基づき該当する Microsoft ソフトウェアについて WorkSpaces BYOL プログラムを使用する権利を得る必要があります。貴社は、必要なすべてのライセンスを取得し、製品を使用する権限および製品規約を含め、適用されるすべての Microsoft のライセンス要件を順守する責任を単独で負います。さらに、貴社は Microsoft のエンドユーザーライセンス契約(Microsoft EULA)に同意する必要があり、また、WorkSpaces BYOL プログラムに基づき Microsoft ソフトウェアを使用することにより、貴社は Microsoft EULA に同意したことになります。貴社は、貴社による WorkSpaces BYOL プログラムの利用において適用される Microsoft ライセンス要件の順守を決定することに同意します。Microsoft と貴社との契約に違反した状態における本サービスの利用は認められず、許可させません。

27. Amazon Cognito

27.1. 当社は、いつでも、事前の通知なく、サードパーティーアイデンティティプロバイダのサポートを変更、終了、または廃止する場合があります。

27.2. 特定の Cognito ユーザープールに 12 か月間アクティブユーザーがいない場合、当社は貴社に 30 日前の通知を行った上で Cognito ユーザープールを削除することができます。

28. Amazon WorkDocs

28.1. 日本の Amazon WorkDocs は、AWS ではなく AWS の関連会社である AMCS LLC が販売し提供していますが、これには本契約の契約条件が適用されます。

28.2. Amazon WorkDocs アドミニストレータダッシュボードにそのエンドユーザーが「非アクティブ」とマークされ、かつ、貴社に対しこのエンドユーザーの利用に関し 30 日間以上請求が行われていない場合、当社は、Amazon WorkDocs にアップロードされた貴社のエンドユーザーコンテンツを削除する場合があります。Amazon WorkDocs アドミニストレータダッシュボード内に「アクティブ」とマークされた貴社のエンドユーザーが 30 日間以上存在しない場合においても当社は、貴社の Amazon WorkDocs サイトと貴社のコンテンツを削除する場合があります。

28.3. 貴社の AWS アカウントに関連付けられたエンドユーザーアカウントが本サービスの利用を数か月以上登録していない場合は、当社は、30 日間の通知を行った上で非アクティブなエンドユーザーのアカウントを削除する場合があります。

28.4. 貴社による Amazon WorkDocs Sync ソフトウェアの利用には、Amazon WorkDocs Sync ライセンス契約が適用されます。

28.5. 貴社による Amazon WorkDocs アプリケーションの利用には、Amazon WorkDocs アプリケーションライセンス契約が適用されます。

28.6. Open with Office 365 は、Microsoft が提供するサードパーティーコンテンツです。Open with Office 365 を使用することにより貴社には、Microsoft の利用規約およびプライバシーポリシーが適用されます。貴社は、Open with Office 365 を使用するために必要なすべてのライセンスを Microsoft から取得し、適用されるすべての Microsoft のライセンス要件を順守する責任を単独で負います。

28.7. Hancom ドキュメント編集サービスはサードパーティーコンテンツです。貴社による Amazon WorkDocs を通じた Hancom ドキュメント編集サービスの利用には、Hancom サービス規約が適用されます。Hancom ドキュメント編集サービスに適用される Hancom サービス規約に同意しない場合は、Hancom ドキュメント編集サービスを有効化し、利用することはできません。Hancom ドキュメント編集サービスを有効化し、利用する場合は、Hancom は、編集されるドキュメントのコンテンツおよびエンドユーザーのユーザー名とプロフィール写真にアクセスします。Hancom は、Hancom ドキュメント編集サービスを提供する目的のためにのみ、また、編集セッションの期間中のみ、AWS によって上記の情報へのアクセスを承認されます。

28.8. AWS は、すべての[名前].workdocs.aws ドメイン名（「ドメイン名」と呼ぶ）の DNS レコードの登録者であり、その DNS レコードを管理します。顧客は、かかるドメインにおいていかなる権限も取得しません。顧客の AWS アカウントの終了または停止によって、顧客は、以前に割り当てられていたドメイン名の使用を終了または停止される場合があります。ドメイン名を使用するためには、顧客は、Amazon WorkDocs サイトネーミングポリシーに記載されるすべてのガイドラインを順守する必要があります。

29. Amazon Pinpoint

29.1. 日本における Amazon Pinpoint の一部は、AWS ではなく AWS の関連会社である AMCS LLC（「AMCS」）が販売し提供していますが、これには本契約の契約条件が適用されます。

29.2. シンガポールにおける Amazon Pinpoint の一部は、AWS ではなく AWS の関連会社である AMCS SG PRIVATE LIMITED（「AMCS SG」）が販売し提供していますが、これには本契約の契約条件が適用されます。

29.3. Amazon Pinpoint は Amazon Simple Notification Service (Amazon SNS) および Amazon Simple Email Service (SES) の基本機能を利用し、貴社による Amazon Pinpoint の利用にはこれらのサービスに適用される条件が適用されます。

29.4. 貴社は、Amazon Pinpoint について次のことを予め承諾するものとします。

- a. 統合型公衆警報システム (IPAWS) の対象となるシステムではありません。

b. 危険な環境やクリティカルシステムの運営において、またはそれと関連して、使用するものではありません。貴社は、かかる使用に伴い生じる場合がある賠償責任に、単独で責任を負いません。

c. 110 番や 119 番への電話やテキストメッセージなどの緊急サービス先または緊急応答機関への緊急通報サービスや緊急メッセージサービス(「緊急通報サービス」と呼ぶ)に対応しておらず、緊急通報サービスに連絡する際に必要となる可能性がある貴社のデバイスやエンドユーザーの位置情報を把握できない場合があります。貴社は、(i) Amazon Pinpoint に関わりなく緊急通報サービスに連絡し、アクセスすること、および(ii) すべてのエンドユーザーにこれらの制限について通知することは貴社の責任であることを理解し、これに同意します。

d. 緊急通報サービスへの電話、テキストメッセージ、連絡を含むがこれに限定されない、従来の電話サービスや携帯電話サービスに代わるものではありません。

30. AWS Lambda

当社は、AWS Lambda が 3 か月間以上実行されない場合、30 日間の通知を行った上で AWS Lambda へアップロードされた貴社のコンテンツを削除する場合があります。貴社は Lambda 上で貴社のコードを実行するために必要な場合にのみ(テクニカルドキュメント単位で)、Lambda のストレージリソースを使用して(コンパイル済または未コンパイルの)関数コード、依存性(レイヤーなど)、ならびに関連する設定およびメタデータを保管することができます。その他の使用(一般にダウンロードまたは保管の可能なコンテンツをホスティングするために Lambda のストレージを使用するなど)は許可されておらず、貴社のコンテンツの削除につながる場合があります。

31. Amazon WorkMail

31.1. 貴社が Amazon WorkMail を使用する場合、貴社はまた、AWS Key Management Service、AWS IAM、および Amazon SES も使用し、貴社による Amazon WorkMail の利用には、本サービスに適用される規約が適用されます。

31.2. Amazon WorkMail は、スパムメール、フィッシングメールおよびウイルスに感染したメールなどの迷惑メールをフィルターするために設計されたフィルタリングサービスを提供します。貴社はフィルタリングサービスの技術的限界により、正当な E メールを回収してしまったり、ウイルスに感染したメールを含む迷惑メールを回収できない場合があることを認めます。

31.3. 宛先の E メールサーバーにより、また、当社の管理の外となる理由により、貴社のメールアドレスおよびエンドユーザーアカウントは、ブロックされる、遅れる、または配信が阻害される場合があります。貴社の Eメールの配信が阻害、遅延、またはブロックされているかにかかわらず、貴社の支払義務は継続します。

31.4. 貴社は以下の送信に Amazon WorkMail を使用しないことに同意します。

- マスマーケティング Eメールなどの大量の電子メール広告
- 迷惑メール
- フィッシングメール

31.5. 貴社は、貴社または貴社のエンドユーザーが Amazon WorkMail を使用して送信する Eメールにおける、スパム対策法およびその他すべての適用法の確実な順守に単独で責任を負います。AWS は、スパ

ム対策法およびその他の適用法の定義により、Amazon WorkMail を使用して貴社または貴社のエンドユーザーが送る E メール「送信者」ではないことに貴社は同意します。

31.6. Amazon WorkMail は、トラブルシューティングまたは Amazon WorkMail 改善のため、サーバーのホスト名、IP アドレス、タイムスタンプ、メールキューファイル識別子、およびスパムフィルタリング情報などの情報をログに記録し使用することができます。

31.7. 貴社による Amazon WorkMail の利用が終了した場合、当社は、貴社のデータおよび貴社のエンドユーザー受信箱を削除することができます。

31.8. 日本の Amazon WorkMail の一部は、AWS ではなく AWS の関連会社である AMCS LLC が販売し提供していますが、これには本契約の契約条件が適用されます。

32. Amazon WorkSpaces Application Manager (Amazon WAM)

32.1. 貴社は、Amazon WAM を使用する際、Amazon WorkSpaces もまた利用し、貴社による利用には Amazon WorkSpaces の条件が適用されます。

32.2. 貴社は、Amazon WAM Admin Studio をアプリケーションのパッケージ化のためにのみ、Amazon WAM Admin Player をアプリケーションの検証のためにのみ使用することができます。これらは Amazon WAM 経由で WorkSpaces へ提供されます。

32.3. 当社は、Amazon WAM の通常の実行の一部で、貴社の Amazon WAM デスクトップアプリケーションを、ソフトウェアアップグレード、パッチ、バグフィックスなどで更新する場合があります。

33. デスクトップアプリ用 AWS Marketplace

33.1. デスクトップアプリ用 AWS Marketplace 経由で利用可能となるコンテンツにより、別途明示的に記載される別のライセンスに基づき貴社に提供される範囲を除き、貴社もエンドユーザーも、以下を行ったり、試みてはいけません。(a) コンテンツを変更、修正、改ざん、修理すること、または、それ以外の形でコンテンツの二次著作物を作成すること。(b) コンテンツのリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルを行うこと、またはコンテンツに含まれるソフトウェアのソースコードを引き出すためのその他のプロセスまたはプロシージャを適用すること。(c) コンテンツを再販売またはサブライセンスを許諾すること。(d) 個別の承認を得ることなくコンテンツを本サービスの外部へ転送すること。および (e) 制御手段を改ざんまたは回避すること、またはコンテンツの不正コピーを作成すること。

33.2. AWS は、貴社に事前の通知なしに、デスクトップアプリ用 AWS Marketplace (またはデスクトップアプリ用 AWS Marketplace 内の機能またはリスティング) の提供を停止する場合があります。また、そのコンテンツが本ポリシーまたはその他の規制、ポリシー、または法律に違反していると AWS が判断した場合、AWS は、貴社がデスクトップアプリ用 AWS Marketplace 上で購入したコンテンツを無効化または削除する場合があります。

33.3. 該当する AWS 契約当事者が AWS インドである場合、当事者らは、以下の場合に本第 33.3 条が適用されることに同意するものとします。

33.3.1. 貴社は、GST 登録番号を購入に適用できるように当社に提供した場合、貴社が登録とともに提供した情報(貴社の GST 登録番号、貴社の GST 登録に関連する名前および住所を含む)は、第三者が GST 請求書の規制および要件を遵守するために必要な範囲で、貴社が AWS Marketplace for Desktop Apps でソフトウェアを購入した第三者と共有します。

33.3.2. 貴社は、GST 請求書発行のために必要な、すべての適用される税金、政府納付金および手数料（違約金および手数料を含む）を特定し、支払う責任を負います。貴社は、AWS Marketplace for Desktop Apps で行う購入に関して貴社に課されるすべての適用税、政府手数料、料金（罰則、利息、その他の加算を含む）を特定し、支払う責任を負います。貴社が支払うべき購入料金および手数料は、適用されるすべての税金を除くものとし、法令により要求される控除または源泉徴収を行わずに行われるものとし、明確には、支払いにおいて控除または源泉徴収（国境を越えた源泉徴収を含みますがこれに限定されません）が要求される場合、AWS またはその関連会社が受け取る純額が、AWS Marketplace での購入に対して貴社が支払うべき金額と等しくなるように、必要に応じて追加金額を支払うものとし、AWS またはその関連会社は、AWS Marketplace での購入に対する支払いに関して、源泉徴収または税額控除の金額を削減または排除するために、合理的に要求される税務フォームを提供します。AWS またはその関連会社は、AWS またはその関連会社が貴社から徴収する法的義務または権限を有するすべての適用税額を請求し、貴社はこれを支払うものとし、AWS またはその関連会社は、AWS またはその関連会社が免税を主張することができる、正しく記入された免税証明書または直接支払許可証明書を提出する税金については、徴収せず、貴社は支払わないものとし、

34. AWS Directory Service

AWS Directory Service 上での Microsoft ソフトウェアの利用には、上記の第 5.1 条が適用されます。Microsoft は、本第 34 条の規定を執行する権利を持つ本条項の第三者受益者となることが想定されています。

35. AWS Device Farm

35.1. 貴社は、Apple デバイス上のテストラン（それぞれ「Apple テスト」と呼ぶ）に関し、かかる Apple テスト実行時において、Apple との iOS 開発者プログラムライセンス契約に基づき登録されたアクティブかつ有効な Apple 開発者アカウントを有していることを表明し保証します。貴社は、すべての Apple テストの期間について、当社を貴社の認定開発者（Apple 開発者プログラムライセンス契約の定義による）として任命し、各 Apple テストに関連し当社が取るすべての活動に関し、貴社が Apple に対し責任を負うことを了解します。

35.2. 貴社は以下を行わず、試みないことに同意します。

(i) テストに関連し、AWS Device Farm 内部その他で、ネットワーク検出を実行すること。

(ii) 当社の承認を得ずに、AWS Device Farm の EC2 インスタンス内からインターネットトラフィックを生成すること。インターネットトラフィックは装置のみに制限されること。

(iii) Device Farm デバイスの初期化、ロック解除、脱獄。

(iv) デバイスまたは EC2 インスタンス上に常駐ソフトウェアをインストールすること。

(v) エ場リセットまたはデバイス上の設定変更、または本サービスに干渉する形のサードパーティーサーバーへのコールまたはアクセス。

35.3. 貴社は、当社が自動セキュリティ検証を実行するためにのみ、アプリケーションパッケージ、テストパッケージ（コンパイル前）、テストスクリプトソースコード、アプリケーション拡張ファイル、参照データファイルを第三者に開示する可能性があることを認め同意します。

36. Amazon OpenSearch Service

Amazon OpenSearch Service は、貴社の Amazon OpenSearch Service ドメインの毎日の自動スナップショットを作成します。当社は、作成後、最低 14 日間の期間、これらの自動スナップショットを保管します。当社は、14 日経過後、いつでも、自動スナップショットを削除することができます。

37. AWS Database Migration Service

37.1. DMS Fleet Advisor および AWS Schema Conversion Tool を含む AWS Database Migration Service (DMS) は、[知的財産ライセンスに基づく](#) AWS のコンテンツであり、貴社およびすべてのエンドユーザーはかかるサービスをデータの移行または移動のためにのみインストールし使用することができます。ただし、(i) ソースデータストアの 1 つ以上およびターゲットデータストアが AWS 内に存在し、かつ、(ii) ソースおよびターゲットデータストアが両方ともサポートされている [ソース](#) および [ターゲット](#) として DMS ドキュメンテーションにリストされていることが条件となります。

37.2. DMS Fleet Advisor および AWS Schema Conversion Tool を含む AWS Database Migration Service (DMS) は、性能測定指標および使用パターンを収集します。これには、使用したデータベースエンジンの種類および関連設定、処理行数、スキーマ、クエリ、互換性、性能、タスク期間および状態に関する情報が含まれ、これらはデータベースライセンスおよび機能情報と組み合わせて、サービスの品質およびデータベースエンジンおよびインスタンスの移行先に関する推奨事項を提供、維持、および改善するために使用されます。DMS Fleet Advisor は、発見するため貴社が指定したネットワーク上のリソースに関する情報を収集します。

38. AWS Amplify

貴社は、AWS Amplify に関連して貴社が使用するドメイン名を使用するために必要なすべての権利を有していなくてはなりません。

39. AWS IoT Services

39.1. 「AWS IoT Services」とは、AWS IoT Core、AWS IoT Device Management、AWS IoT Device Defender、AWS IoT 1-Click、AWS IoT Events、AWS IoT Analytics、AWS IoT SiteWise、AWS IoT FleetWise、AWS IoT TwinMaker、FreeRTOS、AWS IoT ExpressLink、AWS IoT Greengrass、AWS IoT RoboRunner を意味します。

39.2. AWS IoT Services は、重大な人身傷害や死亡につながる可能性、または環境あるいは物的損害を引き起こす可能性のある危険な環境やクリティカルシステムの運営において、またはそれに関連して使用することを意図していません。貴社は、かかる使用に関連して生じる賠償責任について単独で責任を負いません。

39.3. 個別デバイス用デバイスのデバイスシャドウデータは、任意の 12 か月間に、貴社が個別デバイスのデバイスシャドウデータを更新しなかった場合に削除される場合があります。個別デバイス用デバイスレジストリデータは、任意の 7 年間に、貴社が個別デバイスのデバイスレジストリデータを更新しなかった場合に削除される場合があります。個別デバイス用デバイスシャドウデータまたはレジストリデータが更新されると、個別デバイスリセットのためのデータベース制限タイムフレームがリセットされ、個別デバイス用デバイスシャドウおよびデバイスレジストリのデータストレージタイムフレームは最初に戻ります。

39.4. 貴社は、貴社の AWS アカウントに接続された、またはそれによって有効化された IoT デバイスの作成、ディストリビューション、セキュリティ(アクセスの有効化を含む)に責任を負います。

39.5. AWS IoT FleetWise は、顧客による車両からのデータの収集、および分析や処理のためのデータの本サービスへの転送をサポートするよう設計されています。貴社による AWS IoT FleetWise の利用を通して収集された車両データは、情報目的(貴社によるクラウドベースの人工知能や機械学習モデルのトレーニングのサポートを含む)での使用のみを意図しており、貴社は車両を制御または操作するために AWS IoT FleetWise を使用することはできません。貴社は、AWS IoT FleetWise の意図した目的以外の使用、および適用される車両規制に反する方法での使用に関連して発生する可能性のあるあらゆる責任を単独で負うものとしします。

39.6. 貴社による AWS IoT FleetWise の利用を通して収集された車両データについては、必要に応じて、貴社のユースケースに対する正確さを評価する必要があります。これには、適用される車両安全規制(安全性モニタリングや報告義務など)に基づく法令順守義務を満たす目的が含まれます。このような評価には、他の業界基準である手段や情報源(車両の運転者からの報告など)による情報の収集と審査を含めるべきです。貴社およびそのエンドユーザーは、貴社による AWS IoT FleetWise の利用に基づくあらゆる決定、助言、行為および不作為について単独で責任を負うものとしします。

39.7. Edge Agent Reference Implementation は、AWS IoT FleetWise 向け Edge Agent の開発を支援することを目的としており、Edge Agent が貴社の要件を満たすように参照または変更する可能性のあるサンプルコードが含まれています。貴社はご自身の Edge Agent について単独で責任を負うものとしします。これには、いかなる車両においても貴社の Edge Agent およびそれに対するアップデートや修正が車両内で安全かつセキュアに実施・維持されるよう確保することが含まれます。

39.8. AWS IoT TwinMaker は、顧客がマシン、工場設備、ビルなどの物理的システムのデジタルツインを構築することをサポートするよう設計されています。貴社による AWS IoT TwinMaker の利用を通して収集されるデータについては、貴社のユースケースに対する正確さを評価する必要があります。AWS IoT TwinMaker を、物理的システムが安全に作動しているかどうかを評価する目的で、かかるシステムの人間によるモニタリングの代替策として使用するべきではありません。貴社およびそのエンドユーザーは、AWS IoT TwinMaker に基づくあらゆる決定、助言、行為、不作為について単独で責任を負うものとしします。

39.9. AWS IoT ExpressLink は、AWS Partner Network (APN) のパートナーが開発、製造し、AWS 顧客に提供するハードウェアモジュールに組み込むことのできる、AWS クラウド接続性ソフトウェアおよび仕様です。AWS IoT ExpressLink を含むハードウェアモジュール(評価キットを含む)を APN パートナーから購入する場合、貴社は、AWS が貴社によるモジュールの購入と利用の準拠先となる貴社と APN パートナーの間の契約に対する当事者ではないことに同意し、AWS はモジュールに対して責任または賠償責任を負わず、AWS はモジュールに関していかなる表明や保証も行いません。

39.10. FreeRTOS 拡張メンテナンスプラン(「FreeRTOS EMP」)は、サブスクリプション契約を結んでいるお客様に、選択した FreeRTOS 長期サポート(LTS)バージョンに関するセキュリティパッチと重大なバグ修正を、そのバージョンの初期 LTS 期間の終了後に提供します。FreeRTOS EMP は、本契約の目的では「サービス」と呼ばれます。FreeRTOS EMP に関連して受領、入手またはアクセスする、一般に公開されている FreeRTOS ライブラリに組み込まれていないコード、バグ修正、またはパッチ(「EMP パッチ」と総称)は、知的財産ライセンスに基づいて提供される AWS コンテンツです。ただし、AWS は、(a)EMP パッチを修正して二次的著作物を作成し、(b)EMP パッチをオブジェクトコード形式でのみ配布するために、限定的で非独占的、サブライセンス不可、譲渡不可の永久ライセンスも付与します。

39.11. AWS IoT RoboRunner は、様々なロボット管理システムのデータを格納および使用するための中央データリポジトリを提供するものであり、顧客はロボットの共同作業を支援するアプリケーションを構築するために使用することができます。貴社は、AWS IoT RoboRunner で使用するロボットシステムが適切に設定され、安全に動作することを保証することを含め、その動作に単独で責任を負うものとしします。

39.12. 貴社が AWS IoT Core Device Location 機能で地理位置情報プロバイダとして Semtech を利用する場合、貴社は、AWS が、貴社の地理位置要求パラメータ(例えば、ロケーションソルバー実行に用いる位置情報)や当該機能による生成結果の出力データ(例えば地理座標)を、トラブルシューティングおよび診断目的、ならびにその他の技術的サポートのために Semtech に転送する権限を与えるものとします。Semtech は、貴社が機能を使用する AWS リージョンの外に位置する場合があります。貴社が AWS IoT Device Core Location 機能で地理位置情報プロバイダとして HERE を利用する場合、第 82.1 条から第 82.4 条、第 82.6 条から第 82.7 条、および第 82.9 条が適用されるものとします。AWS は、貴社への通知により、いつでも機能内の地理位置情報プロバイダを廃止または中止することができます。

40. Amazon QuickSight

40.1. 貴社は、貴社のアカウントの下で、エンドユーザーが Amazon QuickSight を利用できるようにすることができます。貴社のアカウントの下でエンドユーザーを有効化することを選択した場合、当社が貴社による Amazon QuickSight の利用を終了した場合、エンドユーザーによる Amazon QuickSight の利用も終了することをエンドユーザーに通知することは、貴社の責任となります。貴社はまた、貴社が「Amazon QuickSight 管理者」として機能し、以下のアクションを実行できることをエンドユーザーに通知する責任があります。(a) エンドユーザーの Amazon QuickSight アカウントを有効化、無効化すること。(b) エンドユーザーによる Amazon QuickSight のデータセットおよび一定の機能へのアクセスを制御すること。(c) エンドユーザーによる Amazon QuickSight の利用に関する情報にアクセスすること。

40.2. Amazon QuickSight は、貴社が Amazon QuickSight のデータソースとして選択した貴社のコンテンツを、貴社のクエリ履歴に基づく視覚化の提案や考察の提案などの、貴社への個別のおすすめを作成するために使用する場合があります。

40.3. **Amazon QuickSight 機械学習サービス** 「Amazon QuickSight ML サービス」とは、Amazon QuickSight Q をいいます。「Amazon QuickSight ML コンテンツ」とは、Amazon QuickSight ML サービスにより処理される貴社のコンテンツをいいます。貴社による Amazon QuickSight ML サービスの利用には、以下の条件が適用されます。

(a) 貴社は、以下の事項に同意し、その旨指示を行うものとします。(i) 当社が、Amazon QuickSight ML サービスの維持および提供を行うために(Amazon QuickSight ML サービスとその基礎技術の開発および改良を含みます)、Amazon QuickSight ML コンテンツを使用および保存できること。(ii) AWS およびこれに付随する機械学習および人工知能技術の開発および改良を行うために、個人データに該当しない Amazon QuickSight ML コンテンツを使用および保存できること。(iii) (i)項および(ii)項に記載の開発および改良にのみ関連して、当社が、貴社の Amazon QuickSight ML コンテンツを、Amazon QuickSight ML サービスを貴社が利用している AWS リージョン以外の AWS リージョンに保存できること。貴社は、AWS Organizations を使用して AI サービスのオプトアウトポリシーを設定することにより、AWS に指示して、当該サービスまたは AWS もしくはその関連会社の技術の開発および改善のために Amazon QuickSight により処理された Amazon QuickSight ML コンテンツを使用および保存しないようにできます。

(b) 貴社は自己の責任において、Amazon QuickSight ML サービスを使用する貴社の製品またはサービスのエンドユーザーに対して法的に適切なプライバシー通知を提供すると共に、本条に記載された Amazon QuickSight ML コンテンツの処理、ならびに Amazon QuickSight ML コンテンツの保存、使用、および転送について、当該エンドユーザーから必要な同意を得るものとします。貴社は、必要なすべてのプライバシー通知を行い、必要なすべての同意を得たことを当社に表明します。Amazon

QuickSight ML サービスにより保存された Amazon QuickSight ML コンテンツが、適用される法律に基づき削除されなければならない場合、貴社は、当社に通知する責任を負います。

(c) 貴社は、類似または競合する製品またはサービスを開発または改善するために、直接的または間接的を問わず Amazon QuickSight ML サービスを利用しないものとし、また第三者にこれを許可しないものとします。

41. AWS Certificate Manager

41.1. 貴社は、AWS Certificate Manager(「ACM」と呼ぶ)を使用することにより、当社、Amazon Trust Services, LLC(「ATS」と呼ぶ)または当社の関連会社(「Amazon CA」と総称)に対し、貴社が当社に提出したドメインネームについて、その一部は第三者である場合のある米国に所在する認定当局へ、一般的に信頼されている SSL/TLS 証明書(それぞれ「証明書」と呼ぶ)を申請し取得することを承認します。貴社は、証明書の要請を提出することにより、以下を証します。(1) 貴社はドメインネーム登録者であること(その時点で現行の、一般的に信頼されている証明書の発行と管理に関する CA/ブラウザフォーラムベースライン要件証明書ポリシーの定義による)(「CA/B フォーラム要件」はこちら)、(2) 貴社は完全修飾ドメインネーム(CA/B フォーラム要件の定義による)を管理していること、または(3) 貴社はドメインネーム登録者により Amazon CA が各証明書を申請し取得することを承認することについての権限を付与されていること。貴社は、証明書を取得する目的のためにのみ、それ以外の目的はなく、Amazon CA へ完全修飾ドメインネームについての管理権を与え、かつ、Amazon CA がドメインネームの証明書を要請することを承認することを認めます。当社は何らかの理由により貴社に証明書を提供することを拒否する場合があります。

41.2. 貴社は以下に同意します。

(i) 証明書の利用に関し、貴社が提供する情報は、現在も将来も常に正確かつ完全なものです(また、貴社の情報が変更となった場合、貴社は当社に速やかに通知します)。

(ii) 貴社は証明書を検討しその正確さを確認します。

(iii) 貴社は、当社が貴社に提供した証明書を、証明書に記載されている subjectAltName(s)にアクセス可能なサーバー上でのみ利用します。貴社はまた、すべての適用法を順守した場合のみ証明書を利用します。

(iv) 貴社は、証明書の情報が不正確な場合には、貴社は速やかに証明書の利用をやめ、速やかに当社に通知します。

(v) 証明書に関連付けられた秘密鍵がキーの侵害(CA/B フォーラム要件の定義による)の対象となった場合、またはそれ以外の形で証明書が不正使用の対象となった場合、貴社は速やかに証明書の使用をやめ、速やかに当社に通知します。

(vi) 貴社は、速やかにキーの侵害または証明書の不正使用に関して Amazon CA の指示に従います。

(vii) 貴社は、証明書または秘密鍵について、変更せず、サブライセンス許諾をせず、その二次的著作物を作成しません(証明書をその意図された目的のために使用する必要がある場合を除く)。

(viii) 貴社は、証明書の利用に関連し、他のコンピュータのオペレーションを損なうようなファイルやソフトウェアをアップロードしたり配信したりしません。

(ix) 貴社は、ATS の CPS に許可される場合を除き、証明書について表明を行わず、利用しません。

(x) 貴社は、証明書の利用に関し、貴社の何らかの組織への所属について、虚偽を述べたり、虚実表記を行いません。

(xi) 貴社は、Amazon CA 以外の組織に、証明書の公開鍵に照合する秘密鍵を管理することを許可しません(ここで言う「秘密鍵」および「公開鍵」は、CA/B フォーラム要件の定義による)。

(xii) 貴社は、第三者の秘密を漏洩する目的で、または迷惑な大量メールの送受信の目的で証明書を使用しません。

(xiii) 貴社は、Amazon CA(または当社の該当する第三者契約者)が証明書をいつでも破棄する可能性があることを認め、貴社はまた、かかる破棄について当社が通知を行った場合ただちに証明書の使用をやめることに同意します。

42. AWS Verified Access (プレビュー)

42.1. 当社は、事前の通知なく信頼提供者である第三者を変更、中止、または廃止する場合があります。

43. Amazon GameLift

43.1. 貴社は、ビデオゲームサーバーのホスティングのためにのみ、Amazon GameLift にアクセスし利用することができます。ただし、この制限は他の Amazon GameLift 機能から独立した FlexMatch 機能の貴社による使用には適用されません。

43.2. 当社または当社の関連会社は、Amazon GameLift が 3 か月間以上実行されない場合、30 日前までに通知を行った上で Amazon GameLift へアップロードされた貴社のコンテンツを削除することができます。

43.3. 貴社による Amazon GameLift ローカルの利用には、Amazon GameLift ローカルライセンス契約が適用されます。

43.4. 貴社は、Amazon GameLift スポットインスタンスプログラムにより、サイト上の Amazon GameLift 製品詳細ページ上に規定された Amazon GameLift スポットインスタンス料金および支払条件に従って、一定の Amazon GameLift インスタンスの実行を要請することができます(要請された各インスタンスを「GL スポットインスタンス」と呼ぶ)。当社はいつでも Amazon GameLift スポットインスタンスプログラムを終了することができます。当社は、AWS キャパシティ要件のために、貴社に通知を行うことなく、いつでも、GL スポットインスタンスを終了、停止、または休止することができます。貴社は、貴社のゲームが耐故障性があり、中断を正しく処理できるよう設定する必要があります。GL スポットインスタンスは、上記の第 5.3 条に記載されるものを含め、当社が指定する一定のサービス、機能、サードパーティーソフトウェアには使用することはできません。

44. AWS Application Discovery Service

貴社が AWS Application Discovery Service を使用する場合、AWS Application Discovery Service がスキャンした貴社のオンプレミスコンピューティングリソース内のデータは、貴社のコンテンツであるとみなされます。

45. AWS プロフェッショナルサービス

45.1. 「AWS プロフェッショナルサービス」は、貴社によるその他のサービスの利用を支援するため、作業記述書(「SOW」と呼ぶ)に基づき AWS が提供する顧問およびコンサルティングサービスです。AWS プロフェッショナルサービスは、本契約における「本サービス」の 1 つです。

45.2. AWS またはその関連会社は、AWS プロフェッショナルサービスを提供するため、貴社と SOW または本契約の補遺を締結することができます。各 SOW または補遺において、その SOW、補遺、および本契約内の「AWS」とは、SOW または補遺を締結する AWS エンティティであり、その他の AWS エンティティはその SOW または補遺に基づき何の義務も負いません。両当事者は、各 SOW または補遺を(本契約とあわせて)当事者間におけるすべての従前の合意および了解事項(口頭または書面を問わず)に優先する、SOW または補遺の主題事項に関する両当事者間における最終的で完全かつ排他的な合意条件とすることを意図します。

45.3. AWS は、AWS プロフェッショナルサービスに関し、毎月請求書を発行します。AWS プロフェッショナルサービスに関する支払いは返金されません。

45.4. AWS は法的またはコンプライアンス上の助言を提供しません。貴社は、本サービスの利用が、適用される法律上および規制上の要件を満たしているか否かについて、自身で査定を行う責任があります。

45.5. サードパーティーコンテンツを除き、AWS プロフェッショナルサービスの一部で AWS が提供するコンテンツは AWS コンテンツです。貴社は、AWS が提供し推奨するコンテンツのテスト、導入、管理、サポートについて単独で責任を負います。

45.6. AWS は、AWS プロフェッショナルサービスの一部として、貴社に(a)ドキュメントおよびダイアグラム(「ドキュメント」と呼ぶ)または(b)ソフトウェア(ソースコードまたはオブジェクトコード形式)、サンプルコード、またはスクリプト(「ソフトウェア」と呼ぶ)のどちらかで構成されるコンテンツを開発します(かかるドキュメントおよびソフトウェアを「開発されたコンテンツ」と総称)。AWS は、貴社と AWS の間で発効している非開示契約を条件に、開発されたコンテンツに類似するまたは関係する製品またはサービスの開発、利用、販売を妨げられません。AWS プロフェッショナルサービスの一部として、SOW に基づき、AWS が貴社に提供する開発コンテンツは、以下の条件に基づきライセンスを与えます。

- AWS による貴社へのドキュメントのライセンス供与は、Creative Commons 属性 4.0 国際ライセンス(CC-BY 4.0)に基づき行われます。
- AWS による貴社へのソフトウェアのライセンス供与は、Apache ライセンスバージョン 2.0 に基づき行われます。

45.7. 一部の開発コンテンツは、別のライセンスに基づき提供される AWS コンテンツまたはサードパーティーコンテンツを含みます。上記第 45.6 条と別のライセンスの間に矛盾がある場合は、かかる AWS コンテンツまたはサードパーティーコンテンツに関しては、別のライセンスが優先します。

45.8. 貴社が所有する、または第三者から許可を受けて AWS へ提供する資料や情報は、AWS プロフェッショナルサービスにおいては貴社のコンテンツとなります。貴社が AWS へ貴社のコンテンツへのアクセスを提供することを選択する場合、貴社はそうするための適切な権限と許可を有していることを確実にします。

45.9. 本第 45 条、および貴社と AWS 間の AWS 実装サービス補遺の間に矛盾がある場合は、AWS 実装サービス補遺の条件が優先します。かかる補遺の中の「実装サービス」には AWS プロフェッショナルサービスも含まれます。

45.10. AWS とその関連会社は、SOW に関連して AWS またはその関連会社に提供された貴社の従業員（「従業員」）に関する個人データを、AWS プライバシー通知 (<https://aws.amazon.com/privacy/> から入手可能) に記載される取り扱いプラクティスに従って処理します。貴社は AWS またはその関連会社にその個人データを提出する従業員に対し AWS プライバシー通知を入手可能にすることとします。

46. Amazon Redshift

貴社は、予約ノードプログラムにより、AWS サイト上の Amazon Redshift 料金ページに規定される予約料金と支払条件に従って、Amazon Redshift ノードを指定することができます（指定された各ノードを「予約ノード」と呼ぶ）。当社は、いつでも、予約ノードプログラムを終了する場合があります。当社は、いつでも、予約ノードプログラムの料金を変更する場合がありますが、以前に指定した予約ノードには、料金変更は適用されません。予約ノードはキャンセル不可であり、本契約が終了した場合もなお、貴社は選択した期間について予約ノードの料金を請求されます。予約ノードは譲渡不可であり、予約ノードに関連して支払われたすべての金額は返金不可です。ただし、当社が正当な理由なしに本契約を修了した場合、または個別の予約ノードタイプを終了した場合、または予約ノードプログラムを終了した場合、当社は、以前に指定された予約ノードに関連する前払金を比例配分して貴社に返金します。予約ノードの期間が満了または終了した場合、予約ノード料金は有効期限切れとなり、その Amazon Redshift ノードには標準のオンデマンド利用料金が適用されます。

47. AWS サーバー移行サービス

47.1. 貴社が AWS サーバー移行サービスを利用する際、AWS サーバー移行サービスがスキャンした貴社のオンプレミスコンピューティングリソース内のデータは、貴社のコンテンツとみなされます。

47.2. 当社は、90 日間以上移行キューに置かれたままのイメージについて、移行を終了する場合があります。

48. AWS Organizations

48.1. 貴社は、AWS Organizations を使用して、1 つの AWS アカウント（「マスターアカウント」と呼ぶ）に、1 つ以上の他の AWS アカウント（それぞれ「メンバーアカウント」と呼ぶ）を参加させることにより、「Organization」を作成することができます。AWS より承認された場合を除き、貴社、貴社の関連会社、貴社の従業員、または現在貴社のための作業を行っている業務委託先が使用する AWS アカウントのみを Organization に参加させることができます。Organization を作成しメンバーアカウントを参加させることにより、貴社は (a) メンバーアカウントの請求、アカウントアクティビティ、アカウント情報をマスターアカウントに開示し、また (b) マスターアカウントがメンバーアカウントに代わって EC2 リザーブドインスタンスを購入することができることに同意します。

48.2. 貴社が一括請求（コンソリデティッドビルディング）を有効化すると、マスターアカウントとメンバーアカウントは、Organization に参加したメンバーアカウントで発生したすべての料金の支払いに連帯して責任を負いますが、かかるすべての料金は、マスターアカウント契約に基づき、マスターアカウントへ請求されます。マスターアカウントが未払いのため停止された場合、Organization のすべてのメンバーアカウントが停止されます。

48.3. 当社は、14 日以上前の通知を貴社に行った上で、Organization のマスターアカウントにより要請された場合に貴社の Organization の全機能を有効にすることができます。貴社の Organization において全機能が有効となっている場合、(i) 第 48.2 条に記載される一括請求条件が貴社の Organization に適用されます。(ii) マスターアカウントはメンバーアカウントにフルアクセスできコントロールできます。また (iii) マスターアカウントはメンバーアカウントのアクションについて連帯して責任を負います。

48.4. マスターアカウントが AWS Organizations または CreateLinkedAccount API を使用してアカウント（「作成されたアカウント」と呼ぶ）を作成する場合、(i) 作成されたアカウントは、マスターアカウントの Organization のメンバーアカウントとなり、マスターアカウントがその時々により有効にすることのある、AWS Organizations 機能を持ちます。(ii) 作成されたアカウントには、マスターアカウントの契約が適用されます。(iii) マスターアカウントは作成されたアカウントが講じるすべての措置に連帯して責任を負います。(iv) 作成されたアカウント内に IAM ロールが作成され、マスターアカウントに対し、作成されたアカウントへの完全な管理アクセスを付与します。

49. Amazon Athena

貴社は、本契約のその他の規定にもかかわらず、Amazon Athena JDBC ドライバまたは Amazon Athena ODBC ドライバを貴社のプログラムまたはアプリケーションに組み込み、それらにかかるプログラムまたはアプリケーションに組み込まれた状態で配布することができますが、いずれの場合も Amazon Athena においてのみ利用することができます。

50. AWS 機械学習および人工知能サービス

50.1. 「AI サービス」とは、Amazon CodeGuru Profiler、Amazon CodeGuru Reviewer、Amazon Comprehend、Amazon Comprehend Medical、Amazon DevOps Guru、Amazon Forecast、Amazon HealthLake、Amazon Kendra、Amazon Lex、Amazon Lookout for Metrics、Amazon Personalize、Amazon Polly、Amazon Rekognition、Amazon Textract、Amazon Transcribe、Amazon Transcribe Medical、Amazon Translate および Amazon Omics の総称を意味します。「AI コンテンツ」とは、AI サービスにより処理された貴社のコンテンツを意味します。

50.2. 貴社および貴社のエンドユーザーは、貴社による AI サービスの利用に基づき、下したすべての決断、提供した助言、取った対応策、取れなかった対応策の責任を負います。AI サービスは、データのパターンに基づき予測を生成する機械学習モデルを利用します。機械学習モデルにより生成されたアウトプットは、確率論的なもので、人間によるアウトプットの検討を含め、貴社のユースケースのために適切であるかどうか、その的確さを評価する必要があります。

50.3. Amazon CodeGuru Profiler、Amazon Comprehend、Amazon Lex、Amazon Polly、Amazon Rekognition、Amazon Textract、Amazon Transcribe、Amazon Translate に関し、(a) 当社は、適切な AI サービスを維持し提供するために（かかる AI サービスとその基礎技術の開発および機能向上を含む）、上述の AI サービスそれぞれにより処理された AI コンテンツを使用し、保存することができ、(b) AWS および関連会社の機械学習および人工知能技術を開発し向上させるために、個人データに該当しない AI コンテンツを使用し、保存することができ、また (c) (a) 項および (b) 項に記載された開発および機能向上に関係する場合のみ、当社は、貴社がかかる AI サービスを利用している AWS リージョンの外の AWS リージョンにかかる AI コンテンツを保存することができることに、貴社は同意し、そのように指示します。本条は Amazon Comprehend Medical および Amazon Transcribe Medical には適用されません。貴社は AWS Organizations を使用して AI サービスオプトアウトポリシーを設定することにより、AI サービスが処理した AI コンテンツを、AWS またはその関連会社のサービスまたは技術の開発と向上のため使用・保存しないよう AWS へ指示することができます。

50.4. 貴社は、AI サービスを利用する貴社の製品またはサービスのエンドユーザーへ法的に適切なプライバシー通知を行い、また、AI コンテンツの処理、および本第 50 条に記載されるような AI コンテンツの保存、利用、転送について必要な同意にかかるエンドユーザーから取得する責任があります。これには、児童オンラインプライバシー保護法 (COPPA) または同様の法律に基づき必要な通知を行い、必要な検証可能な保護者の同意を取得すること、および AI サービスにより処理されるイメージまたはビデオに写っている個

人から必要な同意を取得することが含まれます。貴社は、必要なすべてのプライバシー通知を提供し、必要なすべての同意を得たことを当社に表明します。AI サービスにより保存されている AI コンテンツを適用法に基づき削除しなければならない場合、貴社は当社に通知する責任があります。貴社が、部分的にまたは全体的に、13 歳未満の児童向けの、または 13 歳未満の児童を対象とする、および COPPA または類似の法律の対象となる、ウェブサイト、プログラム、その他のアプリケーションに関連して Amazon Lex を使用する場合、貴社は、(a) COPPA または同様の法律に基づき必要とされるすべての通知を行い、必要とされるすべての検証可能な保護者の同意を取得しなければならず、また、(b) Amazon Lex 設定プロセスにおいて (i) AWS コンソールにおける適切なチェックボックスを使用して、または (ii) 該当する Amazon Lex モデル構築サービスにおいて Amazon LEX テクニカルドキュメントが指定する API リクエストまたはレスポンスにおけるブールパラメータを使用して、AWS に対し、通知を行う必要があります。Amazon Lex は、貴社が全体的にまたは部分的に 13 歳未満の児童に向けている、または対象としている、および COPPA または類似の法律の対象となる、本条項に従って特定したウェブサイト、プログラム、その他のアプリケーションの音声またはテキスト読み上げ情報を、保存または保管しません。

50.5. 貴社は、AI サービスを使用して、類似のまたは競合する製品やサービスを直接的にも間接的にも開発したり、向上させたりせず、第三者にそれを許可することはありません。前項の規定は Amazon Forecast および Amazon Personalize には適用されません。プレビュー中は Amazon Lookout for Metrics のベンチマーク、比較テストまたは評価を実行できません。

50.6. AI サービスは、重大な人身傷害や死亡、または環境あるいは財産の毀損などを招く恐れのある、危険な環境における操作またはクリティカルシステムの操作に使用する、またはそれに関連して使用することを意図していません。AI サービスは医療サービスの支援に関連して用いることができますが、AI サービスは医療機器ではなく、いかなる臨床的な意思決定またはその他の臨床的使用のために自ら使用することをも意図していません。貴社はかかる利用に関連して生じる賠償責任について責任を負います。

50.7. 貴社は、本契約のその他の規定にもかかわらず、当社が AI サービスのために AWS モバイル SDK とともに配布するバイナリコードを、貴社のプログラムまたはアプリケーションに組み込み、かかるプログラムまたはアプリケーションに組み込まれるとおり、配信することができます。

50.8. 法執行機関による Amazon Rekognition の使用 Amazon Rekognition の顔比較機能は、機械学習を使用して、異なる画像の顔の類似点を検出し、両方の画像に同一人物が表示される可能性について予測を行います。いかなる人物についても最終的な特定は行いません。機械学習システムの性質を考慮すると、法執行機関が犯罪捜査に関連して Amazon Rekognition の顔比較機能を使用する場合、次の条件が適用されます。「法執行機関」とは、犯罪捜査、逮捕、訴追を主要な目的および責任とする政府機関をいいます。

50.8.1. Amazon Rekognition がある人物の特定を助けるために使用され、その特定に基づいて措置が取られることでその人物の市民的自由または同等の人権に影響を及ぼし得る場合、措置を取ることに對する決定は、特定に至った証拠の独立した検証に基づき、適切に訓練を受けた人物によって行われなくてはなりません。

50.8.2. 市民的自由または同等の人権に影響を及ぼし得る決定を行う際に、その決定を行う人物の助けとなるよう Amazon Rekognition を使用する法執行機関は、かかる人物が顔認証(顔認識)システムの責任ある使用について、システムを適切に操作する方法やその結果の解釈法など、適切な訓練を受けることを確実にしなければなりません。かかる訓練を実施する方法の例については、米国司法省司法支援局発行の顔認証方針策定テンプレート(Facial Recognition Policy Development Template)を参照してください。

50.8.3. Amazon Rekognition は、市民的自由または同等の人権を守るよう策定された独立した審査プロセス(裁判所命令、令状またはその他の承認を取得することなど)に従わずに、特定の人物の持続的な監視をするために使用することはできませんが、人に対する死の脅威や深刻な危害を伴う緊急事態に対応するために使用する場合はこの限りではありません。

50.8.4. Amazon Rekognition を犯罪捜査に使用する法執行機関は、顔認証システムを使用することを説明する公開開示を行う必要があります。開示の方法と内容は、当該機関の合理的な判断で決定されますが、一般の人々が容易にアクセスでき(ウェブサイト上の投稿など)、顔認証システムがどのように使用されるかを説明し、市民的自由または同等の人権の侵害を守るために実施されている保護策を要約する必要があります。具体的な例については、FBI の声明およびプライバシー評価ならびに米国司法省司法支援局発行の顔認証方針策定テンプレート(Facial Recognition Policy Development Template)を参照してください。

50.9. Amazon は、Amazon Rekognition 顔照合機能の警察当局による犯罪捜査関連の利用を一時停止しました。この一時停止は、Amazon Rekognition の顔照合機能を行方不明者の特定や発見に利用することには適用されません。詳しくは Amazon Day One Blog 上の当社発表をご覧ください。

51. Amazon Lightsail

51.1. Amazon Lightsail VPC ピアリングを使用する場合、貴社は AWS に、貴社の Amazon Lightsail VPC および貴社の Amazon VPC とピアリングすることを認めます。

51.2. AWS Marketplace からの Amazon マシンイメージは、AWS Marketplace の条件、ならびに Amazon マシンイメージを提供または販売する当事者が指定する別の契約条件およびプライバシーポリシーに従って、提供または販売されます。Amazon Lightsail 上での Microsoft ソフトウェアの利用には上記の第 5.1 条が適用されます。Microsoft は、本第 51.2 条の規定を執行する権利を持つ本条項の第三者受益者となることが想定されています。

51.3. 貴社は、他のサービスからのデータ料金の発生を避けることを意図した方法で Amazon Lightsail を使用することはできません(たとえば本サービスからのネットワークトラフィックを公共インターネットまたはその他の宛先へプロキシすることや、テクニカルドキュメントに記載されるロードバランシングサービスまたはコンテンツデリバリーネットワーク(CDN) サービスを経由して過剰なデータ処理を行うことなど)。これを行った場合、当社は貴社のデータサービスをスロットリングもしくは停止したり、貴社のアカウントを停止する場合があります。

52. AWS Systems Manager

52.1. AWS Systems Manager は、貴社による本サービスの利用に関する情報を収集し、AWS へ送信する場合があります。これにはインベントリ項目(アプリケーションインベントリおよびカスタムインベントリ項目など)、パラメータ、構成データ(ネットワークおよびステート構成など)、テレメトリーおよび診断データ、更新履歴とレジストリキー、リソースグループ、パッチメタデータ(「システム情報」と呼ぶ)が含まれます。AWS はこれらのシステム情報を使用して、本サービスのオペレーションおよびメインテナンス(向上を含む)を行います。

52.2. 本サービスの機能の中には、連絡先チャンネル(例えば電話番号や電子メールアドレス)への通知送信を許可する機能を含むものがあります。貴社がかかる機能をご利用になった場合、該当するワークフローで入力された連絡先チャンネルへの通知(例えば SMS/ボイスメッセージ/電子メール)の送信を当社に指示し、貴社がかかる通知を送信する権限があることを確認するものいたします。通信事業者は、かかる機能に関連して送受信された通知に対して課金を行う場合があります。

52.3. 貴社による AWS-ApplyChefRecipes の使用には、上記第 23.2 条が適用されます。

53. Amazon Chime

53.1. エンドユーザー

53.1.1. 貴社は貴社のアカウントでエンドユーザーが Amazon Chime を利用できるようにすることができます。貴社のアカウントにおける Amazon Chime の利用の終了は、貴社のアカウントまたは企業・団体名に関連付けられたエンドユーザーの有料の機能、Voice Connector 機能、Business Calling 機能も終了させ、かかるすべてのエンドユーザーは、Amazon Chime の無料の機能へと変換されます。

53.1.2. Amazon Chime エンドユーザーは、管理権限を持つエンドユーザー（「Amazon Chime 管理者」と呼ぶ）が管理することができます。Amazon Chime 管理者は、(a) エンドユーザーの Amazon Chime の層および機能セットをアップグレードまたはダウングレードすることができ、(b) エンドユーザーの Amazon Chime へのアクセスを停止することができ、また(c) エンドユーザーの Amazon Chime の利用状況についての情報をコールの詳細を含めアクセスすることができます。

53.2. Chime PSTN サービス

53.2.1. 本条件における「Chime PSTN サービス」という用語は、貴社が、公衆交換電話網(PSTN)の通話およびテキストメッセージ機能を、貴社の Amazon Chime エクスぺリエンスへ統合することを可能にする機能を意味します。Chime PSTN サービスには以下が含まれます。(a) 標準の電話番号およびフリーダイヤル番号経由で PSTN からミーティングへのダイヤルインアクセス、(b) 標準の電話番号およびフリーダイヤル番号経由でミーティングから PSTN 番号へのダイヤルアウトアクセス、(c) 標準の電話番号またはフリーダイヤル番号経由で PSTN から Amazon Chime ソフトフォンへのダイヤルインアクセス、(d) 標準の電話番号またはフリーダイヤル番号経由で Amazon Chime ソフトフォンから PSTN へのダイヤルアウトアクセス、(e) 標準の電話番号またはフリーダイヤル番号経由で Amazon Chime メッセージングまたは API へのテキストおよびマルチメディアメッセージを受信、(f) 標準の電話番号またはフリーダイヤル番号経由で Amazon Chime メッセージングまたは API からのテキストおよびマルチメディアメッセージを送信、(g) 標準の電話番号またはフリーダイヤル番号経由で PSTN から Amazon Chime Voice Connector へのダイヤルインアクセス、(h) 標準の電話番号またはフリーダイヤル番号経由で PSTN への Amazon Chime Voice Connector からのダイヤルアウトアクセス、(i) 標準の電話番号またはフリーダイヤル電話番号経由で PSTN から API へのダイヤルインアクセス、および(j) 標準の電話番号またはフリーダイヤル番号経由で PSTN への API からのダイヤルアウトアクセス。

53.2.2. Chime PSTN サービスの一部、特に、Business Calling、Voice Connector、SMS Text は、AWS ではなく AWS の関連会社である AMCS LLC（「AMCS」）によって販売され提供されますが、これには本契約の契約条件が適用されます。貴社の請求書には、AWS により販売され、それを AMCS が貴社に販売し、貴社が利用したサービスが記載されます。Chime PSTN サービスの請求は管理の便宜上、AMCS に代わって AWS が行います。Amazon Chime を使用するために、AMCS が販売するサービスや Chime PSTN サービスを購入する必要はありません。Chime PSTN サービスの通話機能（発信着信機能）は、AMCS から別途、または組合せにより、または AMCS とは関係なく購入することができます。AWS は電気通信業者ではないため、電気通信関連サービスを提供しません。

53.2.3. 貴社は、Chime PSTN サービスを使用する際、(a) 電話をかけたまたはメッセージを送った結果として、貴社または他者にアクセスまたは解約料金の収入をもたらすような電話またはメッセージを（個別に、連続して、または自動的に）PSTN 電話番号へ発信しません。(b) 通常の、個別利用とは異なる形の普通ではない発信パターンの通信も行いません。また(c) 当社の事前の書面による同意を得ずに、Chime PSTN サービスを第三者に再販しません。

53.2.4. 一部の国における貴社による Chime PSTN サービスの利用には、別の国別コミュニケーションサービス条件が適用されます。

53.3. Amazon Chime の一部で、AMCS が貴社または貴社のエンドユーザーへ電話番号(通話料有料か無料かにかかわらず)を提供した場合、適用法に基づくナンバーポータビリティの権利を条件として、貴社はその番号を所有せず、その番号を無期限に維持する権利を持たないことを了解し同意します。AMCS は、電話番号を変更、取り消し、または移動する権利を留保します。

53.4. 貴社と貴社のエンドユーザーには、Amazon Chime を使用して、チャットやその他の種類の記録の他に、該当する音声またはビデオセッションを記録するオプションがあります(「記録」と総称)。貴社または貴社のエンドユーザーが、音声またはビデオセッション、またはその他の通信の記録を要請する場合、Amazon Chime は、貴社および貴社のエンドユーザーが該当するセッションまたは通信にサインインしたときに短い音声または視覚的通知を提供することにより、貴社および貴社のエンドユーザーへ記録についての通知を試みます。貴社および貴社のエンドユーザーは、かかる通知または通知の試みの後、貴社および貴社のエンドユーザーによるセッションまたは通信への継続的な参加が、貴社の記録への有効な同意を構成することを認めます。貴社および貴社のエンドユーザーは、記録の利用は、通話その他の電子的通信の記録に関する法または規制の対象となることを了解し、記録されるセッションまたは記録される通信のすべての参加者に、そのセッションまたは通信が記録されることを適切に通知し、かつ彼らの同意を得ることを含め、記録に関する適用法を順守することは貴社および貴社のエンドユーザーの責任です。AWS もその関連会社も、通知の実施や同意の取得の不履行を含め、貴社または貴社のエンドユーザーによる違法な記録について、責任を負いません。貴社または貴社のエンドユーザーは、貴社または貴社のエンドユーザーによる記録に関する適用法の順守についての明確な開示として、参加者にセッションや通信が記録されていることを警告する AWS が提供する通知に依拠することはできません。

53.5. 別段の記述がない限り、貴社または貴社のエンドユーザーによる、Amazon Chime の無料機能へのサブスクリプションは、サブスクリプション料金の支払いを必要としません。Amazon Chime の無料機能は、期間の保証がなく、AWS は、個人、組織、または組織グループによる Amazon Chime の「無料」または「基本」機能の利用を制限、変更、限定、または終了する場合があります。貴社または貴社のエンドユーザーが、Amazon Chime にサインアップし有料機能を利用する場合、不払いまたは違反を含む何らかの理由により、貴社または貴社のエンドユーザーの有料サービスへのアクセスは終了となる場合があります。貴社および貴社のエンドユーザーは、Amazon Chime の無料機能へ戻り、貴社または貴社のエンドユーザーが Amazon Chime に関係して保存したデータその他の資料にアクセスすることはできなくなり、かかるデータおよび資料は AWS によって削除される場合があります。

53.6. 緊急通話

53.6.1. Voice Connector 機能および Business Calling 機能を含め Amazon Chime PSTN サービスは、従来型の電話サービスではなく、従来型の電話サービスに置き換えるものでもありません。Amazon Chime は米国外で緊急サービス先または緊急応答機関への緊急通報サービス(「緊急通報サービス」と呼ぶ)を提供していません。エンドユーザーは、米国外の場所から緊急通報サービスに対する通話を行ってはいけません。かかる通話は、米国外の場所に対する通報応答サービスにルーティングされません。

53.6.2. 米国内で、Voice Connector 機能と Business Calling 機能は、従来型の電話サービスとは異なる方法で緊急通報サービスの 911 番に対する通話をサポートしています。Amazon Chime は、エンドユーザーの地理的位置を把握できないことがあり、エンドユーザー側で停電やインターネットの接続障害が生じた場合は、通話できなくなります。Voice Connector 機能または Business Calling 機能を使用した米国内の緊急通報サービスに対する通話では、エンドユーザーの位置情報が自動的に提供されません。エンドユーザーは、通話に応答したオペレーターに、緊急事態が生じた住所の情報を伝える必要があります。貴

社および貴社のエンドユーザーは、Voice Connector 機能または Business Calling 機能を使用した 911 番号への通話で、有効なコールバック番号が確実に提供されるようにすることに責任を負います。貴社のエンドユーザーが緊急通報サービスを使えるようにするための第三者との取り決めについては、貴社の単独責任において行っていただくものとし、AWS は Amazon Chime とのかかる取り決めの利用についていかなる表明や保証も行いません。貴社は、(a) エンドユーザー側で停電、インターネットの接続障害、またはデバイスの電源が切れた場合は、Chime PSTN サービスを使用して通話できなくなること、(b) Chime PSTN サービスを使用した米国内での緊急通報サービスに対する通話は、Amazon Chime がエンドユーザーの位置を把握できない場合があるため、適切にルーティングされない可能性があること、および(c) エンドユーザーは、貴社が利用可能にした代替手段を含め、利用可能なその他の手段を通じて緊急通報サービスにアクセスできることについて、貴社のエンドユーザーに通知することに同意します。

53.6.3. Amazon Chime SDK 機能は、緊急通報サービスに対する通話をサポートしていません。貴社が、Amazon Chime SDK によって実現されるダイヤルパッドから通話または SMS の発信をエンドユーザーに許可する場合、貴社は、緊急通報サービスへのアクセスがサポートされていないことに関する注意書きを貴社のエンドユーザーに対して目立つように提示する必要があります。

53.6.4. AWS もその関連会社も、Amazon Chime を使用した任意の緊急通報サービス、または緊急通報サービスを利用できないまたは完了できないことに起因する損害について責任を負いません。AWS は、現地の緊急応答センター、緊急応答における位置またはその他の住所の更新を促進するために貴社が契約した第三者、および緊急通報サービスの提供にかかわるすべての他の第三者の行為に対してすべての責任を否認します。適用法によって許可される限り、貴社は、(a) 緊急通話への対応もしくは応答にかかわる当該第三者もしくはその他の第三者の行為もしくは不作為、(b) 停電やインターネットの接続障害のために貴社が Chime PSTN を使用して緊急通報サービスに連絡できないこと、(c) 貴社もしくは貴社のエンドユーザーが、正確な発信者の位置情報もしくはコールバック情報を提供しないこと、または(d) 緊急通報サービスにアクセスするために追加の取り決めを貴社が行わないことに関連する責任に関し、AWS およびその関連会社を免責し、補償し、かつ無害に保つことに同意します。

53.7. アジアパシフィック(東京)リージョンの Amazon Chime は、AWS ではなく AWS の関連会社である AMCS が販売し提供しています。これには本契約の契約条件が適用されます。

53.8. アジアパシフィック(シンガポール)リージョンの Amazon Chime は、AWS ではなく AWS の関連会社である AMCS SG PRIVATE LIMITED が販売し提供しています。これには本契約の契約条件が適用されます。

53.9. 貴社は、当社が、すべてのユーザー情報(チャットメッセージ、連絡先、カレンダー、および議事録を含みます)を、Amazon Chime サービスがホスティングされている米国リージョンにて保存することを了解し、同意します。

53.10. 欧州経済地域(EEA)、英国およびスイスにおいて Chime PSTN サービスは AMEC により販売・提供されますが、それ以外の面では本契約の条件が適用されます。

54. Amazon Connect

54.1. PSTN 接続サービス

54.1.1. 本サービス条件において「PSTN 接続サービス」という用語は、Amazon Connect を使用する際に貴社がオプションで購入することのできる公衆交換電話網(PSTN)への着信発信通話機能を意味します。

PSTN 接続サービスには、標準の電話番号およびフリーダイヤル番号経由で Amazon Connect へ PSTN からのダイヤルインアクセスが含まれます。

54.1.2. PSTN 接続サービスは、AWS ではなく AWS の関連会社である AMCS LLC (「AMCS」と呼ぶ) によって販売され提供されています。これには本契約の契約条件が別途適用されます。シンガポール向けの PSTN 接続サービスは、AWS ではなく AWS の関連会社である AMCS SG PRIVATE LIMITED (「AMCS SG」と呼ぶ) が販売し提供していますが、本契約の契約条件が別途適用されます。PSTN 接続サービスの請求は管理の便宜上、AMCS および AMCS SG に代わって AWS が行います。Amazon Connect を使用するために、AMCS や AMCS SG が販売するサービスや PSTN 接続サービスを購入する必要はありません。PSTN 接続サービスの通話機能 (発信着信機能) は、AMCS または AMCS SG から別途、もしくは組合せにより、または AMCS や AMCS SG とは関係なく購入することができます。AWS は電気通信業者ではないため、電気通信関連サービスを提供しません。

54.1.3. 貴社は、PSTN 接続サービスを使用する際、(a) 電話をかけた結果として、貴社または他者にアクセスまたは解約料金の収入をもたらすような電話を (個別に、連続して、または自動的に) PSTN 電話番号へ発信しません。また (b) 通常の、個別利用とは異なる形の普通ではない発信パターンの通信も行いません。

54.1.4. Amazon Connect サービスの一部で AMCS または AMCS SG が貴社へ着信電話番号 (通話料が有料か無料かを問わない) を提供した場合、適用法に基づくあらゆる番号ポータビリティ権に従い、貴社はその番号を所有せず、その番号を無期限に維持する権利を持たないことを了解し同意します。AMCS および AMCS SG は、電話番号を変更、取り消し、または移動する権利を留保します。

54.1.5. 一部の国における貴社による Connect PSTN サービスの利用には、別の 国別コミュニケーションサービス条件 が適用されます。

54.2. 緊急通報

5.4.2.1. Connect PSTN サービスは、従来型の電話サービスの代わりとなるものではありません。Amazon Connect は米国外の緊急サービス先または緊急応答機関への緊急通報サービス (「緊急通報サービス」と呼ぶ) に対応していません。Amazon Connect を利用する可能性のある貴社のコールエージェントとその他のエンドユーザーは、米国外の場所から緊急通報サービスへの通話を行ってはなりません。かかる通話は、米国外の場所に対する通報応答サービスにルーティングされません。

54.2.2. Connect PSTN サービスは、米国内において、従来型の電話サービスとは異なる方法で緊急通報サービスへの 911 番による通話をサポートしています。Amazon Connect は、エンドユーザーの地理的位置を把握できないことがあり、エンドユーザー側で停電やインターネットの接続障害が生じた場合は、通話できなくなります。貴社および貴社のエンドユーザーは、Connect PSTN サービスを利用した 911 番への通話において、Amazon Connect がエンドユーザーの現在地情報および有効なコールバック番号を確実に利用できることにつき責任を負います。貴社は、(a) コールエージェントまたはその他のエンドユーザー側で停電、インターネットの接続障害、またはデバイスの電源が切れた場合は、Connect PSTN サービスを使用して通話できなくなること、(b) Connect PSTN サービスを使用した米国内での緊急通報サービスに対する通話は、Amazon Connect がコールエージェントまたはその他のエンドユーザーの位置を把握できない場合があるため、適切にルーティングされない可能性があること、および (c) エンドユーザーは、貴社が利用可能にした代替手段を含め、利用可能なその他の手段を通じて緊急通報サービスにアクセスできることについて、Amazon Connect を利用する可能性のあるすべてのコールエージェントとその他のエンドユーザーに通知することに同意します。

54.2.3. AWS もその関連会社も、Amazon Connect を使用する任意の緊急通報サービス、または緊急通報サービスを利用できないことに起因する損害について責任を負いません。AWS は、現地の緊急応答センター、緊急応答における位置またはその他の住所の更新を促進するために貴社が契約した第三者、および緊急通報サービスの提供にかかわるすべての他の第三者の行為に対して一切の責任を否認します。適用法によって許可される限り、貴社は、(a) 緊急通話への対応もしくは応答にかかわる当該第三者もしくはその他の第三者の行為もしくは不作為、(b) 停電やインターネットの接続障害のために貴社が Connect PSTN サービスを使用して緊急通報サービスに連絡できないこと、(c) Amazon Connect を使用する可能性のある貴社、貴社のコールエージェントもしくはその他のエンドユーザーが、正確な発信者の位置情報もしくはコールバック情報を提供しないこと、または (d) 緊急通報サービスにアクセスするために追加の取り決めを貴社が行わないことに関連する責任に関し、AWS およびその関連会社を免責し、補償し、かつ無害に保つことに同意します。

54.3. Amazon Connect には重要なサービスの制限があります。発着呼率や頻度、自動発信、一定地域への通話その他に関する制限を含め、該当するテクニカルドキュメントを注意深く検討し、常に順守するようにしてください。貴社が正当な理由によりいずれかの制限を超過すると考える場合は、事前に顧客サービスに連絡し、該当する例外処理を要請する必要があります。このような要請は当社の合理的な裁量により受け入れられる場合も受け入れられない場合もあります。Amazon Connect は、ファックスやモデムからの着信、またそれらへの発信には対応していません。Amazon Connect の一部で提供される発信者特定サービスは、常に機能するとは保証されていません。

54.4. Amazon Connect を利用するにあたり、貴社は、音声通信やメッセージ送信のためのインターネット利用に適用される規制を含め、自己の責任において、貴社および貴社のコールエージェントが所在する国の法規を順守するものとします。インドでは、貴社は、インドに所在する貴社のコールエージェントやその他のエンドユーザーに、インドの電話番号またはインドに所在する第三者への電話に Amazon Connect を使用することを許可しないことに同意します。

54.5. 貴社と貴社のエンドユーザーには、Amazon Connect を使用して、チャットやその他の種類の記録の他に、該当する音声セッションの記録を要請するオプションがあります（「記録」と総称）。記録の作成または利用は、通話その他の電子的通信の記録、または通信一般に関する法または規制の対象となること、また、記録されるセッションまたは記録される通信のすべての参加者に、そのセッションまたは通信は記録されることを適切に通知し、彼らの同意を得ることを含め、記録に関する適用法を順守することは貴社および貴社のエンドユーザーの責任であることを、貴社および貴社のエンドユーザーは了解します。AWS もその関連会社も、通知の実施や同意の取得の不履行を含め、貴社または貴社のエンドユーザーによる違法な記録について、責任を負いません。

54.6. Amazon Connect と Apple Business Chat の統合を有効にするには、Apple Business Register アカウントを作成する必要があり、Apple の利用規約など、Apple Business Chat の使用に関連する Apple の規約を検討し、承認する責任があります。貴社は、貴社または貴社のエンドユーザーによる Apple Business Chat の使用、貴社または貴社のエンドユーザーが Apple Business Chat を通じて送信するコンテンツ、および適用される Apple の規約の順守について、貴社が単独で責任を負うことに同意します。

54.7. Amazon Connect Machine Learning Services 「Amazon Connect ML Services」とは、Contact Lens for Amazon Connect、Amazon Connect Customer Profiles Identity Resolution、留守番電話検出を有効にした Amazon Connect のアウトバウンドキャンペーン、Amazon Connect Wisdom、および Amazon Connect の予測、人員配置計画、スケジューリングを総称していいいます。「Amazon Connect ML コンテンツ」とは、Amazon Connect ML Service により処理された貴社のコンテンツを意味します。貴社による Amazon Connect ML Services の利用には以下の条件が適用されます。

(a) 貴社は以下について同意し指示します。(i) 当社は、Amazon Connect ML Services を管理し提供するために (Amazon Connect ML Services とその基礎技術の開発と向上を含む)、Amazon Connect ML コンテンツを使用し保存することができます。また、(ii) AWS およびその関連会社の機械学習および人工知能技術を開発し向上させるために、個人データに該当しない Amazon Connect ML コンテンツを使用し保存することができます。さらに、(iii) 当社は、上記第 (i) 項および第 (ii) 項に記載された使用と保存の目的のみにおいて、貴社の Amazon Connect ML コンテンツを、貴社が Amazon Connect ML Services を使用する AWS リージョン外の AWS リージョンにおいて保存することができます。貴社は、AWS に、AWS Organizations を使用して AI サービスオプトアウトポリシーを設定することにより、Amazon Connect ML Services が処理した Amazon Connect ML コンテンツを、当該サービスまたは AWS もしくはその関連会社の技術を開発もしくは向上させるために使用および保存しないように指示することができます。

(b) 貴社は、Amazon Connect ML Services を使用する貴社の製品またはサービスのエンドユーザーへ法的に適切なプライバシー通知を行うこと、またかかるエンドユーザーから本条項に記載されたように Amazon Connect ML コンテンツを処理し、Amazon Connect ML コンテンツを保存、使用、転送することに関する必要な同意を得ることに、責任を負います。貴社は、必要なすべてのプライバシー通知を提供し、必要なすべての同意を得たことを当社に表明します。Amazon Connect ML Services により保存されている Amazon Connect ML コンテンツを適用法に基づき削除しなければならない場合、貴社は当社にその旨を通知する責任があります。

(c) 貴社は、Amazon Connect ML Services を使用して類似もしくは競合する製品やサービスを直接的または間接的に開発したり、向上させたりせず、第三者にそれを許可することはありません。

54.8. Amazon Connect Voice ID

54.8.1. Amazon Connect Voice ID を、イリノイ州生体認証情報プライバシー法、テキサス州生体特定要素の捕捉または使用に関する法律、ワシントン州生体特定要素関連法、カリフォルニア州消費者プライバシー法、EU 一般データ保護規則または類似のプライバシー法もしくは生体認証法を含むがそれに限らない生体情報または生体認証識別子（「生体認証データ」）の収集、所持、処理、使用、開示、保管に関する法的要件のある法域で使用する場合、AWS が貴社に代わって生体認証データの収集、所持、処理、利用および保存ができるよう、貴社は、適用されるすべて法的要件の順守に加え、必要なすべての権利、同意（法により求められる情報に基づく同意書および明示的同意を含む）および権利放棄を事前に取得しなくてはなりません。

貴社のエンドユーザーがイリノイ州の住民であるまたは同州に所在する場合、および貴社にイリノイ州生体認証情報プライバシー法（「BIPA」）が適用される場合、貴社による同サービスの利用には以下の条件および要件も適用されます。

(a) **書面によるポリシーと保管スケジュール** 適用法により許可または要求される場合を除き、AWS はかかるデータを収集または取得した当初の目的が満たされた時、生体認証データが生成されてから 3 年以内に、あるいは、貴社より生体認証データを破棄する必要があると通知を受けたときのいずれか早い方のタイミングで、生体認証データを永久的に破棄します。

(b) **書面による通知および権利放棄書** 貴社は書面にて以下の情報を提出し、また、イリノイ州における各エンドユーザーから BIPA が要請する署名された権利放棄書を取得しなくてはなりません。「[貴社名（「会社」）]は Amazon Web サービスを音声認証サービスのサービスプロバイダとして利用しています。以前に記録されている音声と発信者の音声を照合する目的、ならびに不正防止とセキュリティ目的のため、[会社」

に代わって Amazon Web サービスが生体認証識別子および生体情報(「生体認証データ」)を収集、保管、使用することがあります。このプロセスの中で生成された生体認証情報は貴殿が最後に[会社]とやりとりしてから最長で3年間、適用法により許容または要求される場合のみそれより長い期間保管され、その後破棄されます。適用法により許可または要求される場合を除き、Amazon Web サービスはかかるデータを収集または取得した当初の目的が満たされた時、生体認証データが生成されてから3年以内に、あるいは、[会社]より生体認証データを破棄する必要があると通知を受けたときのいずれか早い方のタイミングで、[会社]に代わって保管していた生体認証データを永久的に破棄します。このサービスを提供し受けるために必要な場合、生体情報は[会社]と Amazon Web サービスの間で開示される場合があります。貴殿はこれにより、[会社]と Amazon Web サービスに対し、貴殿の生体認証データが本書に記載されるように収集、使用、保存されることについて、明示的な情報に基づく書面による権利放棄書と同意書を提出したことになります。」

貴社がこれらの要件を順守しない場合、または適用されるすべての法律を順守しない場合は、本サービスを利用することはできません。貴社は AWS に協力し、AWS の要請があった場合、すべての適用法およびこれらの要件の順守を確認することに同意します。これには BIPA に基づき求められる書面による権利放棄書をエンドユーザーから取得したことの確認を AWS へ提出することが含まれます。貴社は、貴社が本条の要件を満たさなかったこと、または適用法を順守しなかったことに起因するまたは何らかの形で直接的もしくは間接的に関係する、すべての損害賠償、賠償責任、罰則、罰金、費用、経費(合理的な弁護士費用を含む)について AWS を弁護士賠償し、要請があった場合はすみやかに保険填補の証拠を提出します。貴社は、貴社がかかる要件を満たさなかったこと、またはそれ以外の形で適用法を順守しなかったことに関連する、すべての請求、訴訟、監査、裁判、捜査、またはその他の法的手続きに関する、すべての損害賠償、賠償責任、罰則、罰金、費用、経費(合理的な弁護士費用を含む)について AWS を全面的に免責します。

54.8.2. 貴社は同様のまたは競合する製品やサービスの開発もしくは向上のために、直接的にも間接的にも Amazon Connect Voice ID を使用せず、第三者に使用を許可しないこととします。

54.8.3. Amazon Connect Voice ID はデータ内のパターンに基づき予測を生成する機械学習モデルを使用します。Amazon Connect Voice ID が生成するアウトプットは確率論的なもので、人間によるアウトプットの検討またはその他の検証要因との組合せを含め、貴社のユースケースについて適切であるかどうか、その的確さを評価する必要があります。貴社および貴社のエンドユーザーは Amazon Connect Voice ID の使用に基づき行われるすべての決定、提供される助言、実施される行為もしくは不作為について責任を持ちます。

54.9. **Amazon Connect のアウトバウンドキャンペーン** 貴社は、自己の責任において、一方的に送り付ける、または不招請な通信に関連する法的義務を遵守するものとします。この法的義務には、電話消費者保護法(TCPA)、米国連邦取引委員会のテレマーケティング販売規則、EU の e-Privacy 指令、またはテレマーケティングに関するこれらに類似するその他の法律によるものを含みますがこれらに限定されません。

55. AWS Greengrass

貴社による AWS Greengrass Core の利用には、AWS Greengrass Core ソフトウェアライセンスが適用されます。

56. AWS Migration Hub

AWS Migration Hub を利用する際、AWS Migration Hub がスキャンした貴社のオンプレミスコンピューティングリソース内のデータは、貴社のコンテンツとみなされます。

57. Amazon MQ (AMQ)

当社の管理の範囲外の理由により、Amazon MQ 経由で送信された貴社のメッセージがブロックされたり、遅延したり、または配信できない場合も貴社の支払義務は継続します。

58. AWS Media Services

58.1. AWS Media Services により作成されたファイルの配信には、一定のサードパーティーの音声およびビデオ形式の所有者またはライセンサーを含む、サードパーティーからのライセンス権を取得しなければならない場合があります。これらのライセンスの取得と必要なロイヤリティまたは料金の支払いには貴社が単独でその責任を負います。

58.2. アジア太平洋(東京)リージョンからの AWS Elemental MediaConnect および Amazon Interactive Video Service (「IVS」)は、AWS ではなく AWS の関連会社である AMCS LLC が販売し提供していますが、これらには本契約の契約条件が適用されます。

58.3. AWS Elemental Media Event Management (MEM)

58.3.1. 当社は、MEM を提供するために、貴社が特定の AWS Elemental ソフトウェアのアップデートを実施することや、貴社の AWS Elemental 製品への迅速かつ合理的なアクセスを当社に提供することを要求する場合があります。MEM サービスには、AWS Elemental 製品、AWS サービス、またはサードパーティー製品(またはこれらの組み合わせ)のインストール、設定、管理、パフォーマンス、オペレーション、エラー、障害または欠陥の解決、またはその他のサポートおよびメンテナンスは含まれません。

58.3.2. AWS は、セキュリティ、リスク、ガバナンス、法律またはコンプライアンスに関するアドバイスを提供しません。貴社は、MEM サービスの使用が適用される法律および規制要件を満たしているかどうかを自ら評価する責任があります。また、貴社は当社が提供するアドバイスや推奨を実行する責任を単独で負います。

58.3.3. MEM サービスに対する支払いは返金されません。貴社の唯一の救済策は AWS が関連する MEM サービスを再実行することです。ただし、最初のパフォーマンスの日付から 10 営業日以内に障害が発生した場合は通知する必要があります。当社は、貴社に対し、貴社のエンゲージメントサマリーに規定する方法により請求を行います。

59. Alexa for Business

59.1. 「Alexa for Business」とは、テクニカルドキュメントに記載された Alexa for Business サービスを意味し、これには本契約の契約条件が適用されます。貴社が Alexa for Business を搭載した Amazon デバイスを使用する場合、貴社にはまた Amazon デバイス利用規約が適用され、貴社はこれに同意する必要があります。ただし、Alexa 音声サービスには本契約の契約条件が適用されます。

59.2. 貴社は以下について同意し指示します。(a) 当社は、Alexa for Business を管理し提供するために (Alexa for Business とその基礎技術の開発と向上を含む)、Alexa for Business により処理された貴社のコンテンツ(「Alexa コンテンツ」と呼ぶ)を使用し保存することができます。また(b)AWS およびその関連会社の機械学習および人工知能技術を開発し向上させるために、個人データに該当しない Alexa コンテンツを使用し保存することができます。さらに(c)上記第(a)項および第(b)項に記載された使用と保存の目的の

みにおいて、当社は、貴社の Alexa コンテンツを、貴社が Alexa for Business を使用する AWS リージョン外の AWS リージョンにおいて保存することができます。

59.3. 貴社は、物理的および論理的セキュリティ、ファイアウォール、およびその他の該当するネットワークセキュリティツールを使用して、貴社の Alexa for Business デバイスを保護する責任があります。

59.4. Alexa for Business は、サードパーティーが提供したサービスまたはアプリケーションを含む場合があります。貴社が Alexa for Business を利用するサードパーティーサービスを利用する場合、貴社は、当社がそのサードパーティーサービスと関連情報を交換する場合があることに同意します。貴社または貴社のエンドユーザーによるサードパーティーサービスの利用には、本契約およびかかるサードパーティーサービスに適用されるサードパーティーの条件が適用されます。サードパーティーサービスを利用する際、貴社は、貴社または貴社のエンドユーザーがサードパーティーに提供する情報に責任を負い、AWS は、サードパーティーサービスについて何らの責任も賠償責任も負いません。サードパーティーサービスのプロバイダは、それらのサービスにおける機能や特徴を変更または終了させる場合があります。Alexa for Business は、貴社または貴社のエンドユーザーが、照明、器具、ビデオ会議装置などの他の製品と対話したりそれら进行操作したりすることを可能にします。AWS はかかる製品について責任も賠償責任も負いません。

59.5. Alexa for Business は、重大な人身傷害や死亡、または環境あるいは財産の毀損などを招く恐れのある、危険な環境における操作またはクリティカルシステムの操作に使用する、またはそれに関連して使用することを意図しておらず、貴社はかかる利用に関連して生じる賠償責任について単独で責任を負います。

59.6. 貴社は Alexa for Business を 18 歳未満の人に販売、広告、差し向けはけません。

59.7. メッセージや通話の送受信や他のユーザーと接続する機能などの一定の Alexa 関連の通信サービス(「Alexa 通信」と総称)は、AWS ではなく、AWS の関連会社である AMCS LLC(「AMCS」)によって販売され提供されますが、これには本契約の契約条件が適用されます。貴社による Alexa 通信の利用もまた、本条件の一部である Alexa 通信利用ガイドラインの対象となります。貴社、貴社のエンドユーザー、またはその他の通話参加者は、通話中に Alexa for Business に一定機能のヘルプを求めることができます。たとえば、「Alexa、音量を上げて」や「Alexa、通話を終了して」などです。一定の Alexa 通信サービスは、当社のサードパーティーサービスプロバイダにより提供され、当社は、それらのプロバイダにサービス提供のために電話番号などの情報を提供する場合があります。

59.8. Alexa の通話およびメッセージング機能は、従来型の双方向式電話または携帯電話サービスの代わりとなるものではなく、代替として機能しません。Alexa の通話およびメッセージング機能は 110 番や 119 番などの緊急サービス先または緊急応答機関への緊急通報サービス(「緊急通報サービス」)に対応しておらず、貴社のデバイスや貴社のエンドユーザーの地理的位置を判定できない場合があることを、貴社は了解します。Alexa の通話およびメッセージング機能は、警察、消防署、病院、緊急応答機関にユーザーを接続するその他のサービスとの緊急連絡の送受信に使用するために設計または意図されていません。貴社は、携帯、固定電話、その他の貴社の現地の 110 番通信に利用できる、適切な緊急通報サービスプロバイダに連絡できるようにする必要があります。貴社は、(a) Alexa 通話およびメッセージング機能を使用する可能性のある貴社および貴社のエンドユーザーのために、緊急通報サービスを利用するための代替手段を手配すること、(b) Alexa 通話およびメッセージング機能ならびに Alexa for Business を利用する可能性のあるすべてのエンドユーザーにこの制限について通知し、緊急通報のためのその他の手段について、貴社が利用可能にした代替手段を含め通知することは、貴社の責任であることを了解し同意します。AWS もその関連会社も、Alexa 通話およびメッセージング機能ならびに Alexa for Business を使用する、任意の緊急通報サービス、または緊急通報サービスを利用できないことに起因する損害について責任を負いません。貴社は、Alexa 通話およびメッセージング機能ならびに Alexa for Business を使用した、任意の緊急通

報サービス、または緊急通報サービスを利用できないことに言及または関係するクレームに関し、AWS およびその関連会社を補償しかつ無害に保つことに同意します。

59.9. 貴社および貴社または貴社のエンドユーザーの通話またはメッセージの受取人は、データ利用についてキャリア料金を支払うことを要求される場合があります。AMCS はかかる料金については責任を負いません。

60. Amazon SageMaker

60.1. 貴社は Amazon SageMaker を使用する貴社の製品またはサービスのエンドユーザー (Amazon SageMaker Ground Truth を利用する場合は貴社のプライベートワークフォース内のエンドユーザーを含む) に対し、法的に適切なプライバシー通知を行い、かかるエンドユーザーから必要なすべての同意を得る責任があります。

60.2. 貴社は、NVIDIA Corporation のソフトウェア、ツールキット、ドライバを使用することにより、NVIDIA クラウドエンドユーザーライセンス契約の条件に拘束されることに同意したことになります。

60.3. Amazon SageMaker は、重大な人身傷害や死亡、または環境あるいは財産の毀損などを招く恐れのある、危険な環境における操作またはクリティカルシステムの操作に使用する、またはそれに関連して使用することを意図しておらず、貴社はかかる利用に関連して生じる賠償責任について単独で責任を負います。

60.4. Amazon SageMaker Ground Truth のパブリックワークフォースを使用する際、(a) 貴社は保護対象の医療情報、個人識別情報、その他の個人データを含むデータセットを提供してはいけません。(b) 貴社はアダルトコンテンツを含むとマークされていないアダルトコンテンツを含むデータセットを提供してはいけません。また、(c) 貴社は、パブリックワークフォースに提供された貴社のコンテンツは貴社が Amazon SageMaker Ground Truth を使用する AWS リージョン外に移動する可能性があることを認め同意します。

60.5. Amazon SageMaker Clarify はデータおよび機械学習モデル間の統計的偏りを評価し、モデルの予測生成方法についての説明に使用できるメトリクスの生成に統計分析技術を使用します。Amazon SageMaker Clarify が提供するアウトプットは統計的偏りの存在または不存在を決定せず、またはモデルの予測生成方法について包括的な回答とはなりません。このようなアウトプットは法的助言ではなく、貴社のユースケースについて適切であるかどうか別途評価する必要があります。

60.6. Amazon SageMaker Edge Manager は、モデルバージョン、推論、アップロードタイム、診断データなどを含むパフォーマンスおよび利用状況のメトリクスと貴社による本サービスの利用に関するデータを収集します。当社は本サービスおよび AWS コンテンツの品質および機能セットの提供、保守、改善のためこれらのメトリクスとデータを使用します。

60.7. 当社は随時、SageMaker セービングプラン(「SM セービングプラン」)の価格を変更する場合や、プログラムを終了する場合があります。以前に購入された SM セービングプランに対しては、価格変更は適用されません。SM セービングプランに関連して支払われた金額は返金不能です。ただし、当社が正当な理由以外で本契約を解約した場合、または SM セービングプランプログラムを終了した場合は、当社は前払いされた金額の日割り計算部分を返金します。SM セービングプランは譲渡不可かつキャンセル不可であり、本契約を解除した場合もなお、貴社は選択した期間について料金を請求されます。SM セービングプラン期間が満了または終了した場合、SM セービングプラン料金は有効期限切れとなり、標準のオンデマンド利用料金が適用されます。貴社は、SM セービングプランの購入に起因する制限事項の対象となるか否かの判断、

前払金に適用される会計法や経費計上に関する法律、ポリシー、契約条件、または物品やサービスの前払金に適用されるその他のポリシーまたは制限事項の順守に責任を負うものとします。

60.8. Amazon SageMaker Studio Lab

60.8.1. 貴社は、当社が Amazon SageMaker Studio Lab により処理されている貴社のコンテンツを、貴社が Amazon SageMaker Studio Lab を使用する AWS リージョン外の AWS リージョンにおいて保管する場合がありますことを承知します。

60.8.2. Amazon SageMaker Studio Lab は、トレーニングおよび教育目的で提供され、生産ワークロードを意図するものではありません。AWS は、利用枠またはリソース枠を含め、Amazon SageMaker Studio Lab にアクセスまたは使用できる貴社の能力を随時修正することができます。Amazon SageMaker Studio Lab 機能および計算リソース (CPU や GPU を含む) へのアクセスは保証されません。

60.8.3. 過去 3 か月間に、貴社が Amazon SageMaker Studio Lab アカウントを使用しない場合、当社は、30 日以上前の通知を行った上で、貴社の Amazon SageMaker Studio Lab アカウントおよび関連するコンテンツを削除する場合があります。貴社の Amazon SageMaker Studio Lab アカウントの削除は、貴社のアカウントに関連する情報および関連するコンテンツを永久的かつ自動的に削除します。

60.8.4. 貴社による Amazon SageMaker Studio Lab の使用において、Amazon Web Services, Inc. は本契約に基づく AWS 契約当事者です。

61. AWS AppSync

貴社は、当社から書面により明示的に承認されていない限り、AWS AppSync 内でネットワーク検出や貴社コンテンツの負荷テストを行わず、それを試みないことに同意します。

62. AWS Telco Network Builder

AWS サポート 貴社が AWS Telco Network Builder を利用する全期間、[ビジネスサポート](#)以上のサポート登録が継続されます。

63. AWS RoboMaker

63.1. AWS RoboMaker は、当社がこちらで利用可能にする、統合された開発およびシミュレーション環境ならびに関連アセットおよびツールを含みます (「RoboMaker マテリアル」と総称)。

63.2. AWS, Inc. はまた、知的財産ライセンスに基づき AWS コンテンツに関し付与される権限に加え、本契約期間中に以下を行うことができる、限定的、破棄可能、非独占的、サブライセンス不可 (以下の条件に基づくエンドユーザーへのサブライセンスを除く)、譲渡不可なライセンスも貴社に付与します。

(a) 貴社は、貴社の AWS または貴社のオンプレミスコンピューティングリソース上のみで実行される AWS RoboMaker のテストおよびシミュレーション環境を開発しサポートするために、RoboMaker マテリアルを使用、複製、変更し、その二次的著作物を作成することができます (かかる各シミュレーション環境を「RoboMaker シミュレーション」と呼ぶ)。

(b) 貴社は、RoboMaker シミュレーションの一部として、RoboMaker マテリアル(許可された修正版および派生物を含む)を使用、複製、変更し、その二次的著作物を作成し、公表、公演し、エンドユーザーに配布することができます。

(c) 貴社は、貴社のエンドユーザーが、貴社の RoboMaker シミュレーションを使用、変更できるようにする目的のためにのみ、本第 63.2 条に規定された権限を貴社のエンドユーザーにサブライセンス供与することができます。

63.3. 各 RoboMaker シミュレーションは、RoboMaker マテリアルが提供するもの以上の重要なコンテンツまたは機能を提供しなければならず、RoboMaker マテリアルは、RoboMaker シミュレーションの一部として以外では、エンドユーザーに配布することはできません。

64. Amazon FSx

64.1. Amazon FSx for Windows File Server。Amazon FSx for Windows File Server 上での Microsoft ソフトウェアの利用には上記の第 5.1 条が適用されます。Microsoft は、本第 64.1 条の規定を執行する権利を持つ本条項の第三者受益者となることが想定されています。

64.2. Amazon FSx for NetApp ONTAP。AWS は、NetApp が技術および販売のサポートを提供できるようにするために、アカウント情報、ログ、その他の利用情報を NetApp と共有する場合があります。

65. AWS Security Assurance Services

65.1. 「AWS Security Assurance Services」は、貴社がその他のサービスを利用するにあたって制御されたデータワークロードの実行を支援するため、作業記述書(「SOW」と呼ぶ)に基づき AWS が提供する顧問およびコンサルティングサービスです。AWS Security Assurance Services は、AWS Security Assurance Services LLC(「SAS」)またはその一部の関連会社が提供します。SAS は AWS の関連会社です。AWS Security Assurance Services は、本契約における「本サービス」の 1 つです。

65.2. SAS またはその関連会社は、AWS Security Assurance Services を提供するため、貴社と SOW を締結することができます。各 SOW において、SOW 内の「SAS」および本契約内の「AWS」または「SAS」とは、SOW を締結する SAS エンティティであり、その他の AWS または SAS エンティティはかかる SOW に基づき何の義務も負いません。各 SOW(かかる SOW により修正された本契約とあわせて)は、当事者間の最終的で完全かつ排他的な合意条件を表現することが意図され、SOW の内容に関して両当事者間におけるすべての従前の合意および了解事項(口頭または書面を問わず)に優先します。

65.3. SAS、または SAS の代理でその関連会社である一社は、AWS Security Assurance Services についての請求書を毎月発行します。AWS Security Assurance Services に関する支払いは返金不可です。

65.4. SAS は法的助言を行いません。貴社は、本サービスの利用が、適用される法律上および規制上の要件を満たしているか否かについて、自身で査定を行う責任があります。

65.5. サードパーティコンテンツを除き、AWS Security Assurance Services の一部で SAS が提供するコンテンツは AWS コンテンツです。貴社は、SAS が提供し推奨するコンテンツのテスト、導入、管理、サポートについて単独で責任を負います。

65.6. SAS は貴社向けに、(a)ドキュメントとダイアグラム(「ドキュメント」)または(b)ソフトウェア(ソースまたはオブジェクトコードの形式で)、サンプルコードまたはスクリプト(「ソフトウェア」)から構成されるコンテンツを、AWS Security Assurance Services(かかる文書やサービス、「開発済みコンテンツ」)の

一環として開発することができます。貴社と SAS との間で有効となる非開示合意の対象となる SAS は開発済みコンテンツと同様の、または関連した製品またはサービスの開発、使用または販売から除外されないものとします。SOW の下で AWS Security Assurance Services の一環として SAS により貴社向けに提供された開発済みコンテンツは、以下の条件の下でライセンスが提供されます:

SAS は Creative Commons Attribution 4.0 International License (CC-BY 4.0)の下で、任意のドキュメントのライセンスを貴社に提供し、

SAS は Apache License, Version 2.0 の下で、任意のソフトウェアのライセンスを貴社に提供します。

65.7 開発済みコンテンツの中には、別途のライセンスの下で提供された AWS コンテンツまたは第三者のコンテンツを含む場合があります。上記のセクション 65.6 と任意の別途ライセンスの間で競合がある場合、かかる AWS コンテンツまたは第三者コンテンツに関しては別途ライセンスが管轄するものとします。

65.8. 貴社が所有する、または第三者からライセンス供与され SAS へ提供する資料や情報は、AWS Security Assurance Services においては貴社のコンテンツとなります。

66. Amazon WorkLink

66.1. 貴社および貴社のエンドユーザーは、Amazon WorkLink クライアントソフトウェアを、貴社または貴社のエンドユーザーが所有または管理するデバイス上でのみ、社内業務目的で貴社のコンテンツにアクセスするためにのみ使用することができます。各エンドユーザーが、利用を許可されるデバイス数または暦上の 1 か月間のセッション数は限定されます。

66.2. Amazon WorkLink は、通常オペレーションの一部として、貴社のエンドユーザーのデバイスにアクセスすることができます。これは Amazon WorkLink セットアップの一部としてプロビジョニングされ、設定、健全性チェック、診断を定期的に行います。これらのタスクを遂行する間、Amazon WorkLink は、パフォーマンス、ログデータ、および本サービスのオペレーションと管理に関係するその他の情報のみを取得します。

67. AWS トレーニング

67.1. 「AWS トレーニング」とは、本サービスに関連して AWS が提供するトレーニングプログラムを意味し、それには、クラスルームトレーニングや自習方式のデジタルクラス、ラボ、その他のトレーニングセッションおよび教材が含まれます。AWS トレーニングは本契約における「本サービス」の 1 つです。AWS トレーニングのトレーニングオーダーまたはオーダー確認における「AWS」とは、オーダー対象の AWS トレーニングに関する契約を締結した AWS エンティティを意味し、その他の AWS エンティティはかかる AWS トレーニングにおける義務を負いません。

67.2. 該当する法域で提供される、全体的にまたは部分的にクラスルーム形式の AWS トレーニングに適用される追加の契約条件はこちらに記載されています。

67.3. トレーニング投資資金。貴社が政府(レベルを問わない)、国際的な運営/規制組織、準政府機関、または公的資金を受けた団体の一部であるか、これらの組織等により実質的に所有、出資、管理、または支配されており、かつ記載されている購入対象クラスの提供に関して AWS トレーニングのトレーニングオーダーまたはオーダー確認での資金援助または値引き(「ディスカウント」と呼ぶ)を AWS から受ける場合、貴社は以下の条件に同意するものとします。

67.3.1. 貴社は、ディスカウントが貴社のクラウドコンピテンシーの向上を唯一の目的としており、便宜等の有利な扱いを受けたり、事業活動や競争入札の獲得や働きかけを行ったりすることを意図しておらず、過去、現在、または今後の商取引とは無関係に提供されるものであり、今後の競争調達/勧誘を促進するために提供されるものではないことを了解するものとします。

67.3.2. 貴社は、必要に応じて、貴社がディスカウントを受けることを制限または禁止する連邦、州、地方、または組織の倫理や調達に関する法令、規制、またはその他の規則がないことを適切な倫理官に確認したことを保証するものとします。

68. AWS Certification

「AWS Certification プログラム」とは、AWS が本サービスに関係するプロフェッショナル認定証およびその他の認証情報を利用可能にするプログラムを意味します。AWS Certification プログラムは、本契約における「本サービス」の 1 つです。AWS Certification プログラムに参加するには、貴社は認定プログラム契約（「CPA」と呼ぶ）に同意する必要があります。本契約と CPA との間に齟齬がある限りにおいて、CPA が優先します。

69. Migration Evaluator

Migration Evaluator は、パフォーマンスおよび利用状況のメトリクス、ならびに貴社の仮想マシンのイメージと IT インフラストラクチャ、ソフトウェアのパッケージとアプリケーション、システム、装置、アプリケーションの構成、プロセスおよびパフォーマンス、ネットワーク構成、通信および依存関係、Migration Evaluator のインストールとオペレーションおよびそのコンポーネントに関するデータを収集します。当社はこれらのメトリクスとデータを使用して、本サービスおよび AWS コンテンツの品質や機能セットを提供、管理、向上させます。

70. AWS IQ

70.1. AWS IQ エキスパート（「プロバイダ」と呼ぶ）は、当社や貴社の従業員としてではなく、独立した契約業者として、そのサービス（「プロバイダサービス」と呼ぶ）を提供します。AWS は、プロバイダサービスに関する、貴社とプロバイダの間の契約の当事者ではなく、プロバイダサービスに対し責任も賠償責任も負わず、プロバイダサービスの品質または精度を保証しません。誤解を避けるために付言すると、プロバイダが当社から取得する認定は、その認定が関係する特定の AWS のサービスまたは知識分野について、プロバイダの能力と理解度を評価するために意図されたテストに、そのプロバイダが合格したことのみに証明するものであり、プロバイダサービスが特定の品質水準や速度で、または貴社の具体的要件どおりに履行されることを保証するものではありません。

70.2. AWS は、AWS IQ マーケットプレイスでの貴社とプロバイダ間の取引に対するサービス料を請求します。AWS は、AWS IQ マーケットプレイスを通じて貴社からプロバイダへの支払いの授受が行われる場合にのみ、サービス料を徴収します。そのため、貴社が AWS IQ を通じてプロバイダを見つけた時点から 24 か月間、貴社はプロバイダサービスへの排他的支払方法として AWS IQ を利用することに同意します。誤解を避けるために付言すると、貴社が AWS IQ 上でプロバイダと連絡を取る前からそのプロバイダと仕事をしていた場合など、貴社が AWS IQ を利用してプロバイダを見つけなかった場合は、本条項は適用されません。

70.3. 当社が AWS IQ の質および特徴集合を開発し向上させるために、AWS IQ のリスト、提案、チャット通信、および AWS IQ 上で貴社とプロバイダ間で提案され同意された追加の条件などの情報を利用することができることを、貴社は認め同意します。

70.4. 貴社がプロバイダに貴社の AWS アカウントへのアクセスを付与することを選択した場合、貴社は以下について単独で責任と賠償責任を負います。(a) 貴社のアカウントでプロバイダが行う活動、(b) プロバイダによる貴社のコンテンツの利用、または本サービスもしくは AWS コンテンツの利用、(c) プロバイダに本契約、利用規定、その他のポリシー、知的財産ライセンスおよび適用法に基づく貴社の義務を確実に順守させること、(d) プロバイダが、本契約および知的財産ライセンスで明示的に許可されている以外の方法または目的で、本サービスまたは AWS コンテンツを利用しないようにすること、(e) プロバイダが、以下を試みないようにすること。(i) AWS コンテンツまたは本サービスに含まれるその他のコンテンツを変更、配布、改正、改ざん、修正、またはそれ以外の形でその二次的著作物を作成すること(本サービスに含まれるコンテンツが、二次的著作物の作成を明示的に許可する別のライセンスに基づき貴社に提供されている範囲を除く)、(ii) 本サービスまたは AWS コンテンツのリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルを行うこと、またはその他のプロセスまたはプロシージャを適用して、本サービスまたはコンテンツに含まれるソフトウェアのソースコードを引き出すこと(適用法によりこの制限が許されない範囲を除く)、(iii) 料金の発生を防いだり、利用制限または割り当てを超過しないようにするため、本サービスにアクセスし使用すること、(iv) 本サービスまたは AWS コンテンツについて再販またはサブライセンスの許諾をすること。本契約または知的財産ライセンスにおける貴社の義務に違反して、プロバイダによる貴社の AWS アカウントへのアクセスに貴社が気づいた場合、貴社はただちに貴社の AWS アカウントへのプロバイダのアクセスを無効にします。貴社による AWS IQ 機能の利用により、貴社がプロバイダの貴社アカウントへのアクセスを付与できるようになった場合、AWS は、その義務を負うことなく、セキュリティ上の目的から貴社アカウントにおける活動を検討することができ、いつでもプロバイダのアクセスを無効化することができます。

70.5. 貴社は、貴社による AWS IQ マーケットプレースの利用に起因または何らかの形で関係する、あらゆる種類と性質の、既知のまたは未知の、疑われたまたは疑われていない、開示されたまたは開示されていない、クレーム、要求、損害(実際のまたは結果的な)について、当社(および当社のエージェントと従業員)を免責します。

71. AWS Cloud WAN

71.1. 日本における AWS Cloud WAN は、AWS ではなく AWS の関連会社である AMCS LLC が販売し提供していますが、これには本契約の契約条件が適用されます。

71.2. シンガポールにおける AWS Cloud WAN は、AWS ではなく AWS の関連会社である AMCS SG PRIVATE LIMITED が販売し提供していますが、これには本契約の契約条件が適用されます。

71.3. 韓国における AWS クラウド WAN の利用は、該当する[国別コミュニケーションサービス条件](#)が適用されます。

72. AWS CodeStar 通知

AWS CodeStar 通知は以下の 1 つ以上を利用します。Amazon Simple Notification Service (Amazon SNS)、Amazon Simple Email Service (SES)、AWS Chatbot。貴社が AWS CodeStar 通知を利用する場合は、本サービスに適用される条件も適用されます。

73. AWS Data Exchange

73.1. AWS Marketplace サービス条件が、貴社による AWS Data Exchange の利用に適用されます。AWS Data Exchange 経由で取得した貴社によるコンテンツの利用は、本サービス外で利用された場合もなお、AWS 利用規定の対象であり続けます。

73.2. 貴社は、匿名化、非特定化、またはそれ以外の方法で特定可能な個人に関連付けられないようにした、AWS Data Exchange 経由で取得したコンテンツを、再特定化、非匿名化しようと試みたり、またはそれ以外の形でかかるコンテンツを特定可能な個人へ関連付けた形で利用したりすることはできません。

74. AWS End of Support Migration Program for Windows Server

74.1. AWS End of Support Migration Program (EMP) for Windows Server サービスは、EMP サービスのために提供されたツール(AWS コンテンツである)を含め、貴社のアプリケーションまたはその他のコンテンツを Amazon EC2 またはその他の AWS のサービスへ移行する目的でのみ使用することができます。

74.2. 貴社は、EMP サービスが貴社のアプリケーションおよびその他のコンテンツを AWS のサービスへ移行するために設計されており、貴社が EMP サービスを(EMP サービスのために提供されたツールを含め)AWS のサービス外で(たとえば貴社のオンプレミスシステム上で)継続的な利用のために使用することはできないことを認めます。ただし、貴社は移行に先立ち機能を検証するために、30 日間までは EMP サービスを貴社のオンプレミスシステム上で貴社のアプリケーションまたはその他のコンテンツを一時的に動作させるために使用することができます。

74.3. 貴社は、EMP サービス、その関連ソフトウェア、およびコンポーネントが収集したデータの収集および提供に同意します。これには貴社の仮想マシンイメージ、ソフトウェアパッケージ、システム、機器、およびアプリケーション構成、プロセスとパフォーマンス、ネットワーク構成、通信と依存関係、前述事項との間の関連性、および EMP サービス、その関連ソフトウェア、およびコンポーネントのインストールとオペレーションに関する情報(「移行情報」と呼ぶ)が含まれます。移行情報は、本サービスの質および特徴集合を運用、管理、向上させるために使用されます。

75. Amazon Fraud Detector

75.1. AWS は、合衆国法典第 15 編第 1681 条以下参照の公正信用報告法(「FCRA」と呼ぶ)の定義における消費者報告機関または同様の法律における同等の組織ではなく、また Amazon Fraud Detector は、FCRA の定義による「消費者報告」を含んだり、提供したりしません。貴社は、Amazon Fraud Detector を使用して、人の財務状態、金融履歴、信用力、保険、住宅取得、または雇用の適格性を判断するために使用することはできません。

75.2. 貴社は、Amazon Fraud Detector を使用して、類似または競合する製品またはサービスを直接的または間接的に開発したり、向上させたりせず、第三者にそれを許可しません。

75.3. 貴社は以下に同意し指示します。(a) 当社は、本サービスを管理し提供するために(本サービスとその基礎技術の開発および向上を含む)、Amazon Fraud Detector を使用して処理された貴社のコンテンツ(「Fraud Detector コンテンツ」と呼ぶ)を使用し保存することができます。また(b)その他の AWS 不正防止サービスを開発し向上させるために、個人データに該当しない Fraud Detector コンテンツを使用し保存することができます。さらに(c)当社は、上記の(a)項および(b)項に記載される利用および保存のみに関連し、貴社が Amazon Fraud Detector を使用する AWS リージョン外の AWS リージョンに、かかるコンテンツを保存場合があります。当社が貴社に提示したプロセスに従うことにより、貴社は、Amazon Fraud Detector により処理された貴社コンテンツを Amazon Fraud Detector またはその他の AWS 不正防止サービスの開発と向上のために、AWS に対し使用または保存しないよう指示することができます。

76. Amazon Augmented AI

76.1. 貴社は、Amazon Augmented AI を使用する貴社の製品またはサービスのエンドユーザー(貴社のプライベートワークフォース内のエンドユーザーを含む)に対し、法的に適切なプライバシー通知を行い、か

かるエンドユーザーから必要なすべての同意を得る責任があります。貴社は、必要なすべてのプライバシー通知を提供し、必要なすべての同意を得たことを当社に表明します。

76.2. Amazon Augmented AI の Amazon Mechanical Turk ワークフォースを利用する場合、(a) 貴社は、保護対象の医療情報または特定の人を識別するその他の情報を含むデータまたはコンテンツを提供することはできません。また(b) 貴社は、Amazon Mechanical Turk ワークフォースに提供される貴社のコンテンツを、貴社が Amazon Augmented AI を使用する AWS リージョン外に移動できることを認め同意します。

76.3. Amazon Augmented AI の第三者ベンダーワークフォースオプションを使用する場合、貴社はベンダーがデータまたはコンテンツ内の個人データまたは機密情報に適用されるコンプライアンス要件を満たすことを確実にする責任があります。保護対象の医療情報を含むデータまたはコンテンツを第三者ベンダーワークフォースと共有することはできません。

77. Amazon Honeycode

77.1. エンドユーザーの権限 貴社が、別の Amazon Honeycode アカウントの下で設定された Honeycode Team にアクセスするには、貴社は、Honeycode の目的上、エンドユーザーとなります。

77.1.1. Honeycode を使うと、貴社の Honeycode アカウントで設定したチーム（「Honeycode チーム」と呼ぶ）にエンドユーザーを招待することで、他のエンドユーザーとの共同作業が可能になります。また、エンドユーザーを招待して、貴社の Honeycode チームの下で特定の Honeycode 機能にアクセスさせることができます。さらに、これらのエンドユーザーに対し、貴社の Honeycode ワークブック、アプリ、自動化機能、その他の Honeycode アセットを作成、編集、および共有する権限、ならびに追加のエンドユーザーを招待して同じことを行わせる権限を付与することができます。貴社は、自らの Honeycode チーム上でエンドユーザーが行う行為（エンドユーザーが作成するコンテンツを含む）、およびデータセキュリティとアクセスを目的とするすべてのエンドユーザーの権限を維持することに責任を負います。また、貴社および貴社の Honeycode チーム上のエンドユーザーが Honeycode または関連サービスを利用した際に料金が発生した場合、貴社はそのすべてについて責任を負うものとします。

77.1.2. 貴社、または Honeycode の特定の機能に対する管理者権限を貴社が委任したエンドユーザー（「Honeycode チーム管理者」と呼ぶ）は、貴社の Honeycode チーム内のアクセス、使用、および権限を管理することができます。また、Honeycode チーム管理者は、特定の管理機能（権限の変更、追加もしくは削除、または請求可能な階層の変更を含みます）に対するエンドユーザーのアクセスを制御することができます。

77.1.3. 貴社が Honeycode チームの権限を委任した場合を除き、貴社は、Honeycode アカウントが終了した場合、または Honeycode 内の貴社のコンテンツが削除された場合（貴社または当社によって行われたか否かを問いません）、貴社のコンテンツに対するエンドユーザーのアクセスも終了する場合があります、また関連するエンドユーザーのコンテンツも削除される場合があることに同意します。

77.2. 不使用 過去 3 カ月間に貴社の Honeycode アカウントの使用実績がなかった場合、当社は、30 日間の予告を行った上で、何らの責任も負うことなく貴社アカウントおよび関連するコンテンツを削除できるものとします。

77.3. データ保存用のワークブック 貴社は、本書およびテクニカルドキュメントに記載されている目的のためにのみ Honeycode を使用することができます。その他の使用（データの保存とアクセスを主目的とした

複数のワークブックの作成と維持を含みますが、これに限定されません)は不可とし、その結果として当社が貴社のコンテンツを削除する場合があります。

78. Wavelength Zone/Local Zone

Wavelength Zone または Local Zone 内で貴社が実行する本サービスまたは本サービスの負荷に適用されるサービスレベルアグリーメントに関し、サービスクレジットは、利用不可状態が発生した月次請求期間について、影響を受けた Wavelength Zone または Local Zone 内で動作する個別の本サービスに対し貴社が支払った合計料金(リザーブドインスタンスの前払金などの一回のみの支払いを除く)へのパーセンテージとして計算されます。

79. Amazon Braket

79.1. 貴社がこちらにリストされるサードパーティハードウェアプロバイダ(それぞれ「ハードウェアプロバイダ」と呼ぶ)の 1 社が運用する量子コンピューティングハードウェアにアクセスするために Amazon Braket を使用する場合、貴社は (1) Amazon Braket の使用に関連して貴社が提供するコンテンツは、AWS が運用する施設外にあるハードウェアプロバイダによって処理される場合があることを認め、かつ (2) かかるコンテンツを処理のためかかるハードウェアプロバイダに転送することを AWS に承認します。

79.2. AWS はハードウェアプロバイダが提供するサービスに関係する本サービスの提供をいつでも貴社に事前の通知なく、変更、廃止、または終了する場合があります。

80. Amazon Elastic Container Registry Public

80.1. Amazon Elastic Container Registry Public (Amazon ECR Public) は、AWS アカウントの有無にかかわらず誰でも(「レジストリユーザー」)ダウンロードし利用できるコンテンツをアップロードし共有できるパブリックレジストリです。Amazon ECR Public を通じてコンテンツをアップロードし共有するには、以下の第 80.2 条および第 80.3 条に従って AWS およびレジストリユーザーにコンテンツへのライセンスを付与する必要があります。

80.2. Amazon ECR Public へコンテンツをアップロードすることにより、貴社は AWS およびその関連会社に Amazon ECR Public への提供に関連してコンテンツを保存、解析、コピー、複製(機械的な複製を含む)、再フォーマット、送信、表示、実演する世界的、非独占的、完全支払い済、ロイヤリティ無料のライセンスを付与し、また、アップロードした、オープンソースまたは第三者コンテンツライセンスの対象となる第三者コンテンツに関しては、貴社は、かかる第三者コンテンツの条件は、AWS およびその関連会社に、Amazon ECR Public への提供に関連してコンテンツを保存、解析、コピー、複製(機械的な複製を含む)、再フォーマット、送信、表示、実演することを許可することを表明し保証します。

80.3. 貴社は貴社のコンテンツをレジストリユーザーへライセンスする条件を指定することができます。貴社のコンテンツをアップロードする時に貴社がかかる条件を指定しない場合、貴社はここに、その他のレジストリユーザーへ個人的またはビジネス上の目的のために、貴社のコンテンツにアクセスし、ダウンロード、使用、変更、それ以外の形で利用する非独占的ライセンスを付与したことになります。貴社は第三者コンテンツを Amazon ECR Public へアップロードし共有する場合、それを行うために必要となる権利とライセンスを確実に有していることに責任を持ちます。

81. 産業用 AI サービス

81.1. 「産業用 AI サービス」とは、Amazon Lookout for Vision、Amazon Lookout for Equipment、Amazon Monitron、および AWS Panorama を総称します。「産業用 AI コンテンツ」とは、産業用 AI サービスによって処理された貴社コンテンツを意味します。

81.2. 産業用 AI サービスは、データ内のパターンに基づき予測を生成する機械学習モデルを使用します。機械学習モデルにより生成されたアウトプットは、確率論的なもので、人間によるアウトプットの検討を含め、貴社のユースケースのために適切であるかどうか、その的確さを評価する必要があります。Amazon Lookout for Equipment および Amazon Monitron が提供するアウトプットは通常の予定された機器および装置のメンテナンスの代替として使用するべきではありません。貴社およびエンドユーザーは産業用 AI サービスに基づき行われる意思決定、提供される助言、講じられる行為および不作為すべてに責任を負います。

81.3. 貴社は Amazon Lookout for Vision、Amazon Lookout for Equipment および Amazon Monitron について以下に同意し以下の指示を行います。(a) 当社は該当する産業用 AI サービスを維持し提供するために(かかる産業用 AI サービスとその基礎技術の開発および向上を含む)、前述の産業用 AI サービスそれぞれによって処理された産業用 AI コンテンツを使用し保管する場合があります。また (b) AWS および関連会社の機械学習および人工知能技術を開発し向上させるために、個人データに該当しない産業用 AI コンテンツを使用し保管する場合があります。さらに (c) 上記 (a) および (b) で述べた開発および向上に関連する場合のみ、当社は産業用 AI コンテンツを、貴社がかかる産業用 AI サービスを使用する AWS リージョンの外の AWS リージョンに保管する場合があります。貴社は (i) Amazon Monitron に関しては、AWS サポートに連絡し、貴社に提示されたプロセスに従うことにより、また (ii) Amazon Lookout for Vision および Amazon Lookout for Equipment に関しては AWS Organizations を使用して AI サービスオプトアウトポリシーを設定することにより、産業用 AI サービスによって処理された産業用 AI コンテンツを AWS またはその関連会社のサービスまたは技術の開発および向上のために使用および保管しないように AWS へ指示することができます。

81.4. 貴社は産業用 AI サービスを使用している貴社の製品またはサービスのエンドユーザーに法的に適切なプライバシー通知を行い、かかるエンドユーザーから産業用 AI コンテンツの処理と、本条に記載される産業用 AI コンテンツの保管、使用、移転に関し必要な同意を取得することに責任を負います。

81.5. 貴社は同様のまたは競合する製品やサービスの開発または向上のために、直接的にも間接的にも産業用 AI サービスを使用せず、第三者に使用を許可しないこととします。上記は AWS Panorama を Amazon Lookout for Equipment へまたは Amazon Monitron へ統合するハードウェア装置の開発に関する限り AWS Panorama には適用されません。

81.6. 産業用 AI サービスは、重大な人身傷害や死亡、または環境あるいは財産の毀損などを招く恐れのある、危険な環境における操作またはクリティカルシステムの操作に使用する、またはそれに関連して使用することを意図しておらず、貴社はかかる利用に関連して生じる賠償責任について単独で責任を負います。

81.7. 本契約のその他の規定にもかかわらず、貴社は産業用 AI サービスのために当社が配布するバイナリコードを AWS Mobile SDK を使用してそのプログラムまたはアプリケーションに組み込み、かかるプログラムまたはアプリケーションに組み込んだ形で配布することができます。

82. Amazon Location Service(プレビュー)

82.1. Map や Place、Routing など [こちら](#) にリストされる第三者地理位置情報サービスプロバイダ(総称して「地理位置情報プロバイダ機能」、各社は「地理位置情報プロバイダ」)によって提供されるものとして貴社に

特定されている Amazon Location Service の機能を使用する際、貴社は AWS が貴社の要請パラメータ（位置情報検索など）を貴社の要請が行われた AWS リージョンの外で処理されることのある地理位置情報プロバイダへ送信することを承諾します。ただし、Open Data リクエストはすべて、貴社が要請を行った AWS リージョン内の AWS により処理されるものとします。

82.2. AWS は地理位置情報プロバイダまたはその機能を貴社に通知した上で随時変更、終了、または中止することができます。

82.3. Open Data を除く地理位置情報プロバイダに関して、貴社は以下を行ってはなりません。

- a. Amazon Location Service が貴社に提供するデータ（マップタイル、正および逆ジオコード、ルート、ドライブタイム／等時線、およびその他のデータなど）（「ロケーションデータ」と総称）を取得、体系的に収集または複製すること。これには Amazon Location Service の使用を避ける目的で行われるものが含まれます。
- b. ロケーションデータを使用して、地理位置情報プロバイダのサービスと類似した特徴を持つ製品やサービスを作成またはオファーすること。ただしかかる製品またはサービスが、地理位置情報プロバイダのサービスを越える実質的に独立した価値と機能を含まない場合とします。
- c. ロケーションデータを含む Amazon Location Service を統合型車載インフォテインメントシステム、車載自動コントロールシステム、または車載ハードウェアにインストールされたリアルタイム動的ルーティングまたはルート最適化アプリケーションへ組み込むこと。車載ディスプレイシステムにミラーリングされるものを含め車載モバイルデバイスアプリケーションは許可されます。
- d. ロケーションデータがオープンソースまたはオープンデータベースライセンス条件の対象となるような形でロケーションデータを使用、組み込み、変更、配信、アクセス提供または組み合わせを行うことにより、ロケーションデータの一部を第三者に開示しなければならないこと、または二次的著作物作成の目的で第三者にライセンスしなければならないこと、または無料で第三者に再配信しなければならないこと。
- e. (i) API パラメーターに保管される結果（第 82.4 条 a の禁止事項を除く）のジオコード化または逆ジオコード化、または (ii) 法律上、規制上、または合理的な社内記録要件を順守するために行う場合を除き、ロケーションデータを保管またはキャッシュすること。
- f. 販売または他者に配布する目的で、紙の地図または地図帳（デジタルかそれ以外かを問わない）を作成するためにロケーションデータを用いること。
- g. ロケーションデータ（ディスプレイ上のマップなど）上またはその中に貴社名やマークを置いたり、第三者広告を含めること。

82.4. 第 82.3 条の制限に加え、HERE を地理位置情報プロバイダとして使用する場合、以下を行ってはなりません。

- a. ジオコード化と逆ジオコード化の結果を含め日本のロケーションデータを保管またはキャッシュすること。

b. 別の第三者プロバイダからのマップの上に HERE のルートを重ねること、または HERE のマップ上に他の第三者プロバイダからのルートを重ねること。

82.5. 第 82.3 条の制限に加えて、貴社が地理位置情報プロバイダとして Esri をご利用になる場合、書面による当社の明示的な同意を得ることなく、その地理位置情報プロバイダ機能を資産管理または資産追跡のユースケース(車両、積荷、従業員、または貴社が事業で使用するその他の資産の位置の特定、追跡、または経路の決定)に利用することはできません。

82.6. 貴社は、Amazon Location Service を、有害な、安全ではない、または違法な活動に使用することはできません。かかる活動には、重大な人身傷害や死亡、または環境もしくは財産への損害を引き起こす可能性のある有害な環境または危険なシステムでの使用またはこれらに関連する使用を含みます。貴社は、かかる使用に関して生じるすべての責任について単独で責任を負うものとします。

82.7. 適切な使用料の発生を回避する目的で Amazon Location Service を貴社がご利用になっていると当社が判断した場合、当社は Amazon Location Service へのアクセスを一時停止または終了したり、貴社によるご利用を制限したりする場合があります。

82.8. Open Data は OpenStreetMap のデータを使用します。OpenStreetMap は、Open Data Commons Open Database License (「ODbL」) によって OpenStreetMap Foundation から使用許諾を受けています。貴社は、ODbL を遵守することに同意し、ODbL 中の帰属および継承に関する規定を認めるものとします。

82.9. ロケーションデータの属性は[こちら](#)をご覧ください。貴社は、貴社のアプリケーションまたは製品文書経由で他社に利用可能にするロケーションデータの属性を、パススルーしなくてはなりません。ロケーションデータに属性が付属または組み込まれている場合、貴社は貴社に提供された著作権、商標表示、制限マーク、またはその他の独占所有権通知を削除、変更、不明瞭化してはいけません(またはエンドユーザーに削除、変更、不明瞭化を許可してはいけません)。

83. AWS Managed Services

83.1 AWS のサイト上で公開されている AWS Managed Services ユーザーガイドでサポートされていると明確に特定されていない AWS Managed Services を提供しよう貴社が要請された場合(「カスタマーによる要請が行われた設定」)、かかるカスタマーによる要請が行われた設定で提供された AWS Managed Services は、本サービス規定の下で「ベータサービス」として取り扱われます。

83.2 貴社は、貴社の AWS アカウントを AWS Managed Services アカウントにするよう要求する人物が(AWS のサイト上で公開されている AWS Managed Services ユーザーガイドで規定されている形で)、貴社名義で、およびかかる AWS アカウントに関して AWS Managed Services のリクエストや入手を認可されていることを表明し、AWS に保証するものとします。

83.3 AWS およびその提携会社は、以下に起因する損害については、貴社に責任を負いません。(a) 貴社が提供または承認する指示または要請に従って行った AWS の行動、(b) AWS からの指示または推奨に貴社が従わないこと、(c) AWS に対して要求された行動を行うようにという貴社の承認の遅延または保留、または(d) Managed Environment に対して貴社が行っ

た改変(AWS サイト上で公開された AWS Managed Services ユーザーガイドに規定されている形で)。

84. Amazon FinSpace

Amazon FinSpace は、投資および業務上の意思決定向けにデータ分析を支援するツールであり、投資および業務上の意思決定を行う際に、ユーザーの判断および体験を代替するものではありません。Amazon FinSpace は投資アドバイスを رفتたり、投資の推奨を رفتたり、投資または投資戦略の適正を評価したりするものではありません。

85. Amazon Elastic Kubernetes Service Anywhere (Amazon EKS Anywhere) Support.

85.1. Amazon EKS Anywhere Support を申し込むには AWS Enterprise Support を購入する必要があります Amazon EKS Anywhere Support の申込みに関する支払いは返金不可です。

85.2. 各 Amazon EKS Anywhere Support サブスクリプションは、1 つの Amazon EKS Anywhere クラスターにのみ適用されます。

85.3. 当社は、貴社に Amazon EKS Anywhere Support を提供し、貴社のサポートサブスクリプションを確認できるようにするために、貴社が特定のアップデートを実施することや、アカウント情報、ログ、その他の利用情報を当社に提供することを要求する場合があります。貴社が Cilium などの Isovalent のソフトウェアのサポートを要請する場合、当社は、テクニカルサポートを提供するために、アカウント情報、ログ、その他の利用情報を Isovalent と共有する場合があります。

86. AWS DeepRacer Student

86.1. 貴社は、当社が AWS DeepRacer Student により処理されている貴社のコンテンツを、AWS DeepRacer Student を使用する AWS リージョン外の AWS リージョンにおいて保管する場合がありますことを了承します。

86.2. 貴社が AWS DeepRacer Student コンペティションまたは関連する活動(プレシーズンの展示を含む)に参加する場合、AWS は貴社のユーザーネーム、アバター、およびパフォーマンスの結果を、リーダーボード、ブログ投稿、ソーシャルメディアなどによって公に共有する場合があります。

86.3. AWS DeepRacer Student は、トレーニングおよび教育目的で提供され、生産ワークロードを意図するものではありません。AWS は、利用枠およびリソース枠を含め、AWS DeepRacer Student にアクセスまたは使用できる貴社の能力を随時修正することができます。AWS DeepRacer Student 機能および計算リソース(CPU や GPU を含む)へのアクセスは保証されません。

86.4. 過去 12 か月間に、貴社が AWS DeepRacer Student アカウントを使用しない場合、当社は、30 日以上前の通知を رفتった上で、貴社の AWS DeepRacer Student アカウントおよび関連するコンテンツを削除する場合があります。貴社の AWS DeepRacer Student アカウントの削除は、貴社のアカウントに関連する情報および関連するコンテンツを永久的かつ自動的に削除します。

86.5. 貴社による AWS DeepRacer Student の使用において、Amazon Web Services, Inc.は本契約に基づく AWS 契約当事者です。

86.6. AWS DeepRacer Student の使用にあたっては、高校または高等教育機関の学生であり、かつ 16 歳以上である必要があります。18 歳未満または所在地において未成年である場合には、本サービス条件に拘束されることに同意する保護者が関与する場合に限り、AWS DeepRacer Student を使用することができます。

87. Amazon GuardDuty

87.1. 「マルウェアコンテンツ」とは、Amazon GuardDuty マルウェア保護機能が処理し、悪意あるまたは有害であると識別する貴社コンテンツを指します。

87.2. 貴社は以下に同意し指示します。(a) 当社は、Amazon GuardDuty を維持し、提供するために (Amazon GuardDuty とその基礎技術の開発および向上を含む)、マルウェアコンテンツを使用し、保存することができます。(b) 当社は、その他の AWS セキュリティサービスを開発し向上させるために、個人情報に該当しないマルウェアコンテンツを使用し、保存することができます。さらに、(c) 当社は、上記 (a) および (b) に記載される開発および向上のみに関連して、貴社が Amazon GuardDuty マルウェア保護機能を使用している AWS リージョン外の AWS リージョンで、かかるマルウェアコンテンツを保存することができます。貴社は、AWS Organizations を使用して AI サービスオプトアウトポリシーを設定することにより、AWS に対し、Amazon GuardDuty またはその他の AWS セキュリティサービスの開発および向上のためにマルウェアコンテンツを使用および保存しないよう指示することができます。

88. AWS Wickr

88.1. エンドユーザー

88.1.1. 貴社は、エンドユーザーが貴社のアカウントで AWS Wickr を使用できるようにすることができます。貴社のアカウントによる AWS Wickr の使用が終了した場合、貴社のアカウントまたは組織に関連付けられたかかるエンドユーザーの機能またはアクセスも停止または終了される場合があります。

88.1.2. 管理権限を持つエンドユーザー（「AWS Wickr 管理者」と呼ぶ）は、AWS Wickr のエンドユーザーを管理することができます。AWS Wickr 管理者は、(a) エンドユーザーの AWS Wickr 機能一式のアップグレードまたはダウングレード、(b) エンドユーザーによる AWS Wickr へのアクセスの停止、および (c) エンドユーザーによる AWS Wickr 使用状況に関する情報へのアクセスを行うことができます。

89. AWS プライベート 5G

89.1. AWS プライベート 5G 装置 AWS は、貴社による AWS プライベート 5G サービスの利用を支援するため、貴社に装置（「プライベート 5G 装置」と呼ぶ）を提供します。AWS またはその関連会社は、プライベート 5G 装置のすべての権利を保持し、プライベート 5G 装置に関する所有権、知的財産権その他の権利を貴社に売却、貸出、リース、譲渡するものではありません。貴社は、プライベート 5G 装置またはプライベート 5G 装置の権利のいずれについても、個人または組織に譲渡、付与、権利移転を行わず、また、その主張をしないこととし、そのように主張された譲渡、付与、または権利移転は無効となります。

89.2. 施設評価 貴社は、常に、プライベート 5G 装置が置かれている施設（「指定施設」と呼ぶ）が、こちらに記載されるとおり、また別途 AWS プライベート 5G テクニカルドキュメントに記載される、または注文過程

で貴社に提示されるとおり、プライベート 5G 装置の設置、整備、利用、撤去を支援するために必要な最低要件を満たしているよう徹底します。プライベート 5G 装置を指定施設から新しい指定施設へと移動する場合は、新しい指定施設の住所を AWS に通知しなければなりません。

89.3. 納品 貴社は、指定施設にプライベート 5G 装置を配送、設置、整備、利用、撤去するために必要なすべての権利、認定、許可を有していることを確認します。

89.4. 利用 貴社は、指定施設における AWS プライベート 5G 装置の設置、利用、撤去、ならびにプライベート 5G 装置の AWS への返却を、AWS プライベート 5G テクニカルドキュメントに記載される、または注文過程で貴社に提示されるとおりに行う責任を負います。テクニカルドキュメントに規定されている場合を除き、貴社は、誰もプライベート 5G 装置にアクセスしたり、修理したりしないよう徹底します。本契約に基づき AWS が有するその他の権利および救済に加えて、貴社がプライベート 5G 装置を最初に所有した時から AWS に返送する運送会社が受け取るまでの間にプライベート 5G 装置を紛失または損傷した場合、AWS は、装置紛失手数料を請求できます。貴社が AWS プライベート 5G に関する本契約の条件に違反した場合、AWS は、貴社による AWS プライベート 5G の利用を終了し、プライベート 5G 装置を撤去することができます。

89.5. ビジネスサポート 貴社は、AWS プライベート 5G を利用する全期間について、ビジネスレベルで AWS サポートに登録し続けます。

89.6. セキュリティ プライベート 5G 装置は指定施設に物理的に所在するため、貴社は、指定施設における物理的セキュリティ、アクセス制御、すべての電源、ネットワーク、環境条件について責任を負います。したがって、本契約における AWS の義務のうち、かかる物理的セキュリティ、アクセス制御、または電源、ネットワーク、環境条件の AWS の運用に依存するものは、AWS プライベート 5G には適用されません。

90. AWS SimSpace

90.1. 当社は、事前の通知なく、第三者の統合やサンプルのサポートを変更、中止、または廃止する場合があります。

90.2. AWS SimSpace Weaver は、顧客によるシミュレーション構築を支援するために設計されています。これには貴社が提供するシミュレーションコードやデータに基づく現実世界の場所、シナリオ、および資産のシミュレーションが含まれる場合があります。AWS SimSpace Weaver による生成データは、貴社の用途に照らしてその正確性を評価する必要があります。貴社および貴社のエンドユーザーは、貴社による AWS SimSpace Weaver の使用に基づくすべての決定、助言、行動、および行動の失敗について、単独で責任を負うものとします。

91. AWS Builder ID

91.1. 過去 12 ヶ月間にわたって貴社の AWS Builder ID の利用登録がない場合、当社は、30 日前の通知により、貴社の AWS Builder ID を削除することができるものとします。

91.2. AWS Builder ID が削除されると、貴社は AWS Builder ID を通じて貴社コンテンツにアクセスすることができなくなり、当該コンテンツは削除されます。

91.3. 貴社による AWS Builder ID の使用については、Amazon Web Services, Inc. が本契約に基づく AWS 契約当事者となります。

92. AWS Clean Rooms (プレビュー)

貴社は、AWS Clean Rooms または貴社が AWS Clean Rooms を使用することによって得た情報を、個人を識別するため、またはかかる情報を識別可能な個人と関連づけるために使用してはなりません。ただし、データを提供した該当する第三者が別途許可した場合はこの限りではありません。

93. Amazon CodeCatalyst (プレビュー)

93.1. 貴社が他の CodeCatalyst アカウントのもとで作成された Amazon CodeCatalyst スペース(「第三者スペース」)にアクセスするとき、貴社は、当該 CodeCatalyst アカウントのエンドユーザーとなります。これは、例えば、第三者スペース内での貴社の活動によって、当該第三者スペースの所有者が負担すべき料金が発生する場合があるという意味です。さらに、貴社がエンドユーザーとして第三者スペースまたは当該スペース内のプロジェクトにコントリビュートしたコンテンツ(「提供コンテンツ」)は、本契約の諸条項に基づく権利および義務については、貴社コンテンツとはみなされません。このことは、第 93.2 条により付与される非独占的ライセンスに従うことを条件として、貴社の提供コンテンツに対して有しうるいかなる権利をも変更するものではありません。

93.2. 第三者スペースへのイシュー、コメント、およびコントリビューションを含む提供コンテンツは、当該第三者スペースにアクセスできる他のユーザーが閲覧する場合があります。貴社が第三者スペースにアクセスする者との間で異なる条件を定めるライセンス契約を締結する場合を除き、貴社は、第三者スペースにアクセスする各当事者に対して、提供コンテンツを使用、複製、派生物の作成、配布、実行、および表示する非独占的、世界的、取消不能のライセンスを付与するものとします。貴社は、本ライセンスを付与するために必要なすべての権利を有していることを表明し、保証します。

93.3. 貴社が、貴社のスペースで共同作業をするために他の CodeCatalyst アカウント所有者を招待する場合、被招待者は貴社の CodeCatalyst アカウントのエンドユーザーとなり、その提供コンテンツは本契約の諸条項に基づく貴社コンテンツとみなされます。貴社は、共同作業のために招待したエンドユーザーの行為(提供コンテンツを含む)、ならびにすべてのエンドユーザーからデータセキュリティおよびアクセスへの許可された状態を保つことについて責任を負うものとします。貴社は、貴社およびエンドユーザーが CodeCatalyst または貴社のスペースに関連するあらゆる関連サービスを使用したことについて発生するすべての費用について責任を負うものとします。

93.4. 貴社が CodeCatalyst スペースの管理権限を他の CodeCatalyst アカウント所有者に委任しない限り、貴社は、CodeCatalyst アカウントを終了し、または貴社のスペース内の貴社コンテンツまたは提供コンテンツを削除することにより、それを行ったのが貴社か当社にかかわらず、貴社のエンドユーザーによる貴社のスペース内の貴社コンテンツおよび提供コンテンツへのアクセスも終了することに同意するものとします。貴社の CodeCatalyst アカウントの内部の、または同アカウントに関連する課金対象サービスにアクセスするためには、AWS アカウントをリンクしなければなりません。貴社が貴社の CodeCatalyst アカウントを削除し、かつ他の CodeCatalyst アカウント所有者に管理権限を委任していた場合は、貴社の AWS アカウントとのリンクも解除しない限り、貴社の AWS アカウントに対して、課金対象サービスへの課金が継続されます。

93.5. CodeCatalyst スペースでの共同作業のために貴社が招待したエンドユーザーが自らの CodeCatalyst アカウントを削除した場合、その提供コンテンツは貴社のスペースから削除されません。ただし、そのエンドユーザーの識別情報(イシュー、コメントおよび提供コンテンツに関連するものを含む)は削除される場合があります。

94. Integrated Private Wireless on AWS

94.1. AWS は、貴社に事前に通知することなく、Integrated Private Wireless on AWS ポータルの提供を停止する(または [Integrated Private Wireless on AWS サイト](#) (またはその後継サイト) 上の提供物を削除する)ことができるものとします。

94.2. [Integrated Private Wireless on AWS サイト](#) (またはその後継サイト) 上の提供物は、第三者によって提供されており、それぞれの第三者が指定する別の契約条件が適用されます。AWS は、かかる提供物を管理しておらず、またこれについて一切の保証を行いません。

[過去のバージョン](#)